

会長のページ 九州医師会連合会について	河野 雅行	3
日州医談 医療情報サービス事業「Minds」について Minds: Medical Information Network Distribution Service	小牧 斎	4
はまゆう随筆(その1)		7
宮田 純一, 宝珠山 弘, 高崎 眞弓, 増田 好治, 横内 哲博 大森 史彦, 首藤 敏秀, 細見 潤, 南嶋 洋一, 藤本 孝一		
エコー・リレー(479)	武田龍一郎, 日高 明義	15
メディアの目 振り幅	加藤 学	17
国公立病院だより(えびの市立病院)	河内 謙介	22
専門分科医会だより(眼科医会)	柴田 博	24
ニューメンバー	吉村 雄樹, 寺谷 威	56
社会保険診療報酬支払基金宮崎支部審査委員名簿(医科)		65
診療メモ 宮崎県立宮崎病院ドクターカー平成26年度活動報告	長嶺 育弘	86
私 の 本 ノロに見舞われて	宮路 重和	90

あなたできますか?(平成26年度医師国家試験問題より)	16
宮崎県感染症発生動向	18
各郡市医師会だより	20
各種委員会(公衆衛生・感染症委員会)	25
都道府県医師会地域医療構想(ビジョン)担当理事連絡協議会	26
都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	30
都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会	33
九州医師会連合会第34回常任委員会	36
第1回各郡市医師会長協議会	38
宮崎県医師会医学会役員会	40
第2回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会	41
日医インターネットニュースから	42
薬事情報センターだより(338) 新薬紹介(その78)	44
理事会日誌	45
県医の動き	53
追悼のことば	54
会員の異動・変更報告	58
ベストセラー	60
ドクターバンク情報	61
行事予定	67
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	71
宮大医学部学生のページ	88
あ と が き	94

お知らせ 第16回宮崎県医師会医家芸術展	6
宮崎県医師会医療情報コーナー	32
女性医師メーリングリストのご案内	37
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ	39
クールビズについて	40
平成27年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	60
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	69
医師資格証を持っていますか?	91
郡市医師会への送付文書	92

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：水彩〕

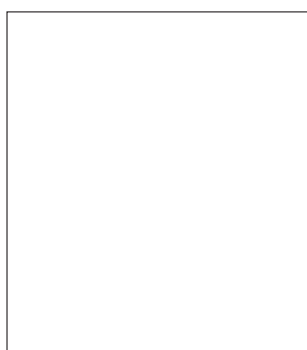
夏休み

30年来の熟女4人が、月2回昼食を作り、和気あいあいおしゃべりをしながら描いています。3年前は小品でしたが、次第に欲がでて、大作に挑戦し悪戦苦闘中です。美大卒の若い先生の指導に脱帽です。スポーツ好きの私も、無心で描いています。画材を模索したり出来上がりが気に入ると、ルンルン気分です。

日南市 ^{あら}新 ^き木 る り

会長のページ

九州医師会連合会について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

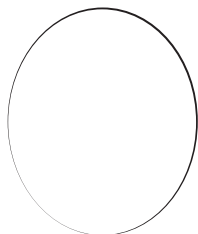
一般会員にとっては、あまり馴染みのない名称の九州医師会連合会という医師会の組織がある。日本医師会、都道府県医師会、各郡市医師会は法人化された組織である一方、九州医師会とは言わば任意の団体で、同様の会は全国の各ブロックに設けられている。記録によると明治 25 年 5 月に、第 1 回の九州医師会医学会が熊本市で開催された。第 2 回は翌年長崎で、その後は毎年九州各地で開催され、宮崎県では大正 6 年 10 月に第 2 回医学会を初めて主管県(中元寺会長)として宮崎市で開催した。その後も毎年各地で開催され、昭和 40 年代からは連合会として各県順繰りに開催、沖縄

県も加わり定期的に開催されている。九州・沖縄 8 県から役員選出(会長と事務局は主管県)、会議を主催するので、8 年毎に担当することになる。宮崎県最後の開催は平成 24 年(稲倉会長)で、次回は平成 32 年の予定である。今年度は 6 月まで大分県、7 月から長崎県が主管する。毎年数回開催され、各県医師会の役員が主管県に集合して協議、情報交換を行い、各県の医事活動に結び付ける。全国的・多県に^{またが}跨る医療・介護・福祉問題、日医代議員会への質問事項調整、日医役員・委員推薦、九州厚生局管内諸役員推薦、各種協議会、学術活動研究会、講演会、専門分科医会等々多岐に渡る。「役員・予算」：各県医師会員数に応じ各県医師会より提出。実務的役員は主管県で充当。「常任委員会」：各県会長による委員会で頻繁に開催。その都度時事問題の大まかな方針につき協議し、全体協議会へ提出。「全体・各種協議会」：毎年数回、各県より希望の多い数個のテーマの下、担当理事の参加で協議。地域医療、医療保険、介護保険、救急医療等々が多い。日医委員会委員である各県役員から活動報告を受ける。日医副会長並びに担当常任理事が出席し、各セクション・議題毎に最新の考え方を盛り込んだコメントを受ける。「総会・医学会」：毎年秋に主管県にて開催。総会の議決や九州医師会決議文採択の他に、各専門分科会や記念行事等もあり、医師会員であれば全員自由参加可能。総会では日医会長により中央情勢報告を受ける。その他、「日医代議員ブロック会議等の諸会議」がある。

現在の地域医療は、救急医療や広域災害医療に限らず、高度設備を有する他県施設受診者の移動も頻繁で、プライマリ・ケアの段階でも近隣諸県との医療・行政連携が不可欠である。その他単県では解決困難な問題も多くある。喫緊の課題として医療事故調査制度等が挙げられている。潤滑な連携を行うには、日頃から様々な機会を捉えて協議を行い、意思の疎通を図っておく必要がある。幸い、九州医師会ではその機能が比較的上手く働いており、様々な問題があればその都度提起・協議し解決策を見出してきた。九州医師会連合会の結束・連携は全国的にもゆるぎないものとして知れ渡っている。今後もこの結束・連携を維持して複数県に跨る重要な諸問題に対応していく必要がある。

(平成 27 年 6 月 22 日)

日州医談



医療情報サービス事業「M inds」について

Minds : Medical Information Network Distribution Service

常任理事 小^こ牧^{まき} ひとし^{ひとし} 斎^{さい}

2014(平成26)年3月4日、日本医師会館にて、平成26年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会が開催された。その中で「M inds」についての講演があったので要旨を報告する。

事業開始までの経緯

1999年厚生省の検討会が診療ガイドラインの整備を提言し、厚生労働科学研究費で26疾患の診療ガイドラインの作成が補助されることになった。それを踏まえ日本医療機能評価機構が、2002年に作成された診療ガイドラインの普及推進を図ることとなった。

事業内容

M indsでは、①医療者が診療に際して最新のエビデンスを十分に活用できるように支援し、②患者・市民が病気の基本を理解したうえで、診療の基礎となる最新のエビデンスを医療者と共有できるように支援すること、の2点を目標にしている。

実際、我が国の診療ガイドラインの普及に貢献してきた学会等が作成した診療ガイドラインを、作成方法を中心に評価し、選定された診療ガイドラインをM indsウェブサイトにて公開している。M indsウェブサイト2014には、作成されたガイドラインの80%が評価・選定され診療ガイドラインとして掲載されている。2015年1月現在、選定ガイドライン175 掲載ガイドライン138 月間閲覧数40万ページにのぼる。また患者・市民向けには9のガイドライン解説や、「やさしい解説」などを提供、随時更新している。M indsの現状(第12回EBM 研究フォーラム 2014年より引用)

2011年度からは、厚生労働省の委託事業「EBM 普及推進事業」として、次の6点を柱とする5年計画をスタートさせている。

(1)診療ガイドラインなどの評価

我が国で作成・公開されている診療ガイドラインを可能な限り収集し、作成方法から考えて質の高い診療ガイドラインを評価する体制を構築する。

(2)EBM データベースの充実

M indsウェブサイトのトップページに掲載許可が得られた診療ガイドラインを迅速に掲載する。また、患者や家族、医師以外の医療従事者などを主な対象とした一般向けコンテンツの一層の充実を図り、学会が作成したガイドライン解説やM inds独自のガイドライン解説、医学用語や病気などの平易な解説によって、患者と医療者が最新のエビデンスを共有できるようにする。さらに、コクランデータベースに登録されたシステマティックレビューの抄録を和訳して提供するなど、国際的な動向を反映したデータベースを充実させる(日経メディカル2014年4月号抜刷)。

(3)診療ガイドライン作成グループとの継続的連携

作成グループへの情報のフィードバックや意見交換会、一般臨床医を主な対象とした勉強会「M indsセミナー」を開催。さらに、「診療ガイドライン作成の手引き2014」を作成し、診療ガイドライン作成ワークショップを開催している。世界標準の作成方法を提案するなど、継続的な支援を実施して、学会等の作成者に

広く受け入れられている。また、診療ガイドラインに関する国際的な研究組織「AGREE 共同計画」による診療ガイドライン評価ツール「AGREE I」の日本語版を作成している。

(4) EBM 実践支援の提供

フォーラムやセミナーの開催、EBM の基礎知識や用語の解説を公開する EBM スコアなどのツール開発と提供を行っている。

＊M inds -Q Iプロジェクトについて

全国の 418 主要病院を対象に診療ガイドラインの活用促進に向けた活動を展開し、医療の質指標(Q I)を用いて、診療ガイドラインの活用による医療の質の向上を継続的に評価するシステムを構築しつつある。

(5) EBM に関する国際的な動向の把握と情報提供
ガイドライン・インターナショナル・ネットワークなどの国際的な活動への参加を通じて、EBM の国際的な動向を把握し、関係者に情報提供を行う。

(6) 利用者からのフィードバックを支援

問い合わせへの対応の充実や Web 上での定期的なアンケート実施、利用者ニーズの解析やシステム解析による利用状況の分析を行い、作成グループにも積極的なフィードバックを行う。

以上 6 点に注力しながら、利用者の意見・評価を柔軟に取り入れ、M inds 事業は展開されている。

診療ガイドラインの意義

医療者の専門性に基づく判断、患者の希望に十分な配慮をしつつ、標準となる診療を提示することで患者と医療者の意思決定を支援し、医療の質の向上を実現する。

診療ガイドラインの役割

＊研究開発で続々と登場する新しい診断・治療・予防法の有効性と安全性を科学的方法で確認する。

＊望ましい診療の範囲を提示して医療の質の低下を防ぐ。

＊専門領域を超えた幅広い疾患に関する情報を

提示して地域包括ケアを支援する。

＊臨床研修、生涯研修等に対して、その時点での標準の診療を提示して支援する。

診療ガイドライン利用上の注意点

1. 利用上の障壁(バリアー)が存在することを理解しておく。

例えば、医師がガイドラインに従わない理由として、知らない、使い慣れていない、納得できない等が考えられる。また自己効力感の欠如、結果予期の欠如、惰性を打破する能力の低さ(今までの習慣を変えることの難しさ)等が問題となる。外的障壁として、今までの治療方針を転換するのにスタッフへ理解をさせることの難しさ、医療装置・器械の変更の煩雑さ、患者への理解・説明の労力等も存在する。

2. 法的側面からのメッセージ

わが国で「ガイドライン」が取り上げられた医療訴訟は、裁判例検索システムにより検索できる。その数は平成 10 年～平成 19 年の 6 件に、それ以降平成 23 年 7 月までの 22 件を加えた合計 83 件が存在する。医師はガイドラインが医療裁判の基準として用いられていないかどうかの事実を知っておく必要がある。

診療ガイドラインの法的側面

ガイドラインが医療水準の少なくとも一部を構成する可能性はあるが、当初、臨床医が危惧したような、規範的なものとしてはとらえられていない。一方、これまでの判決では、実際の治療についてはガイドラインと齟齬があっても注意義務違反は問われないが、説明義務違反は問われている。

以上より

1) 臨床医は最新版の診療ガイドラインの存在と内容を知っておき、必要に応じて患者に説明する義務がある。

2) 推奨に則らない診療を行う時には、その理由をカルテに記載しておくことが勧められる。

お知らせ

第16回宮崎県医師会医家芸術展

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成12年から始まった宮崎県医師会医家芸術展も、本年度で第16回を開催する運びとなりました。今回は54名の皆様から123点のご応募をいただきました(7月2日現在)。

昨年は、2,924名の皆様にご来場いただき、ご好評いただいております。

今年は下記の日程で開催いたしますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちいたしております。

展示期間：平成27年8月12日(水)～16日(日)(5日間) 10:00～18:00

(但し、16日(日)は10:00～15:00まで)

場 所：宮崎県立美術館2F 県民ギャラリー1・2

(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：写真、書道、絵画

出 展 者：宮崎県医師会員とその家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 ☎ 0985-22-5118

写 真 部 門

井ノ口 信 子(宮崎 市)	木佐貫 冬 星(宮崎 市)	楠 元 正 輝(宮崎 市)
桑 原 淑 子(小 林 市)	酒 井 和 彦(都 城 市)	佐々木 究(宮崎 市)
竹 尾 康 男(宮崎 市)	田 崎 高 伸(宮崎 市)	田 中 宏 幸(宮崎 市)
田 中 みどり(国 富 町)	谷 口 二 郎(宮崎 市)	西 村 篤 乃(宮崎 市)
原 政 樹(国 富 町)	日 高 利 昭(延岡 市)	藤 浦 富 子(日 南 市)
藤 木 美津子(宮崎 市)	前 田 俊 二(小 林 市)	丸 田 茂 徳(都 城 市)
丸 田 英 夫(宮崎 市)	康 田 明 照(日 向 市)	矢 野 裕 士(小 林 市)
山 路 健(都 城 市)	渡 邊 命 平(日 向 市)	渡 邊 美 子(日 向 市)

書 道 部 門

大 迫 文 子(宮崎 市)	岡 村 公 子(延岡 市)	尾 上 孝 子(宮崎 市)
谷 脇 かおる(延岡 市)	日 高 芳 則(日 向 市)	松 本 京 子(宮崎 市)
山 内 励(宮崎 市)	弓 削 和 子(宮崎 市)	弓 削 三重子(宮崎 市)
吉 山 登志子(都 城 市)		

絵 画 部 門

新 木 る り(日 南 市)	安 藤 宣(西 都 市)	石 川 万佐子(宮崎 市)
江 藤 貴美子(宮崎 市)	押 川 千賀子(宮崎 市)	押 川 俊 子(小 林 市)
黒 川 基 樹(宮崎 市)	黒 木 昌 幸(都 城 市)	酒 井 美絵子(都 城 市)
佐土原 里 奈(宮崎 市)	瀬戸口 敏 明(都 城 市)	竹 村 龍之助(宮崎 市)
谷 口 二 郎(宮崎 市)	谷 口 浩 子(都 城 市)	長 沼 恭 子(延岡 市)
長 沼 弘三郎(延岡 市)	濱 田 幸 子(宮崎 市)	藤 木 浩(宮崎 市)
政 所 治 道(都 城 市)	丸 田 眞 美(宮崎 市)	吉 山 絢 子(都 城 市)

(敬称略・各部門50音順・平成27年7月2日現在)

はまゆう随筆

その 1

(7, 8 月号に分けて掲載いたします)

植民地時代

延岡市 みやた内科医院 みや た じゅん いち
宮 田 純 一

最近アメリカで警察官の黒人への発砲が問題となっている。黒人の大統領が出現する時代になったが人種差別はまだなくなっていないようである。私が小学生の頃人種差別が授業で取り上げられ、解決方法を質問されたことがあった。私は「国際結婚(混血)です」と答えた記憶がある。しかし問題の本質はもっと深い所にあるように思える。私が米国に留学していた時白人より黒人が犯罪を起こす印象を持っていた。日本でもスーツを着た会社員よりも暴走族が怖いと感じるのと同じ感覚である。従って今「人種差別の解決策は？」と聞かれたら「黒人の教育と生活レベルを向上させ白人よりも立派な黒人を増加させることです」と答えたい。

ところでアフリカはヨーロッパの植民地となり黒人は奴隷として働かされた歴史があるが、アジアもヨーロッパの植民地となり困難な時代を経験した。自国の政治、経済をヨーロッパ人に支配され不平等な扱いを受けていた。第 2 次世界大戦後に多くの東南アジア諸国は独立し現在に至っている。一見各国の独立は保たれているように見えるがグローバル化した社会では新たな植民地が存在するようになってきている。世界企業が出現し安い労働力を求めて発展途上国に工場を作り、得られた富は本社(本国)へ吸

収されている。この植民地化は先進国も例外ではなく移民などの安い労働力を求めた世界企業が企業の地図を塗り変え、古い体質の企業は消滅している。植民地化を進めた世界企業が発展を続け、国民の貧富の差は増大している。今日、健全な社会をめざしてグローバル化時代の新たなルール作りが求められている。一方医学に目を向けると先進地の米国では保険会社が医師の医療を制約し、保険会社に医療が支配され植民地化されている印象を受ける。日本は以前ヨーロッパからの植民地化をまぬがれたが、現在も独立性を守る努力が医師に必要だと思われる。

調和(バランス)

延岡市 ほうしやま 子どもクリニック ほうしやま 宝珠山 ひろし 弘

世界平和と幾度も呼びながら、近頃は変なテロ、サギ、殺人(放火)多く、平和は遠い存在である。パキスタンの教育活動家として知られるマララ・ユスフザイさんが、ノーベル平和賞を受賞した。まことにすばらしいと思う。教育が平和に通ずることは申す迄もない。

時々人に“君の好きなことは何ですか”と云

はれて「私は囲碁」と答えている。かつて囲碁界に君臨した呉清源さんが、「囲碁は調和である」と答えている、人生もしかりである。バランスをもった教育、宗教、哲学、文学…こそ平和に通ずるとつくづく思う。

かつてヘボ碁時代に1目勝てばよいのに、20-30目勝たねば勝った気がしなくて、負けたら囲碁板をヒックリ返して遊んだことを覚えている。

佛教で申す「カタヨラナイ」「コダワラナイ」「トラワレナイ」のバランスこそ大切な信念と思っている。

夢多き人生と云う：

私も勝手な夢をよく見る、天国と地獄程格差の大きいものはない。

赤いランプの終列車に乗ってエンマさんの所に行き、その中間点の中間国でよいから行かせてくれと云ってみた一中間点も光輝くよい世界と聞いている一

エンマさん云わく“天国行の列車に乗ったつもりだろうが、次の質問に合格したらよきに計ってやる”と申した。

質問は次の通りである：

①礼儀正しくすごしたか、②行為に恥ずるなかりしか、③親孝行したか、④信義にもとるなかりしか、⑤努力にうらみなかりしか、の五問であった。ウソをついたら地獄行と云う。60点なら何とかすると申した、私は50点だった。エンマさん云はく、后程考えてその内連絡すると云った。「エンマさんよろしく申し上げます」と多少ブツブツ云いながら、目がさめた。まさに夢多き人生だ。

一老兵は死なず、タダ消え去るのみ一(マッカーサー元帥)の言葉を思いつつ、人生とは何かと考へ楽しい夢を見てゆきたいと思う。

ついにやった

宮崎市 九州保健福祉大学
総合医療専門学校

たか きき ま ゆみ
高 崎 眞 弓

毎年3月に『医学書総目録』が出る。2015年版は、広告を含めて560ページに及ぶ大部な目録だ。それでも頒価は1,000円で、宮崎大学医学部にある医学書取扱店では無料でもらえる。

この目録に占めるスペースを見ると、A診療科は3ページに満たないが、麻酔科・ペインクリニックは9ページ、神経内科は12ページ、精神科は16ページにもなる。このページ数だけで、「A診療科の医師は本を読まないが、麻酔科、神経内科、精神科の医師は本が好きだ」となる。

出版社は売れないA診療科向けの本を作らない。売れる診療科向けの本に興味を示す。ある医学書出版社の編集長は、ときどき「宮崎へ行くので昼飯でもどうですか」と、メールをよこす。歩いて5分ほどの宮崎観光ホテルで食べながら談笑する。編集長は雑談から情報を収集するのだ。

この雑談から生じたアイデアを熟成させて、5月に1冊の医学書を上梓した。700ページ近い大作なので、筆者ひとりでは編集できずに現職の教授や部長、4人の力を借りた。

週末を利用して企画会議を繰り返し、出版しようとする本の目的や形式を分かりやすく書いて分担執筆者に依頼する。ところが、返ってくる原稿の中に依頼とまるで違うものがある。執筆者が准教授や講師なら、出版社や編集者から書き直しを頼むが、相手が教授となるとそれも難しい。よい本にするために編集者は原稿に朱を入れるが、教授の原稿には入れにくい。

日本語版も出ている『ハリソン内科学』は、1950

年に初版が出てから、今日までの累計販売部数が 100 万部を超えるグローバル・スタンダードである。この間の編集の思い出やエピソードが、『ハリソン物語』（非売品）に綴られているが、依頼にそぐわない原稿や内容の乏しい原稿はボツにして、再度別な人に依頼したという。実にうらやましい。

今回、編集のために 400 篇の原稿をすべて読んだが、素晴らしい原稿もあれば、首を傾げたくなるものもある。編集本なので致し方ないが、ほかの編集者から「この原稿はちょっと」と、相談を受けた。

ある教授の書いた原稿で、確かに問題が多い。「断って、別な人に書いてもらいましょう」と決めた。よい本に仕上げるためには仕方ない。

喜寿におもうこと

宮崎市 増田病院 ^{ます}増 ^だ田 ^{よし}好 ^{はる}治

喜寿に達したことは、誠におめでたいことなのでしょうが、その年齢に達したことを振り返ってみて自分の人生は、どんな道のりだったのだろうと思ひ起こしました。

私が生まれたのは、韓国ソウル。太平洋戦争敗戦のときに国民学校の 2 年生 7 歳でした。敗戦をうけて、私達家族は日本本土に引き揚げることになりました。1,000 人以上の集団が、ソウ

ル駅前に集められ、貨車に詰められプサンの港に着き、引き揚げ船「北斗丸 800 トン」に乗り込んだのは、家を出て 3 日目の夕方でした。船倉に詰め込まれたが、船では甲板が一番いいという母の教えに従い、姉 4 人・妹 2 人と合わせて 8 人は母を中心にそれぞれのリュックと共に固まって甲板で寝ておりました。

明け方のこと、ドカン・ガガガーという音と振動に飛び起き“機雷だ”“機雷にかかった”というさけび声が聞こえました。みると、併走して来たやや小ぶりの船の右舷に水しぶきがみえ、多くの人達がパラパラと船から海上に落ちていきます。船を止めろ、助けろとの叫び声が聞こえました。数分後には、船は船尾からゆっくり海中に沈んでいきました。そのとき、船長の放送があり、「本船の船長として皆さんを無事に本土に送り届けることが任務です。ここは潮の流れが早く本船は機雷を避けながら航行しております。停船して救助活動を行えば、本船も同じ運命をたどる危険があります。既に本土から駆逐艇が救助に向かって来つつあります。本船は停船致しません。本船は停船致しません！浮遊物をすべて海に投げ込んで下さい」と。船員は、船べりにつけていた仮設のトイレを括り付けていた太い針金を、次々と切って廻り、パラパラと無数の板が海に落ちていきました。母と私達は、手を合わせて仏様にお祈りしました。壱岐の島がみえていました。

それから 4 年後の 7 月末のことです。母と 2 人で焼け付く畑で、地面にへばりつくという姿勢で粟の間引き作業をしていました。背中からジリジリ照りつける太陽は、卵焼きが出来る位でしたが、いつの間にか空が真っ黒になり、どしゃぶりの雨が降ってきました。母が 30m ぐら

い先の一本杉の下に雨宿りに行くというのを、背中を冷やしたいから行かないと返事しました。母も「じゃー、うちも」と言い、仕事を続けようとなりました。そのとき、ドカン・ガンという音と共に周囲に閃光が奔りました。私はその瞬間飛び上ったらしく、白い草履の跡が二つみえました。少し、雨が緩んで立ち上がり顔をあげてみると、一本杉の私の下肢位の枝が引き裂かれ、まだ煙も漂っていました。「また、助かったね」と母が言い、私も「うん」と数年前の機雷の光景を思い浮かべていました。

この二つの体験により、私にとって少年期から青年期・壮年期を通じ、喜寿に至っても、何故、お前は助けられているのか、神様はお前に何をせよとおっしゃっているのかと常に自問をしながら生きてきました。私は何をすれば良いのか、何をせよと生かされたのかその答えをみつけることが私の人生のように思います。

パーソナルトレーニング ライ○ップのCMを観て

宮崎市 よこうち皮膚科・横内哲博
形成外科

軽快な音楽とともに、2か月間でこのような見事な体型になります、というジムのCMが流れていた。高額な会費で、トレーニング、食生活管理などが厳しいらしいが、「…本当にああい

う体型になれたらなあ」と何気に家内に話した。すると家内は「…それならパーソナルトレーニングを受けてみたら」と勧める。妻は2年前より宮崎駅裏のRジムでパーソナルトレーニングを受けている。パーソナルトレーニングというのは、希望の時間内にマンツーマンで指導してくれるらしい。

今から夏になるし、半そでの白衣から上腕二頭筋が目立つのもいいかもと思った。

すると家内が早速トレーナーを選んで、予約を取ってくれた。それに監視を兼ねてだろうか、家内もトレーニングを同じ時間帯に受けるとのことで、一緒に通い始めた。

はじめにトレーニングの目的を聞かれたが、さすがに某CMのような体型に、との希望は飲み込んだ。

最初は様々な動きをさせられて、「大臀筋が弱いですね。股関節を伸ばす時は、腰と大腿の筋肉を主に使っています。臀部の筋肉を鍛えましょう」全く予想外のところからトレーニングが始まった。

トレーニングは自分がマゾヒズムの傾向があるのでないかと思えるくらいに、きついが、楽しい。何故ならば、トレーナーのモチベーションを上げる声掛けが上手い。横について、「この部分を鍛えるので、しっかりここまで上げて、力を抜かずに」「まだまだ」「よし、頑張れ」「良くなってきました」「頑張りました。ここ効いているでしょう」（目的とした部位を触りながら）

毎回、掛け声は違うが目標設定、叱咤、激励、達成したことの確認、の順番で声をかけてくれる。終わったあとは、自分を褒めたいぐらいの満足感が得られた。これで、夏までには細マッチョにと期待していたのだが、ある日ベルトが

きつくなっているのに気付いた。体重も 2.5キロ増えている。愕然としたが、そういえば思いあたることがある。ビールである。トレーニングを行った日は汗をかいだ爽快感で、次の日は頑張った自分へのご褒美で、その次の日は筋肉痛の緩和の為、とビールを飲みすぎていた。

生活を含めて「結果をコミットする」(CM のキャッチフレーズ)トレーナーがいないと、自己管理ができない者は無理なようである。

飴の摂取状況に関する研究

高鍋町 大森内科医院 おおもりふみひこ
大 森 史 彦

【目的】日常、高齢患者さんがどの程度飴をなめているかを確認するため、その摂取状況を調査した。

【方法】当院外来を受診した 60才以上の男女に、直接問診法により飴の摂取状況を確認した。平成 27 年 5 月 22 日より調査を開始し、1 日 1 個以上、のど飴を含めた飴をなめる方を、日常的に飴をなめている(陽性)と判断した。

【結果】男性 5 名、女性 9 名合計 150 名の方に問診をした。男性は 13 名(22.8%)、女性は 26 名(28.0%)、合計では 39 名(26.0%)の方が陽性であった。

【考察】外来患者さんと会話をしていると、中高年の方で飴をなめる方が結構多いのに気付かされた。高血圧症や糖尿病、脂質異常症、慢性

腎臓病など、食事療法が重要な疾患で治療中の患者さんは多いが、食事療法の指導の際飴の摂取までは考慮されていない。今回の調査で、全体の 4 分の 1 の方が日常的に飴をなめることが判明した。特に女性ではなめる方が多い傾向が見られた。驚くことに、糖尿病患者さんでも、3 名の方が飴をなめると回答された。なめる理由は様々で、甘いものが好きだから、口腔内が乾燥するから、外出するときなんとなくなめしてしまう、車を運転するとき緊張するから、バスに乗るとき習慣でなめる、などということであった。飴はなめなくても、チョコレートやガム、黒砂糖をよく食べる方も多かった。肥満症だけでなく、各種生活習慣病では適切な食事療法と運動療法が必要である。特に糖尿病では糖分の過剰摂取は控えるべきである。食事栄養指導の際には、3 食の献立については詳しく指導されているようだが嗜好品までは十分とはいえない。今回の調査では、飴を含めて甘い食品、菓子類についても聞き取りをして、指導をする必要性があると判断された。

【結論】外来患者のうち約 4 分の 1 の方は毎日 1 個以上飴をなめるため、食事栄養指導ではこうした嗜好品についても調査、指導が必要である。

カット

ささやかな楽しみ 雑草との出会い

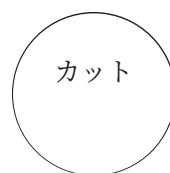
日向市 千代田病院 ^{しゅ}首 ^{とう}藤 ^{とし}敏 ^{ひで}秀

南国宮崎は花の国であり、植物園はもとより、家々の庭にもきれいな花達が咲き誇っている。健康のためと思って自宅の周辺をジョギングしていると、道端や空き地に生えている雑草もまた目を引くものが沢山あり気になっていた。しかし、その名前がほとんどわからないのが口惜しかった。そう思っていたところ、最近「散歩が楽しくなる雑草手帳」（稲垣栄洋著、東京書籍）というポケットサイズの本を新聞で見つけ購入した。見てみると以前より気になっていた雑草の名前や、目から鱗の情報が写真付きで満載されていた。

例えば、銀色に光る柔らかな穂が風になびく群れを見て、無知な私は季節外れのススキなくらいにしか思っていなかったのであったが、その本によると「チガヤ(茅)」という名の雑草であることがわかった。また空き地に群生し薄紫色の霞が浮いているかの様に幻想的な世界を創り出していたのは、「マツバウンラン(松葉海蘭)」といい、葉が松葉の様に細くて小さな青紫色の蘭に似た花を先端に付けている。「ツキミソウ(月見草)」に似て、薄いピンク色の上品な花を咲かせていたのは「ヒルザキツキミソウ(昼咲き月見草)」と判明した。

そのほか、「ハルジオン」、「ヒメジオン」、「ヒメコバンソウ(姫小判草)」、「ホトケノザ」や「コオニタビラコ」などなど、本に載っている雑草がこんなに身近にたくさんあり、しかも簡単に見つけることができるとは思ってもみなかった。

ジョギングしながら湧いた雑草への興味であったが、いろいろ気になりだすと、走りながらでは雑草をもっと観察したいという欲求が満たされず、最近ではしばしば立ち止まりながらのかなりスローペースの散歩に移行してきているのが嬉しくもあり、残念でもある。



人生は、いま、夕焼け

宮崎市 細見クリニック ^{ほそ}細 ^み見 ^{じゅん}潤

これは私の母の95歳の誕生日プレゼントとして、聞き書き作家の小田豊二氏に依頼して本年5月24日に発刊した本のタイトルです。小田氏は「聞かせてください、あなたの人生」をライフワークに、三木のり平さんや中村勘九郎さん、淡路恵子さん、ジェリー藤尾さんなど芸能人の人生を聞き、その人の語り口調で文章化して、これまで多くの作品を世に出してこられました。

私の母は大正9年5月24日に宮崎市旭通商店街で細見商店という菓子商を営んでいた私の祖父、細見達治の長女として生まれました。10歳の時に母の母、すなわち私の祖母が家を出たため、「ばあや」と「ねえや」に食事や身の回りのことをしてもらいながら、3人の弟と1人の妹とともに幼稚園、小学校、女学校時代を過ごしました。女学校卒業後は花嫁修業の傍ら、細見商

店の手伝いをしており、嫁に出したくなかった祖父の達治の意に従って、当時の細見商店の番頭をしていた私の父と結婚しました。戦後は細見商店を出て夫婦で金物店、タクシー会社など起業し、それなりの成功を収めました。父とは価値観の違いから 40 代半ばに離婚しました。その後は反物の仕入れ販売や母の弟が経営する会社の手伝いなどして私と姉を育ててくれました。私が高校 3 年生の冬、大学進学を建築学科から医学部志望に切り替えた時、母は「医者なんかになってつまらん」と反対しました。私は何とか母を説得して医学部に進学しましたが、母がこれを受け入れるのには少しばかり時間がかかりました。

「人生は、いま、夕焼け」に書かれた多くのエピソードは私が母から何回も聞かされたことばかりです。しかし、小田氏から聞き書きという方法で本にまとめていただいたことで、あらためて母の価値観や生き方をより深く理解することができました。

また一方では、母は自分の人生に納得していることもわかりました。人は誰でもある程度の年齢に達した時に自分の人生を振り返り、自分に起こった様々な出来事を整理、統合することで平安な死が迎えられると言われています。これは回想法という心理療法の中のライフレビューと言われているものですが、この本を見て、母の中でそれが見事になされていることに私は大きな安堵を覚えました。

「人生は、いま、夕焼け」は当院にて販売しています。ライフレビューに興味のある先生がいらっしゃればクリニックまでご一報いただけると幸いです。なにとぞよろしくお願いいたします。

「人生は、いま、夕焼け」

四六版 240 頁ハードカバー

1,200 円（消費税・郵送料別）

医療法人ハートピア細見クリニック

〒 880-0001 宮崎市橘通西 1 丁目 5-3

電話 0985-35-1100 Fax 0985-38-1711

最近のウイルス事情

宮崎市 古賀総合病院 みなみ 南 しま 嶋 よう 洋 いち 一

最近、テレビや新聞紙上に、ウイルスが登場しない日はない。しかも、ウイルスは二種類である。

一つは、日本年金機構をはじめ種々の組織のシステムに感染して、個人情報流出させ、国民に多大の不安と迷惑を与えているコンピューターウイルスである。

もう一つは、中東呼吸器症候群(MERS)の病原体であるコロナウイルス(MERS-CoV)である。2012 年に中東に端を発した MERS は、今、韓国でアウトブレイクを起こしている。6 月 18 日現在で、感染者は 165 名、死亡者 23 名であり、まだ流行終息の目途は立っていない。

今回の MERS の流行は、主に院内感染で広がったことが特徴である。

それは 1 人の中東からの帰国者から始まった。初発例となった 68 歳の男性は、4 月 18 日から

5月3日まで中東各国に滞在した後、5月4日に帰国し、その6日後の5月11日に発症した。4か所の病院を受診し、4つ目の病院で行ったMERSの検査が陽性であったため、5月20日に隔離された。診断確定に10日を要している。

WHOは、昨17日、韓国におけるMERS拡散の要因の第一に、殆どの医師がMERSの存在を認知しておらず、その出現を想定していなかったことを挙げ、次いで、病院の不適切な感染対策を指摘した。

米国ミネソタ大学のオスターホルム教授は、感染症の世界的な流行に関して、“それは、「若し」ではなく、「いつ」起こるかという問題であり、

我々はそれに備えなければならない”と警句を発している。感染症のリスクは、それが起こる可能性と、起こった場合の社会的なインパクトの積として表される。

感染症に国境はない。今回の事例は、“Think globally, Act locally”という視点と取組みが感染制御に不可欠であることを、改めて実証した。効果的な感染対策は先行事例に学ぶことから生まれる。それはなぜ起こったか、その要因を分析し、教訓として、活かすことである。起こる可能性があることは起こる。

我々は、韓国に学ぼう！ ただし、反面教師として。
(2015年6月18日)

大学卒業五十五年

延岡市 藤本内科小児科医院 藤本孝一

卒業後五十五年の珊瑚会級友会に笑みつつ
集ふ

三十名すでに逝きゐし残りたる五十六名の
うち三十名揃ふ

亡き夫の代りに集ふ夫人らもわれら夫婦と
会につらなふ

級友の一人一人が語りたり過去現在の生活
のこと

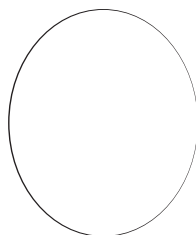
珊瑚会を楽しみ浸る級友会五年後にまた出
席出来るや

エコー・リレー

(479回)

(南から北へ北から南へ)

「来た。見た。勝った」そして「お前もか」(ユリウス・カエサル)

宮崎市 宮崎大学 安全衛生保健センター たけ だ りゅういちろう
武 田 龍一郎

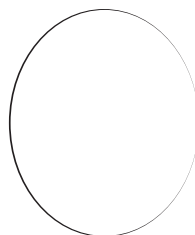
昨年のクリスマスの翌朝、
2 年に及ぶ闘病の末、愛犬が
亡くなった。ジャーマンシェ
パードのメスで、1 歳だった。
性格は神経質で飼い主べつた
り、警察犬の訓練を施し、嘱
託警察犬登録を勧められたが、

結局断って家庭犬として平凡な一生を送った。
死因は形質細胞腫類縁の多発性腫瘍だった。貴
重な症例らしく、病理解剖を承諾した。家内は
犬を可愛がり、また熱心に看病していたせいも
あって、犬の思い出を語る度に目を潤ませ、「も
う飼わない」と話していた。久しぶりに愛犬のい
ない冬を過ごした。

今春 4 月、とても天気の良いある日、私は「世
話になった警察犬訓練所に、亡き犬のご報告に
行こう」と家内を誘うと、一瞬迷った風情であっ
たが、結局家内は応じ、一緒に訓練所を訪れた。
するとそこには、シェパードの子犬が 2 匹居た。
この犬種はオスから譲渡先が決まることが多い。
残っているのはメスだ。7 匹生まれたうちの、
体が一番ちっちゃな「売れ残り」のメスが目の前
に。そして我々はメロメロに。結局「来た。見た。
飼(買)った」。実は、私は出産情報を知っていた
のだ。私の思惑通りになり、作戦勝ちをひとり
ほくそえんでいた。ところが後日、家内もその
子犬の出産情報を web で知りつつ、知らぬふり
を決め込んでいたと発覚。「ワイフよお前もか」
あうんの呼吸で嬉しいような、家内の掌で踊ら
されて情けないような。家内とかわいい犬には
勝てぬ。まあいいか。よろしくな次女よ。

[次回は、延岡市の清水 謙祐先生にお願いします]

やっぱり AED は賢い

宮崎市 和知川原 ひ だか あき よし
生協クリニック 日 高 明 義

今日はもう終わりかな…夜
間の診療時間を 10 分残し、気
分は帰宅モード。そんな中「先
生、倒れている人がいます…」
クリニックに響き渡る声。行っ
てみると、誰もいない待合室
の床に仰向けに知らない男の
人が倒れていて、看護師が声

をかけていました。

泡を吹いていて、脈が…心肺停止！心マしな
がら「AED！」今まで装置は置いていたけれど使っ
たことがなかったので、目の前に広げて説明書
きを…気が動転して、これが読めないんで
す。とにかく胸を開けて、シールを張ると、はっ
きりした女性の声で指示が出ました。…計測中
です。そうこうしているうちに、消防車のサイ
レン…(火事じゃないよ、急病だよ…電話間違っ
たんじゃないの…)…体から離れて、スイッチを
押して…ズキン。なんと脈が触れてきました。「やっ
た！」救急隊が数名駆けつけてくれ、心マを交代
していただきました。それにしても、救急車の
音いつ変えたの??? AMBU マスクをしながら
聞こうと思ったら、救急車の音が近づいてきま
した。救急車が出払っていた時は、消防車も出
動しているとのこと。助かりました。とにかく
当院初診、新患で、情報も全くなく、よくぞ AED
を置いていました。その後数日して、関係全職
員を集めて改めて AED の学習会を開催したのは
言うまでもありません。

1 か月もたたず、「元気になりました」とあい
さつに来られましたが、お互い初対面?とは思
えない雰囲気でした。それにしても、救急隊の
対応に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

[次回は、都城市の大窪 利隆先生にお願いします]



あなたできますか？

— 平成26年度 医師国家試験問題より —

(解答は64ページ)

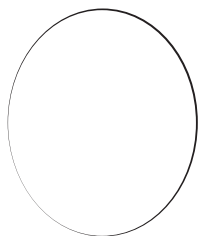
1. 疾患と治療薬の組合せで適切なものはどれか。

a 気管支喘息	β遮断薬
b 肺高血圧症	抗コリン薬
c マイコプラズマ肺炎	ペニシリン系 抗菌薬
d ニューモシスチス肺炎	抗真菌薬
e アレルギー性気管支 肺アスペルギルス症	副腎皮質 ステロイド
2. 蝶形骨にあるのはどれか。
 - a 篩板
 - b 内耳道
 - c 頸静脈孔
 - d 上眼窩裂
 - e 舌下神経管
3. 血清Ca値と血清P値とが反対方向に変化(一方が上昇し他方が低下)する疾患はどれか。2つ選べ。
 - a 慢性腎不全
 - b 甲状腺髄様癌
 - c ビタミンD欠乏症
 - d 特発性副甲状腺機能低下症
 - e 腫瘍性低リン血症性骨軟化症
4. 社会保障制度について正しいのはどれか。
 - a 国民医療費はこの10年間で3倍に増加した。
 - b 診療録の保存義務期間は終診時から2年間である。
 - c 国民健康保険組合の被保険者数は6千万人より多い。
 - d 介護保険第1号被保険者数は第2号被保険者数より多い。
 - e 結核患者の医療費の公費負担は感染症法に規定されている。
5. 放射線の確率的影響で正しいのはどれか。
 - a 放射線宿酔が含まれる。
 - b 線量に閾(しきい)値がある。
 - c 線量と重症度に相関がある。
 - d 防護目標は発生の防止である。
 - e ヒトでは遺伝的影響は確認されていない。
6. ビタミンB₁₂の代謝について正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 主に空腸上部で吸収される。
 - b 成人の1日必要量は約2mgである。
 - c 血中ではトランスコバラミンと結合する。
 - d 胃壁細胞から分泌される外因子と結合する。
 - e 胃全摘後に補充しなければ約5年で欠乏する。
7. 24歳の女性。両側手関節の痛みと発熱とを主訴に来院した。1か月前から両側手関節に疼痛と腫脹とを認めていた。2週前に潮干狩りに行き、3日後に発熱とともに日焼けした部分に水泡が生じた。その後改善しないため受診した。口腔に違和感を感じ鏡で見たところ、硬口蓋に地図状の発赤とびらんを認めた。最近になって尿の異常な泡立ちがみられていた。

予想される検査所見はどれか。3つ選べ。

 - a 赤沈亢進
 - b 尿蛋白陽性
 - c 血小板数増加
 - d リンパ球数減少
 - e 血清補体価(CH₅₀)高値
8. Stanford B型急性大動脈解離の合併症として可能性が最も低いのはどれか。
 - a 血胸
 - b 腎不全
 - c 下肢虚血
 - d 腸管壊死
 - e 急性心筋梗塞
9. 胆管癌のリスクファクターでないのはどれか。
 - a 肝内結石症
 - b 先天性胆道拡張症
 - c 膵・胆管合流異常症
 - d 原発性硬化性胆管炎
 - e 原発性胆汁性肝硬変
10. 糖尿病の患者で毎日のウォーキングを積極的に勧めてよいのはどれか。
 - a 肥満で、膝関節痛を伴う。
 - b 体重減少があり、尿ケトン体が陽性である。
 - c 視力低下を訴え、増殖糖尿病網膜症を認める。
 - d 両下腿に浮腫が著明で、蛋白尿(3.5g/日)を認める。
 - e 間欠性跛行を主訴とし、右足背動脈の触知が不良である。

メディアの目



振り幅

毎日新聞社 宮崎支局長

かとう
加藤まなぶ
学

毎日新聞の宮崎版には「はがき随筆」という読者投稿欄がある。配偶者との何気ないやりとりや宝物のような思い出話を、252文字にしたためるのだ。市井の人々のさまざまな思いを知ることができるコーナーで、時にうなるような名文に出合うこともある。皆さんも機会があればご一読を。そしてぜひ投稿にチャレンジしていただきたい。

さて、それはさておき、宮崎県内には投稿者でつくるグループが3つあり、毎月それぞれ合評会を開いている。私は講評をするため各グループの合評会に招かれ、うかがっているのだが、日南市で開かれた時のこと。合評会に入る前の雑談で、串間市在住で50代のAさんが興奮した様子で「うわさ通りだったのよ！素晴らしい先生だったわ」と目を輝かせながら話し始めた。聞けば、串間市の総合病院の医師という。赴任前は日南市の総合病院に在勤していたといい、その頃から串間市の住民にまで評判が届いていたというから驚きだ。

で、彼のどんな所がいいんですか？私は興味津々で尋ねた。診察を受けた様子を説明しながら、「すごく丁寧に物腰もやわらか。『よくぞ来ていただきました。どうもありがとうございます』

す』というほどの低姿勢なの！」。どうしてそんな症状が出ているのか。その原因の説明や自宅に帰ってからの対処法など、丁寧に説明してくれたという。なるほど。説明だけではない。きっと人を包み込むような魅力ある人なのだろう。彼女の嬉々とした表情をみて「医は仁術」の言葉が浮かんだ。

思い出すが、亡父のことである。白血病で闘病中だった父は入院中、抗がん剤の影響で免疫力が極端に落ちていた。個室に病院が用意した空気清浄機が置かれた。ほどなくして、父が「空気が悪い」と訴えた。看護師が機器を調べると、ほこりが詰まっていた。病院側は「あ、詰まてましたね」と特段わびることもなく、そそくさと掃除して済ませたという。

免疫力が落ちている患者に対してあまりに配慮に欠いた対応ではないか。しかも謝りもしないとは。家族の間で「強く抗議すべきだ」との声が上がった。だが、しょせん「命を預けている側」だ。事を荒立てて、これ以上不利な状況をつくりたくない。結局、ぐっと言葉をのみ込んだ。

対応一つで、あがめられたり不信の対象になったりする医療。命を対象とする業種ゆえに、期待と失望の「振り幅」も大きいのである。

宮崎県感染症発生動向 ～5月～

平成27年5月4日～平成27年5月31日(第19週～22週)

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核18例：保健所別報告数を【図1】に示した。
患者が13例、無症状病原体保有者が4例、疑似症患者在1例であった。患者は肺結核が10例、その他の結核(結核性胸膜炎2例、脊椎1例)が3例であった【表1】。性別は男性9例・女性9例で、年齢別報告数を【表2】に示した。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症4例：宮崎市保健所管内で4例報告があった。いずれも無症状病原体保有者で、年齢別では10歳代が2例、20歳代が1例、40歳代が1例であった。原因菌のO血清型はO91(vt1産生型が1例、vt1,2産生型が3例)であった。

4類：○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)3例：宮崎市、延岡及び日南保健所管内で各1例ずつ報告があった。

- ・60歳代で、主な症状として発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、出血傾向、紫斑、消化管出血がみられた。4月下旬に発症し、5月上旬に死亡した。ダニの刺し口があり、海外渡航歴はなかった。
- ・60歳代で、主な症状として発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹がみられた。5月上旬に発症した。ダニの刺し口があり、海外渡航歴はなかった。
- ・70歳代で、主な症状として発熱、筋肉痛、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少がみられた。5月上旬に発症した。ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴はなかった。

○日本紅斑熱2例：宮崎市及び日南保健所管内で各1例ずつ報告があった。

・50歳代で、主な症状として発熱、頭痛、刺し口、発疹がみられた。

・80歳代で、主な症状として発熱、発疹がみられた。

○レジオネラ症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。70歳代で、病型は肺炎型であった。主な症状として発熱、咳嗽、肺炎がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：高鍋保健所管内で報告があった。50歳代で、病型は腸管アメーバ症であった。主な症状として、大腸粘膜異常所見がみられた。原因病原体はアメーバ原虫栄養型 *Entamoeba histolytica* (病原性+)であった。

○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内で報告があった。0～4歳で、原因病原体不明であった。主な症状として、発熱、痙攣、意識障害、運動障害がみられた。

○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：宮崎市保健所管内で報告があった。70歳代で、病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)で、診断の確実度はほぼ確実であった。主な症状として進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、視覚異常、無動性無言状態、記憶障害がみられた。

○後天性免疫不全症候群3例：宮崎市保健所管内で2例、都城保健所管内で1例報告があった。30歳代が2例、40歳代が1例で、男性2例・女性1例であった。病名はAIDS(指標疾患：カンジダ症・

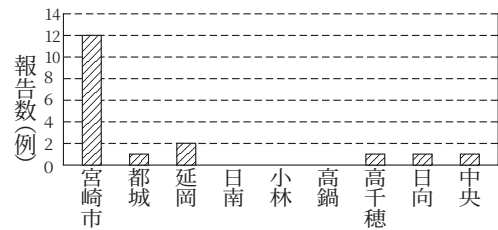


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	10
その他の結核(結核性胸膜炎等)	3
無症状病原体保有者	4
疑似症患者	1

表2 結核 年齢別報告数(例)

20歳代	30歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	1	6	8	1

前月との比較

	2017年5月		2017年4月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	290	4.9	730	12.4	
RSウイルス感染症	27	0.8	123	3.4	
咽頭結膜熱	155	4.3	193	5.4	
※溶レン菌咽頭炎	442	12.3	451	12.5	
感染性胃腸炎	1,674	46.5	1,962	54.5	
水痘	114	3.2	143	4.0	
手足口病	195	5.4	238	6.6★	
伝染性紅斑	12	0.3	7	0.2	
突発性発しん	162	4.5	187	5.2	
百日咳	4	0.1	1	0.0	
ヘルパンギーナ	224	6.2	57	1.6★	
流行性耳下腺炎	14	0.4	18	0.5	
急性出血性結膜炎	0	0.0	3	0.5	
流行性角結膜炎	36	6.0	80	13.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	1.1	7	1.0	

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- ニューモシスティス肺炎)が 1 例、無症候性キャリアが 2 例であった。
- 梅毒 2 例：延岡保健所及び日向保健所管内で各 1 例ずつ報告があった。30 歳代及び 40 歳代の男性各 1 例ずつで、病型はいずれも早期顕症梅毒 I 期であった。主な症状として初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹がみられた。
 - 破傷風 3 例：いずれも宮崎市保健所管内で報告があった。60 歳代、70 歳代、80 歳代が各 1 例ずつで、主な症状として筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害がみられた。いずれも破傷風のワクチン接種歴はなかった。

■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 3,357 人(定点あたり 96.0 で、前月比 79% と減少した。また、例年の 97% と同程度であった。

前月に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

咽頭結膜熱の報告数は 155 人(4.3 で前月の約 0.8 倍、例年と同程度であった。日南・中央(各 13.0 保健所からの報告が多く、年齢別では 1～3 歳が全体の約 6 割を占めた。

手足口病の報告数は 195 人(5.4 で前月の約 0.8 倍、例年の約 1.5 倍であった。中央(15.0、高鍋(9.8 保健所からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 224 人(6.2 で前月の約 3.9 倍、例年の約 2.2 倍であった。延岡(27.0 保健所からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めた。

■ 月報告対象疾患の発生動向 〈2015 年 5 月〉

□ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は 40 人(3.1 で、前月 114% と増加した。また、昨年 5 月(3.1)と同じであった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数 27 人(2.1 で、前月の約 1.1 倍、昨年 5 月の約 1.0 倍であった。年齢別では 20 歳代が全体の約半数を占めた(男性 13 人・女性 14 人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数 6 人(0.46 で、前月の約 1.2 倍、昨年 5 月の約 2.0 倍であった。年齢別では 20 歳代が全体の約半数を占めた(男性 1 人・女性 5 人)。
- 尖圭コンジローマ：報告はなかった。
- 淋菌感染症：報告数 7 人(0.54 で、前月の約 1.4 倍、昨年 5 月の約 0.9 倍であった。年齢別では 20 歳代が全体の約 7 割を占めた(男性 5 人・女性 2 人)。

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は 15 人(2.1 で前月比 88% と減少した。また昨年 5 月(3.9)の約 0.6 倍であった。

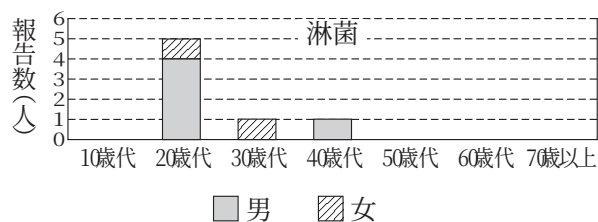
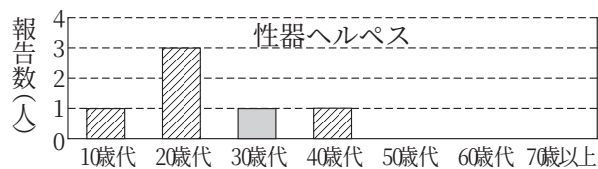
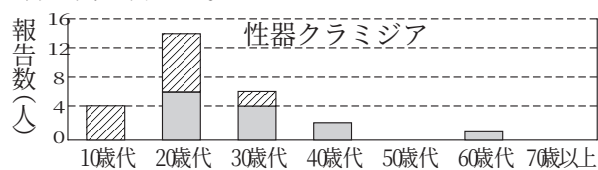
《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数 15 人(2.1 で、前月の約 0.9 倍、昨年 5 月の約 0.6 倍であった。70 歳以上が全体の約 6 割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

■ 病原体検出情報(微生物部)

	検 出 病 原 体	件
ウイルス	エコーウイルス 3 型	3
	コクサッキーウイルス A 9 型	1
細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC(O111:HNM VT12))	2
	腸管凝集性大腸菌(EAggEC(O111:H21))	1
	Ignatzschineria indica suspect	1
菌	Salmonella spp OUT(血清型不明)	1
	Salmonella Corvallis(O8:z4,z23:-)	1
	Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	1



■ 男 ■ 女

各郡市医師会だより

延岡市医師会

東九州自動車道では、平成26年3月に延岡・宮崎間が開通し、1年後の今年3月に延岡・大分間も開通となり、長年の念願であった両県の県都と延岡がつながりました。その影響は大きく、早速今年4月から大分大学神経内科から延岡市医師会病院の専門外来に週1回から派遣していただけるようになりました。また医師会病院に、大分大学の消化器外科から1名出向という形で就任されました。県立延岡病院でも宮崎大学から医師の派遣を受け、9年ぶりに眼科の外来診療が再開されたことも、交通事情の影響が遠からずあると思われます。

厚労省は医療介護総合確保推進法により、平成27年度から二次医療圏ごと地域医療構想を策定するよう進めています。各医療圏で医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を適切に進めるよう構想を練っている状況です。2025年に向けそのうねりは押し寄せてきており、交通事情による医療環境も大きく変わり、これからの医療変革に否応なしに対応せざるを得ない時期が来ています。

県北で医療の危機が取り沙汰され、輪番制度を作り、延岡市の地域医療を守る条例が作られ、ドクターヘリが運用され少しずつ前進しつつある中、また次の試練が待ち構えています。吉田会長のもと「延岡医師会員の連携・協力の推進」を目標に、二次医療圏の地域医療を行政に医師会が強力に関与し、個々の施設と協力できるように取り組んでいければと考えております。

(金井 一男)

宮崎市郡医師会

高齢化社会の進展により、医療ニーズ・介護ニーズを併せ持つお年寄りが増加する背景の中、できるだけ住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に向けての取組みが法制化された。また今年4月から「在宅医療・介護連携推進事業」は介護保険法の地域支援事業に位置づけられ、市町村が主体となり、郡市医師会などと緊密に連携しながら多職種協働により取り組むこととなった。この目的を遂行するため、宮崎県では長寿介護課に「医療介護連携推進室」、宮崎市には「医療介護連携課」が設置され、3月1日には「在宅医療・介護推進協議会」が県に設置された。日々高まる在宅医療の期待に対

応すべく、平成26年4月、宮崎市郡医師会に設立された在宅医療推進委員会は昨年1月から毎月、シリーズで在宅医療に必要なスキルアップ研修会を実施している。積極的に在宅医療を展開されている先生方はもとより、多くのかかりつけの先生方も参加され、在宅医療の裾野が着実に拡大している。本委員会は“宮崎市郡医師会オリジナル在宅医療システム”構築を目指している。

(牛谷 義秀)

都城市北諸県郡医師会

医師会病院、夜間急病センター、健康サービスセンターの3施設が移転して2か月が過ぎました。急病センター担当の自分の下には、さまざまな不備が報告されます。一方、病院の救急科が宮崎大学のご協力で増員となり、夜間23時

までの救急車を直接診てもらえるようになり、急病センターとしては負担軽減に繋がっています。それでも問題山積ですが、皆さんのご協力で一つ一つクリア出来れば、新施設を次代へ引き継げるのではないかと考えています。

(山下 兼一)

日向市東臼杵郡医師会

6 月 13 日(土)の定時総会で決算が承認されました。一般社団法人に移行して最も気になるのが、公益目的支出計画が計画通りに進んでいるのかということです。当医師会は、24 年かかって公益目的財産を公益の目的(看護学校事業)のために支出する計画をたてて移行の許可を得ています。毎年計画額と実績額を対比していますが、計画どおりには進んでいません。要因は教務職員の自己都合による退職により移行時点で想定していた職員構成が変わり、人件費支出が減ってきたためです。今後長期的展望に立って支出を見直すことも考えています。(渡邊 康久)

児 湯 医 師 会

帰郷して間もなくでしたが、昨年 6 月より理事に選任され、会長はじめ他の理事の先生に優しく？ご指導いただき、種々の会合に参加させていただいています。それ以外にも official でない例会やゴルフコンペなどにていわゆる顔の見える？連携をしています。これからは在宅等のことで、医師間だけでなく多職種の方々とも連携が必要になりますので、可能な限り様々な会に参加していきたいと考えています。

(野津手 大輔)

西都市西児湯医師会

国は、団塊の世代が 75 歳以上となり医療、介護等の需要の急増が予想される 2023 年(平成 35 年)を目途に医療、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で必要な医療を受けながら生活

できるよう医療体制の改革を進めようとしています。

西都西児湯も今後、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員等と一緒に協力し合い患者、利用者の視点に立ってサービスの提供をしていかなければいけないと思っています。

(鶴田 明土)

南 那 珂 医 師 会

現在、当地でも在宅支援事業を推進させるプロジェクトが進行しています。しかしそこには在宅におけるマンパワー(女性型ではないので差別用語との指摘もありますが)不足、本人が在宅での生活を望んでも核家族化のため、日中に本人以外コンタクトがとれないという現実があります。看護師、介護師を募集してもそこに群がる紹介業者(真偽はともかく看護師については 1 件 40 万前後の紹介料とも伝え聞いてます)。更に 2025 年前後には都市部から介護予備軍移住者(?)を地方が受け入れるような施策もあり地方にも医療、介護を受け入れる余裕はない状況なのですが(宮崎は指定されず更に南那珂は生活レベルを維持できない過疎消滅地域とのことではずれています。生活レベルを維持できないとは国もひどい言いようですね。我々は十分に生活していますが…。南那珂は在宅への取組みは活動的であり今後の更なる活動が注目されています。

(河野 秀一)

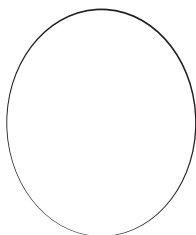
西 諸 医 師 会

当地区での在宅当番医の状況を紹介します。

1 日に 3～4 施設が当番医を担当し、年間では各施設が 4～5 回の当番医を行っています。平成 26 年度は、1 年間で 490 人の来院があり、前年度よりも 81 人減少しました。県境に位置し、鹿児島県の主要朝刊にも在宅医が掲載されるため、県外からも来院されます。(井尻 裕司)

国公立病院だより

えびの市立病院

かわち けんすけ
河内 謙介 院長

宮崎県医師会からシリーズの国公立病院便りの依頼が来ました。

施設紹介にとどまらず趣味から医師会への要望提言などご自由に、とのことでしたがさて何を書けばいいのかなーと過去の寄稿をめ

くったところ、本誌2015年3月号に掲載されていた日之影町国民健康保険病院の上田修三先生の投稿を見つけました。内容を読んでびっくりしたことは、まさにうちが抱えている困難事案にはほぼ9割がた同じだということでした。上田先生も同じ悩みをかかえておられるんだなー…と。

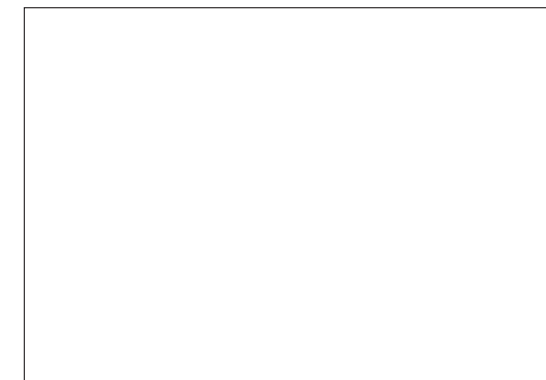
ということで今回の病院紹介は本誌3月号の病院便りの病院名と院長名、院長写真、そして人口のところを2万人弱にすぎ替えていただければ以下同文でよかせんどかいと提案してみました。がさすがに県医師会広報担当の瀬戸山さんは許してくれませんでした。もひとつ付け加えると、病院写真ですが3階建ての病院本館と正面右側の平屋のリハビリ施設でしょうか、駐車場をくの字に囲んでる風景はこれまたうちとそっくりなんです。このまま使っていただけたら…？ダメ、はいすみません。

では、本文に。

以前にも増して当院を取り巻く社会的環境ならびに医療事情は厳しさを増しつつあります。将来は悲観的で、向かい風にさらされ、まさに風前の灯の思いが強くなっています。(編；コラコラ、パクリ禁止！)

さてまじめに。

お約束の「概況」からですが、えびの市は宮崎



県、鹿児島県、熊本県の3県をまたがる県境に位置し、九州縦貫自動車道と宮崎自動車道が当市を中心に宮崎、鹿児島、熊本の三方に延びています。いわば3県の重心にあり交通の要所ともいえます。当病院は昭和26年に飯野町国民保険直営診療所として創設され昭和45年の市制施行に伴いえびの市立病院と名称を変更、昭和53年に改築工事が竣工し、平成6年にリハビリ棟新增築が行われ現在の形になっております(どこかで見たような文章…、あっ！…)。

スルーして当院の体制ですが、一般病床のみの50床で診療科は外科、内科、整形外科の3科、平成14年には最盛期で外科2人、内科3人、整形外科2人の常勤7人体制でしたが、大学医局の人手不足による引き上げにより1人減り、2人減りしていき、平成27年度現在外科が私を含め前院長の森藤秀美先生と2人、神経内科(鹿大第3内科OB)1人、整形外科(宮大ローテーション)1人、そして昨年度までは県から自治医大卒の内科の先生の派遣をいただいていたのですがこちらも引き上げとなり、とうとう常勤4人となりました。

それでも厳しい医師不足の中、県から自治医大卒の先生1名と鹿大第一内科から循環器の先生1名にそれぞれ週一回非常勤として外来診療に来ていただき、週末の日当直を自治医大の先生を含め鹿大第一内科と同第一外科及び宮大救命救急センターから合計4人の先生に応援をいただいています。おかげさまでかなり負担が減

りましたが、それでも常勤医師の日当直回数は月 7～8 回でありかなり疲弊感がただよって
ます。

このような状況なので内科外科の医師を同時に当直配備することが困難で当直時間帯では専門外の対応が不十分なために近隣の小林市立病院をはじめとする諸救急病院、及び人吉医療センターに多大なご迷惑をおかけしているところ
であります。誠に申し訳ございません。

せめてもの罪滅ぼしにそれらの救急病院で急性期を乗り切り回復期となった患者さんの逆紹介を積極的に引き受けさせていただいております。ADLリハビリを行い、当院退院後の受け入れ態勢を調整し、在宅または介護施設入所へ橋渡しの役割を担っていけるよう努力しています。まさに現在謳われている地域包括ケアそのものを実践しています。

ただ今後の方向性として在宅医療の推進が叫ばれてますが、ご多分に洩れず当地域でも独居老人や高齢者のみの世帯が非常に多く、いわゆる社会的入院も含めどうしても入院は長期となっています。平均在院日数がどうしても 24 日以内を維持できず平成 23 年に入院基本料 13 対 1 を断念し 15 対 1 に変更しました。しかし、思うように入院は増えずに医業収益の減収に拍車をかけてしまいこのまま行くと来年度には貯金が底についてしまいます。

思い起こせば 5 年前、前院長の辞任に伴い院長就任を請われた時、経営のこと事務的なことは書類、挨拶を含め事務方が全部やるからぜひ院長職を引き受けてほしいという約束だったのに、その事務長はその年にあっさり本庁へ移動となり、次長も次年度に本庁へ帰り、看護師長も変わり、残った首脳陣は病院経営の素人ばかりということになってしまいました。この 5 年間で事務長が 4 人かわり、看護師長が 3 人かわりました。

前院長が離任直前に本誌国公立病院便りに、ジェネリック、院外処方、療養型病床、介護保険関連事業、地公法全適、包括医療費、病院機

能評価認定などあえて一步退いて(もちろん計算の上)何もしなかったと総括されてましたが、その基本方針に乗っ取って私も就任以来やはり何もしてきませんでした。私の場合はただの怠慢だったのですがさすがに何かしないとちょっとまずいかなという状況になってきました。でも何からやればいいんだろう？今年医療経営診断を依頼しております。何を指摘されるか戦々恐々としております。諸悪の根源は明確な経営方針を持っていない院長そのものです、って言われそう…。

昭和 53 年竣工の当院はあちこちにぼろが出ておりそろそろ改築の時期を迎えようとしています。改築するにあたっては今後の当院のあり方を決めなくてはなりません。この原稿を書いているつい先日、政府有識者により将来の病床数削減の構想が発表されました。九州はとくに目の敵にされているみたいで宮崎県も 2025 年までに 5,000 床以上の削減が目標となっているようです。当院はこのまま一般病棟を主体として急性期病床を維持していくのか、それが可能なのか。あるいは小林市立病院と統合してサテライトの役割を担っていく態勢をとるのか、いずれにしても市民、関係医師会、行政といっしょになって考えていかねばなりません。市民が何を求めているのか(期待か妥協か)、おそらく今後 10 年たっても医師が充足するとは思えませんので高度救命救急は不可能です。かといってサテライトとなったときに救急はすべて小林市や人吉医療センターに依頼していいのか？市民が納得してくれるのでしょうか。

さあ、どうする？院長(オレ)！

<急募！>

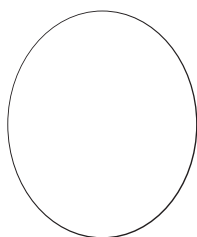
院長 1 名。地域医療に熱意を持っている方。初心者も大歓迎。いい経験になると思いますよ。悪い経験かもしれないけど。ふふふ。

最後になりましたが今後とも皆様のご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

(河内 謙介)

専門分科医会だより

(眼科医会)

しばた ひろし
柴田 博 会長

新たに始まった小・中学校の色覚検査について

日本人の先天性色覚異常は男性の5%,女性の0.2%にあると言われています。

色覚異常は進行しないし、治りません。学校で色覚検査が廃止され1年経ちました。

色覚異常者の色誤認は少なくないにも関わらず本人の自覚がないため、誤りが起きてから色覚異常に気づき希望の職種に就職できない事態になっています。その上、コンピューターの普及により色彩によるスライドや図が飛躍的に発達しました。正常者にとっては便利で美しい色分類も色覚異常者には判別不能な配色のスライドや図となるのです。色覚のバリアフリーからは程遠いものになっていると言わざを得ません。

小中学校での色覚検査の経過については、平成5年、文部省(当時)が不当な差別撤廃の観点から、進学時の調査書から色覚の項目を外し、平成13年には厚生労働省が雇用時の健康診断の色覚検査を必須項目から外しました。つまり、厚労省は根拠のないままに色覚検査の結果で採用を制限しないように企業を指導したのです。平成15年文部科学省は色覚異常者に配慮するように小中学校を指導し、色覚検査を任意実施にした結果、小中学校では色覚検査が全く実施されなくなりました。表面的な色覚のバリアフリーは推進しましたが、全く意味を成さないのが実情です。

色覚検査が小中学校の健康診断から除外されて1年経ち、色覚異常の子供2人に1人が異常に気づかず、その後、6人に1人が進路を断念しています。その中からは自分の色覚異常について「もっと早く知りたかった」との声が聞かれます。

そこで、平成26年、文科省は小中学校に児童と保護者の同意のもとに色覚検査を行うこと、教職員に色覚異常に配慮した指導を行うことを条件に学校検診に色覚検査を追加しました。

平成27年から小中学校で色覚検査が始まりましたが、全国で混乱が起きています。その原因は、全国の小中学校が一斉に新たな色覚検査表を買い求めたため検査表が入手困難になり数が不足したからです。宮崎市の小中学校60校で6冊の検査表しかない上に、1年間も色覚検査が行われなかった結果、養護教諭に経験がないのでどうしたらいいのか分からいといった戸惑いも起こっています。

今後は、眼科医による色覚異常の診断に基づく十分なカウンセリングと、教育現場での色覚異常に対する正しい知識の指導が、色覚のバリアフリーには必要不可欠になると考えられます。

{職業資格試験の色覚異常で不合格になる職種}

航空機乗務員・海技従事者・鉄道など職業運転手・警察官・自衛官・消防士など

{就職しても、業務困難な職種}

料理人(新鮮かどうかの判断困難)・デザイナー・美容師(カラーリングの判断困難)

薬剤師・一部の医師など (柴田 博)

— 各種委員会 —

公衆衛生・感染症委員会

と き 平成 27 年 6 月 8 日(月)

ところ 県医師会館

(テレビ会議：都城・延岡)

高村常任理事の司会により開催され、河野会長の挨拶後、県医師会全理事協議会において、委員長は岡山昭彦先生、副委員長は黒田嘉紀先生に決定したことが報告された。その後、出席者の自己紹介が行われた。

1. 会長諮問

河野会長から岡山委員長へ「感染症発生時の対応」について諮問され、岡山委員長の進行で議事に入った。

2. 議 事

1) 感染症等発生時における連絡体制について

高村常任理事から、集団感染症等が発生した医療機関は保健所へ届け出を行うとともに、郡市医師会や県医師会へ情報提供を行うこと。県医師会は、関係各所からの情報を基に、会員等に対し FAX ニュースやメーリングリストで周知を行い、感染症等の拡大防止に努めることが説明され、会員、郡市医師会、保健所、県健康増進課、県医師会等の相互連携体制について再確認が行われた。また、委員の連絡先を整理し、メーリングリスト等による緊急時の連絡体制について確認された。

2) 新感染症、輸入感染症発生時の対応について

県健康増進課感染症対策室から、韓国で拡大が続いている MERS(中東呼吸器症候群)

について、患者数、死者数についての情報提供と、国・県の対応について状況報告があった。現在は国内で発生していない段階のため、検疫所において流入阻止に力をいれており、もし発熱した場合には医療機関に直接かからず保健所に連絡するように啓発をしているとのことであった。各医療機関においては、万一感染が疑われる患者が受診した場合は、保健所に連絡し対応などについて指示を受けていただきたい。また、エボラ出血熱、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)の発生状況、新型インフルエンザ発生時の医療体制についても意見交換が行われた。

出席者—岡山委員長、黒田副委員長、原田・宇宿・高橋・松岡・野津手・黒木・峰松・木内・三宅・和田・伊東委員
県健康増進課—木内課長(重複)、

片平感染症対策室長、齊藤主幹
(県医) 河野会長、濱田副会長、高村常任理事、
峰松理事(重複)、久永課長、
野尻課長補佐

都道府県医師会地域医療構想(ビジョン)担当理事連絡協議会

と き 平成27年3月19日(木)

ところ 日本医師会館

挨 拶

日本医師会長 横倉義武(要旨)

“地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会”がガイドラインの案をまとめた。2025年を1つの節目として残すところ後10年、地域でどのような医療を提供していくか、その役割について議論を重ねていると思う。日本医師会としても、将来の医療提供体制は全国画一的な方向を目指すのではなく、住民が安心して医療を受けられるよう、地域の実情に応じて構築されるべきと、この3年間訴え続けてきた。今後、各医療機関や都道府県医師会、郡市医師会の自主的な取組みを支えていかなければならないと考えている。地域医療構想が真に地域住民にとって良いものになるかどうかは、都道府県の医療審議会や地域医療構想調整会議への対応をはじめ、各都道府県医師会、郡市医師会の取組み如何にかかっている。本日は厚労省の担当者にも参加いただいているので、行政と医師会との連携協調をお願いし挨拶に代えさせていただく。地域医療構想について

1) 地域医療構想策定ガイドライン等の説明

厚生労働省医政局

地域医療計画課長 北波 孝(要旨)

地域医療構想策定ガイドライン(案)は、「1. 地域医療構想の策定」、「2. 地域医療構想策定後の取組」、「3. 病床機能報告制度の公表の仕方」の3つの柱から構成されている。その中には、ガイドラインの位置づけとして「都道

府県が法令の範囲内で本ガイドラインを参考に、地域の実情に応じた地域医療構想の策定が進むよう、周知を図られたい」、「都道府県においては、医師会等の医療関係者や、保険者、市町村だけではなく、住民との十分な連携のもと、地域医療構想を策定するとともに、おおむね10年後である平成37(2025)年に向けて、拙速に陥ることなく確実に、将来のあるべき医療提供体制の実現に向け、医療機関の自主的な取組み等を促す」、等が明記されている。あくまでも都道府県が地域の実情に応じた地域医療構想を策定することが基本である。

その他、「2025年の医療需要と各医療機能の必要量の推計方法(案)」として、病床の機能区分(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)ごとに、医療需要(1日当たりの入院患者延べ数)を算出し、それを病床稼働率で割り戻して、病床の必要量を推計する方法や病床の機能別分類の境界点の考え方等もガイドラインに示されている。この推計方法が、直ちに個別の医療機関における機能ごとの病床数や機能を選択する基準になるものではない。

地域医療構想は、決して強制的なものではなく、医療機関の自主的な取組みや相互の協議により実現に向け進んでいくという主旨なのでご協力をお願いしたい。

2) 日本医師会の方針等の説明

日本医師会副会長 中川俊男(要旨)

ガイドラインについては、あくまでも参考であることを確認しながら議論を進め、激変のないように緩やかに収れんする仕組みを追求した。過剰な病床の削減を目指しているものではなく、地域において不足する機能の解消を目指している。たとえば、急性期病棟は全て急性期の患者といった、機能と患者が完全に一致することを想定していない。また、地域医療構想の基本は、医療機関の自主的な取組みを優先し支援することであり、診療報酬等によって誘導すべきものではない。

都道府県知事の対応について、地域医療構想は、医療機関の自主的な取組みによって実現していくもので都道府県に病床削減などの権限はない。基本は地域医療構想調整会議で協議が整うことが原則である。急性期機能が過剰な地域であっても、急性期機能をもつ病床が削減されるわけではない。急性期機能が過剰な地域で、新たに急性期機能に転換しようとする場合も、転換の理由が十分であれば転換できる。

医療法では「医療計画の達成の推進のため特に必要がある場合において、公的医療機関等以外の医療機関が正当な理由がなく、許可を受けた病床に係る業務を行っていないときは、当該医療機関の開設者又は管理者に対し、病床数の削減の措置をとるべきことを要請することができるものとする」となっている。地域医療構想策定ガイドラインに、「病棟単位で病床が稼働していない」ことを指すと明記された。また、厚生労働省から、稼働していないとみなす期間はおおよそ「1年」という見解が示されている。

地域医療構想は医療計画の一部である。社会保障制度改革国民会議は、「次期医療計画の

策定期である2018(平成30)年度を待たず速やかに策定し、直ちに実行に移していくことが望ましい」としているが、地域医療構想策定ガイドラインでは「拙速に陥ることなく確実に、将来のあるべき医療提供体制の実現に向け、医療機関の自主的な取組等を促す」とされているように、文字通り拙速に陥ってはならない。慎重な議論をお願いしたい。

全体協議

○神奈川県医師会の質問

医療計画の基準病床制度や病床機能報告制度はこのまま将来も続くのか。地域医療構想に基づき病床の機能を変更する場合は、事業主負担は発生するのか。また病床の増設・新設等を考えない場合は、いついかなる理由・状況に対しても既存病床は担保されると考えてよいのか。(厚労省)地域医療構想における病床数の必要量は将来の目標であり、基準病床は、現在の病床整備の基準ということで考え方がまったく異なる。基準病床が区分されるかは、今後検討されていくと考える。また地域医療介護総合確保基金の活用は、基本的に事業主の資産形成や収入につながるものであれば事業主負担を求められる。今回の地域医療構想は、医療機関の自主的な改修等に合わせ緩やかに変更されるべきものなので、予定がないのに都道府県が指導・勧告することはない。また医療審議会を経ることになるので恣意的な運用はできない。

○三重県医師会の質問

医政局の考えで医療法を基準に制度設計していく中で、医療資源投入量といった保険局の診療報酬的な考えが入ってくることは筋が通らない。小出しにして診療報酬改定の時に誘導しようとしているのではないか。また病床機能報告の現時点と6年後の機能区分について、ほとんど変化がない。これは厚労省の医療行政に対して医療機関が得心していないということである。

医療機関に安心感を与えてくれれば、後は自分たちで考える。医療機関の良心を信じていただきたい。

(厚労省)医療資源投入量をベースに患者さんの需要を想定した。診療報酬の点数で評価したわけではないことをご理解いただきたい。診療報酬の議論は別物と考えている。本来であれば報告制度によって定量的基準を定める方が良いのかもしれないが、データの少ない現在では、c 1 (3,000点)、c 2 (600点)、c 3 (225点)といった定性的な基準とレセプトデータ等を参考にした。

(中川日医副会長)今回の地域医療構想は、医療機関の自主的な取組みを促すものなので、診療報酬改定の道具にするようなことは決していないよう充分注意していきたい。

○京都府医師会の質問

今回の病床機能区分「高度急性期、急性期、回復期、慢性期」は妥当と考えているのか。また最終的な受け皿となる在宅医療等から始めるべきではないか

(厚労省)高齢化により医療需要は増加する。受療率によって地域差を設けているのではなく、人口の変動により受療率を測っているとお考えいただきたい。機能に応じて適切な医療を選ぶということを国民の責務に入れている。今スタートしたばかりの制度なので今後の取組みによって学ばせていただきたい。在宅の考え方は私共も抽象的すぎると考えているが現時点では仕方なかった。今後、行き場のない方が出ないような指標にしていくことは使命と考えている。

(中川日医副会長)日医としてもこの問題を継続的に検討していきたい。療養病床が多い地域、在宅医療を積極的に行っている等、地域によってさまざまである。地域の特殊な事情を踏まえ地域医療構想を策定して良いことを確認している。また、地域医療構想で必要病床数を出しても強制的に調整されることはない。既存病床は担保される。ガイドラインはあくまで参考である。

総 括

日本医師会副会長 中川俊男

皆さまにはご心配をおかけしていると思うが、極力、激変しない、地域医療や患者さんに迷惑のかからない仕組みにしたつもりである。これからの緩やかに改革、収れんしていく形を追求したい。一方で政府は2020年のプライマリーバランス黒字化に向けて、公費で9兆円の削減を社会保障費で行う考えを持っている。地域医療構想とは別の診療報酬改定の場面で、これからもっと厳しい局面が出てくるが、日本医師会として、引き続き必要な財源確保に向け取組み、日本の医療を守っていきたい。

出席者(TV 会議)一

立元祐保・池井義彦常任理事、

濱砂重仁委員長、鮫島貴委員

(事務局)竹崎次長、鳥井元課長補佐

都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

と き 平成27年5月13日(水)

ところ 日本医師会館

会長挨拶

横倉日医会長

横倉日医会長は、就任より目標にしていた地域医療を支える、将来の医療を考える、医師会組織力の強化という3つの方針を述べた。

特に医師会組織力の強化を取り上げ、

- ・臨床研修医の日医会費無料化を実施すること
- ・非会員を対象とした無料サービス提供を前向きに検討すること
- ・地域医師会を中心とした勤務医の参画と活躍の場を整備推進すること

以上の3つを報告された。

報 告

1. 全国医師会勤務医部会連絡協議会について

1) 平成26年度報告

神奈川県医師会副会長 澤井 博司

平成26年10月25日に横浜市で開催された協議会について以下の通り報告された。

今回の協議会が開催された時点では、まだ総合診療専門医の具体的な内容は検討中であった。そのため、現状の総合診療医とこれからの総合診療専門医について、明確な違いを協議することができなかった。しかし平成27年4月21日に日本専門医機構より総合診療専門医カリキュラム案が公表され、2017年度から導入予定である。

2) 平成27年度担当医師会

秋田県医師会副会長 坂本 哲也

今回は、平成27年10月24日(土)に秋田キャッスルホテル(秋田市)において、秋田県医師会の担当で開催する。メインテーマを「日本

の国情から見た理想的な勤務医とその将来像～地域医療充実へのロードマップ～」として、関係役員・職員一同で準備を進めているので、是非ご参加いただきたい。

2. 医療事故調査制度について

松原日医副会長

10月から始まる事故調査制度の内容について以下の通り報告された。

具体的な流れとしては、医療に起因した予期せぬ死亡または死産があった場合、その発生を厚生労働大臣が指定する第三者機関の医療事故調査・支援センターへ報告をする。そして、都道府県医師会を中心とした支援団体の協力を得ながら、院内で事故について調査を行い、その結果を遺族に説明する。そこで遺族が納得をした場合は終息という形になるが、納得しない場合、遺族は第三者機関に調査依頼をすることができる。そのため適切な調査の目的・結果について、遺族が希望する方法を用いた丁寧な説明が求められる。

刑法第35条で「法令又は正当な業務における行為は罰せられない」と定められているが、裁判官や弁護士が罰せられることがないのに対し、医師は法律に基づいた正当業務をしているにもかかわらず罰せられてしまう可能性がある。

また、厚労省は医療事故の定義として「提供した医療が起因又は起因すると疑われる死亡又は死産で、管理者が予期していなかったもの」と厚労省令で定めるとしている。

具体的な詳細については今後の取組みの中で整理していくが必要になる。

協 議

テーマ「地域医師会を中心とした勤務医の参画と活躍の場の整備」

都道府県医師会からの勤務医活動報告

①北海道地区

北海道医師会常任理事 岡部 實裕

北海道内人口 10 万人あたりの医師数の現状が、医療圏の多さに対して低い傾向にある旨の報告がされた。北海道医師会は、勤務医の医師会活動への積極的参加を促進するため、昭和 63 年度から毎年 2 地区を対象として、当会役員が現地に赴き、勤務医の方々と地域医療に関する課題や、勤務医を取り巻く環境等について意見交換を行っていることのであった。

②東北地区

岩手県医師会常任理事 望月 泉

会活動における現状と今後について報告があった。医療事故調査制度ではこれまで役員、会員への周知活動が主であったが、支援団体として本事業にどのように参画するか検討を進めている。また医療勤務環境改善センターでは、県への設置に伴い勤務医の委員を参画させる予定である。

③東京地区

東京都医師会理事 友安 茂

都医師会では勤務医部会がなく、勤務医と開業医を分けずに包含して討議され、結果は地区医師会を通して勤務医にも周知していたが、勤務医部会の設置について検討する旨が報告された。

④関東甲信越地区

埼玉県医師会副会長 金沢 和俊

関東甲信越ブロック医師会の現状と勤務医部会との関係、ならびに今後の計画が

以下の通り報告された。平成 15 年に設立された勤務医部会の勤務医加入率は 59% であり、今年の 6 月 10 日に「地域医療構想の展望」をテーマに、中川日医副会長、東京大学の辻先生を講師として招き、勤務医部会総会を兼ねたパネルディスカッションを予定している。

また、日医の取組みに合わせて 6 月の代議員会で臨床研修医の会費無料化を承認予定である。さらに郡市医師会にも会費、入会金無料化、年会費低価格化の実施を合わせて依頼し、会員の増加に努めている。

⑤中部地区

富山県医師会副会長 泉 良平

勤務医が医師会で活動するためには、診療報酬の課題、医療事故調査制度への不安などの具体的なテーマについて、地域医師会の中に勤務医の意見を集約する場を設けることが必要であると提案された。

中部医師会連合会では、本年の 8 月と 10 月に「勤務医特別委員会」を開催し、勤務医に係る諸問題について検討しており、中部医連総会にて報告を予定している。

⑥近畿地区

大阪府医師会理事 下村 嘉一

近畿医師連合で予定されている会合の説明と、大阪府医師会組織の構成内容、医師会への加入率等が報告された。

その後、勤務医部会のブロックに分けた組織運営や歴史、これまでの各種会合の報告がなされた。

近畿ブロックでは近畿医師会連合定時委員総会での分科会や担当理事連絡協議会において、議論や意見交換を行う機会を設けており、勤務医部会として活発な活動を行っている。

⑦中国四国地区

岡山県医師会副会長 清水 信義
中国四国ブロック医師会勤務医部会・委員会の現状と、勤務医部会・委員会を設置している各県の主な活動内容の報告がされた。

岡山県医師会では、医療制度に対する理解を深めてもらう目的で研修医登録会員制度を実施しており、年々その登録数は増加している。また、研修医登録制度から県医師会への入会も推奨しているが、昨年度は3名と少ない現状になっている。

⑧九州地区

宮崎県医師会常任理事 金丸 吉昌
研修医の段階から勤務医会員を確保するため、大学との連携、年数回の学術講演会を実施する等、九州各県が様々な活動を行っていることの報告がなされた。

郡市医師会で地域包括ケアへの取り組みや、日々の活動を行うことによって、勤務医師の勤務環境、男女共同参画等に対して具体的な課題が見えてくるのではないだろうか。そこに踏み込めば、医師会への入会を推し進める大きな機会になるのではないかと述べた。

出席者一金丸常任理事、財部主事

宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00 土曜日 10：00～18：00

休館日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14～15日、特別整理期間（3日間）

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地

TEL 0985-22-5118 E-mail: tosho@miyazakimedor.jp

都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会

と き 平成 27 年 4 月 24 日(金)

ところ 日本医師会館

挨拶

横倉日医会長

平成 25 年 3 月に前回の連絡協議会を開催して以来、看護に関する議論は看護師の特定行為が中心であった。担当の釜谷常任理事が特定行為の様々な検討会で安全性と看護師にできることはお願いしようという両面から議論を進めてきた。法改正や条例の変更等が順調に進んでいるので、それぞれ対応をお願いしたい。

一方で、地域最大の問題は看護職員の確保である。2025 年に向けてどのように地域医療を作っていくか、その際に看護人材の養成は非常に大きな問題になる。各都府県医師会を中心に大変なご尽力と、看護学校運営のために人材や財源を負担していただいているが、そういう負担の中でも養成を続けていくことが大切である。

様々な問題の中で、看護大学の新設が相次いでおり、特に実習施設の確保にご苦労いただいている。何とか実習できるように厚労省にもご尽力いただきたい。

(1)保健師助産師看護師法等の改正、看護師等養成所の指定権限等の移譲、母性・小児看護実習調査結果等について

厚生労働省医政局看護課長 岩澤和子
離職時等の届出制度の創設について

現在 15 万人の看護職員が働き、資格を持って働いていない潜在看護職員が約 7 万人いる。復職支援強化にあたり、離職をする際に届出し、効果的な復職支援を行う仕組みを作るため、人材確保法を改正し、届出制度を創設した。今年の 10 月 1 日から努力規定ではあるが、

離職をした場合や看護業務に従事しなくなった場合、学校卒業後すぐに働かない場合に届出をお願いする。

また、ナースセンターは都道府県の指定を受けて各県の看護協会が事業を行うため、そちらの強化も図っていく予定である。効果的にナースセンター運営が行われるよう各都道府県医師会や病院団体など地域の関係者の方々と共に運営を協議いただきたい。

准看護師については、診療所、介護施設等の就業者が多く地域包括ケアシステムを支えていく重要な担い手になっている。一方、看護職全体としては、2025 年の社会保障・税一体改革推進を視野に入れた試算では約 196～206 万人が必要とされる。これまでの実績を踏まえても約 3～13 万人の不足が予想されるため、年間 3 万人以上の増加が必要である。そのためには届出制度での復職支援強化、医療法改正による勤務環境改善により定着推進・離職防止を行うことが重要である。

特定行為研修制度の創設について

2025 年に向け在宅医療等の推進を図るため、医師または歯科医師の判断を待たず、手順書により一定の診療補助を行う看護師を養成し確保する狙いがある。手順書には 6 点の事項を記載しなければならず、行為ごとに医師、看護師等で相談し、手順書の具体的な内容を決める必要がある。就業中の看護師が受講することを想定しており、印刷教材やメディアを利用した授業を実施していただきたい。指

定研修機関以外の指定研修協力機関で一部の講義、演習または実習を受講することも可能であり、体制が整えば自身が勤める医療機関でも受講可能である。

養成施設の指定権限の移譲について

地域分権推進の一環により、これまで厚生労働大臣が指定するとしていたところを都道府県知事に改正し、自治事務として移譲する。指定申請・運営については、「指定申請に関する指導ガイドライン」と「運営に関する指導ガイドライン」を出した。これを参考に県では養成所の相談、必要な助言等を行っていただく。母性看護学、小児看護学及び母子看護実習に関する調査について

実習施設の確保が問題となっている「母性看護学、小児看護学及び母子看護実習」を充実させるためには、少子高齢化や医療提供体制等の変化を踏まえ、時代のニーズに合った臨地実習の在り方を検討する必要がある。今後の臨地実習の在り方を検討する基礎資料として調査を実施した。調査対象は厚生労働省指定の看護師養成所3年課程、2年課程、准看護師養成所である。実習施設の利用状況のうち、小児看護実習は病院87.8%、保育所82.6%で、母性看護実習は病院の病棟98.3%、外来で49.1%となっている。実習施設確保の困難の有無では、小児看護学実習、母性看護学実習共に約6割が困難であると回答している。理由として「他の学校養成所と実習先の病院が重複し、競合」等が挙げられ、実習施設確保が困難な場合の対応策、工夫として実習施設・時間の調整、教育内容の工夫などがある。

(2)看護職員を巡る最近の動向について

釜范日医常任理事

看護師2年課程の通信制について

国家戦略特区の規制改革事項に看護師2年課程通信制の入学要件の緩和がある。現在は

准看護師の免許を得た後10年の業務経験が必要であるが、これを見直そうという動きである。今後の検討として、通信制の入学に必要な業務経験を短縮した場合、全日制・定時制への影響が考えられるため、どのように制御するかが論点となる。

地域医療介護総合確保基金について

平成27年度の医療分904億円が確保されている。平成26年度都道府県計画の看護師等養成所に関する事業は、国庫補助から移行した事業が多くを占めるが、施設整備等にも予算が充てられている。国庫補助時代には准看護師養成所の施設整備には予算が回ってこなかったが、今後は基金で力を入れていく。権限移譲により都道府県行政と医師会が密に連携し看護師養成を行うことが重要である。

文科省の委託事業

「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」の一つとして「診療所・中小病院で働く医療者の『多職種連携力』を高める教育プログラム開発」事業を受託した。今年度は医師会、訪問看護ステーションに各地域の各地の多職種連携に関する現状を調査し、先駆的に取り組んでいる地域・施設を訪問し、報告書にまとめた。次年度は地域連携室や訪問看護師が医師に働きかける時のテンプレートの作成を考えている。

看護師養成所に関する諸問題

4月7日の参議院厚生労働委員会では、羽生田議員から看護学校の実習施設問題について取り上げがあった。看護大学等の新設により既存の看護学校や准看護学校の実習施設に影響を与えないようにしてほしい。実習施設の要件緩和についても答弁があった。

(3)放送大学における看護師2年課程(通信制)の対応について

放送大学副学長 小寺山亘

放送大学のシステムについて

全国で 8.7 万人が在籍しており，その中で，看護師等は 14.9%の方が学んでいる。看護職の方の入学目的は，卒業して学士取得を目指したキャリアアップが主になる。この他，放送大学を活用して看護師国家試験の受験資格を得る方法等についての説明があった。

(4) 人間総合科学大学看護教員養成コース(通信制)について

同 コース 教育担当者講師 佐藤弘子
平成 24 年度より，看護教員養成コース内の「看護教員養成プログラム」は通信制の専任教員養成講習会として厚生労働省に認定された。取得できる資格は，看護師養成所の専任教員，保健師養成所の専任教員である。この他，e-ラーニングシステム等についての説明があった。

(5) 地域医療介護総合確保基金に関する事例報告

広島県医師会副会長 檜谷義美

広島県では地域保健対策協議会を数十年にわたり継続しており，大学，行政，広島市，県医師会で様々な協議をしている。新たな財政支援制度に係る都道府県計画では，計画額精査のため，整理基準を点数制で設け，規定の計算方法により事業の点数を算出し，最終的に 26 億 4 千万円の決定を受けた。看護職員等の確保，看護教員の養成，陳旧化しつつある学校設備に予算を多くつけ，平成 27 年度も看護人材の養成を中心として予算請求を考えている。

本県でも看護大学の増加により実習施設の確保が問題となっている。医師会立看護学校の地域定着率が非常に高いので，これからも

維持したい。平成 26 年度から医師会立看護学校に特化した共同利用施設委員会を開催した。各校が抱える問題を協議し，解決に向けて県行政と連携していきたい。

鳥取県医師会副会長 清水正人

第七次看護職員需給見通しは，需要 8,832 人，供給 8,594 人で 238 人の不足となる。これに伴い新たな看護大学，看護学校の設立が議論されている。また「看護師養成の抜本的拡充に向けての検討会」を立ち上げ，実習先の確保・実習教育環境の拡充に努め，行政環境整備への支援や実習指導者の育成についても検討することとした。

看護職員の確保・資質向上，環境整備の改善に 1.1 億円を充て，看護教育教材整備事業，看護師等養成所施設整備事業を行い，施設・設備整備に拡充した内容となった。これも県医師会・県看護協会・県行政との関係が円滑であることが重要な要素である。

(6) 協議：看護師等養成所の運営に関する諸問題について

各医師会より事前に提出された准看護師制度，実習施設関係，カリキュラム全体，看護教員関係，補助金等に関する「都道府県医師会からの質問・意見・要望」と「厚生労働省への要望事項」について質疑応答があり，金范日医常任理事，厚生省の岩澤看護課長から回答があった。

出席者(テレビ会議)ー

宮崎看護専門学校中村誠一事務長，
日向看護高等専修学校磯貝かよ子教務主任，
立元常任理事，牧野課長，瀬戸山主事

九州医師会連合会第346回常任委員会

と き 平成27年5月30日(土)

ところ 大分オアシスタワーホテル

1. 開 会

2. 挨 拶

九州医師会連合会長

近藤稔大分県医師会長

3. 報 告

- 1) 平成27年度九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同協議会について
(大分)

平成27年6月2日(金)17:00~18:30

大分市トキハ会館で開催される。

協議事項1:地域医療構想の策定について(沖縄)

協議事項2:県境の地域医療構想区域における地域医療構想調整会議の合同会議のあり方について(鹿児島)

- 2) 九州ブロック日医代議員連絡会議懇親会について(大分)

平成27年6月27日(土)19:00

第一ホテル東京で開催される。

4. 協 議

- 1) 第135回日本医師会定例代議員会及び九州ブロック日医代議員連絡会議について(大分)

平成27年6月28日(日)日本医師会館

○代議員会代表質問

馬場 蕙介代議員(長崎)

・院内処方、院外処方の診療報酬の適正化について

○代議員会一般質問

鹿島 直子代議員(鹿児島)

・新専門医制度に関する検討委員会の進捗

状況について

徳永 剛代議員(佐賀)

・健康寿命の延伸に対する日医の具体的な取り組みについて

上記の代表質問1題、個人質問2題に決定された。

- 2) 九州医師会連合会第347回常任委員会(7月11日(土)長崎市)の開催について(長崎)

- 3) 九州医師会連合会第348回常任委員会(8月1日(土)長崎市)の開催について(長崎)

- 4) 九州医師会連合会第349回常任委員会並びに第109回定例委員総会(8月22日(土)長崎市)の開催について(長崎)

- 5) 九州医師会連合会第350回常任委員会並びに第1回各種協議会(10月3日(土)長崎市)の開催について(長崎)

2)~5)の開催について承認された。

- 6) 医療事故調査制度への対応について(大分)

鹿児島県医師会からの情報提供及び日本医師会からの「医療事故調査制度に関するシンポジウム」のブロック開催要請に基づいて協議され、平成27年7月26日(日)(13:00~16:00)に日本医師会と九州医師会連合会の共催(長崎県医師会担当)で実施する「医療事故調査制度に関するシンポジウム」(場所:福岡県医師会館)への参加要請と情報交換を進めていくことが了承された。

- 7) 第13回福岡県医師会「卒後臨床研修指導医ワークショップ」開催に関する周知依頼について(福岡)

福岡県医師会主催で平成 27 年 7 月 3 日(金)～
8 月 1 日(土)に開催されることの周知依頼が
あり了承された。

8) 九州地方社会保険医療協議会委員の推薦
について(福岡)

九州厚生局企画調整課から次期委員就任
依頼が 6 月末までにあるので佐賀県、宮崎
県医師会への対応依頼があった。

9) ネパール大地震被害救援活動等への支援
について(大分)

福岡県医師会は既に、40 万円を日本医師
会に送金しているが、他の九州各県医師会
は 30 万円とし、各都市医師会、会員に支援
の呼びかけを行うこととされた。

5. その他

1) 第 59 回九州ブロック学校保健・学校医大
会並びに平成 27 年度九州学校検診協議会年
次大会の開催について(長崎)

平成 27 年 8 月 1 日(土)～2 日(日)ホテルニュー
長崎で開催される。

2) 九州医師会連合会からの慶祝について
(大分)

平成 27 年春の叙勲受章者への祝電対応
報告

○旭日大綬章

元日本医師会長 唐澤 祥人先生

○旭日小綬章

前宮崎県医師会長 稲倉 正孝先生

出席者一河野会長、大重事務局長

女性医師メーリングリストのご案内

仕事や育児のちょっとした悩み相談やお役立ち情報の提供など、女性医師同士で気軽に情
報交換を行いませんか。女性医師であればどなたでも参加できます。医師会の会員・非会員、
現在の仕事の有無などは問いません。

《お申し込み》

E-mail: wdr-admin@niyazaki.med.or.jp

FAX: 0985-27-6550

※「女性医師メーリングリスト申込書」は、宮崎県医師
会ホームページのDoctors Pageからダウンロードで
きます。

《お問い合わせ》

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

第1回各郡市医師会長協議会

と き 平成27年5月26日(火)

ところ 宮観ホテル

立元常任理事の司会進行により定刻に開会した。諸行事が立て込んでいることから、県医師会長挨拶を省略し、早速、報告及び協議に入った。

報告及び協議

1) 5/19(日医)都道府県医師会長協議会について

河野会長から、各都道府県医師会から出された7題及び日本医師会が提出した5つの案件について、資料を用い説明が行われた。

①製薬会社からの「謝金」と医師の職業倫理に関して(岡山県)

②地域医療構想による病床再編、医療費適正化計画の見直しの可能性について(山口県)

③地域医療構想策定ガイドライン(兵庫県)

④厚生局が実施する指導における諸問題(鳥取県)

⑤矯正施設の医師不在に関して(秋田県)

⑥後発医薬品の質の担保について(東京都)

⑦市販薬の店頭販売拡大と副作用に対する日医の考え方について(鹿児島県)

⑧研修医会費減免(無料化)の実施について(日医)

⑨医師資格証の普及について(日医)

⑩事故調査制度における支援団体の申請について(日医)

⑪医療事故調査制度に伴う院内調査費用保険の創設について(日医)

⑫医師主導による医療機器の開発・事業化支援について(日医)

2) 臨床研修医の会費無料化(県医師会会費賦課徴収規程一部変更案)について

立元常任理事から、日医が医師会組織強化検討委員会の提言を受け臨床研修医の会費を無料化することから、県医師会でも歩調を合わせ「県医師会会費賦課徴収規程」の免除規定に“その他特別の事由”を加えることで対応し、6月の定例代議員会に変更案を上程する旨の提案が行われ承認された。また、富田副会長から、臨床研修医の加入促進については、医師確保対策にも関係することから、各郡市医師会でも同様の対応を行っていただきたいとの要望が行われた。

3) 地域医療構想の策定スケジュールについて

池井常任理事から、平成28年3月に策定される地域医療構想について、県が予定しているスケジュールの説明が行われた。また、県に設置される“地域医療構想策定委員会”の委員に、県医師会から富田副会長と池井常任理事が参画することが報告され、二次医療圏毎に設置される予定の“地域医療構想調整会議”のメンバーに各郡市医師会から積極的に参加して中心的な役割を担っていただきたいとの要望が行われた。

4) 平成27年度地域医療介護総合確保基金について

池井常任理事から、各郡市医師会及び専門分科医会に照会する等して、県に提案を行っていた今年度の総合確保基金の新規事業について、県福祉保健部医療薬務課内で行われて

いる現時点の検討状況の報告が行われた。

(県医師会)

出席者一

(各郡市医師会)

川名・飯田・吉田・渡邊・永友・岩見・
島田・高崎会長、植松昌俊先生、
東野哲也先生

河野会長，富田・濱田副会長，立元・吉田・
小牧・荒木・池井・牛谷・金丸・佐々木・
高村常任理事，上田・峰松・川野・佐藤・
佐々木・岩村・鮫島・糸数・内村理事

(事務局)

大重事務局長，山内参事，竹崎次長，久永・
松本・牧野課長，小川医協事務長，
杉田国保事務長心得

宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ

宮崎県医師会では，県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館 1 階に臨時的無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は，事前の予約が必要となりますので，ご希望の方は開催日の 2 週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

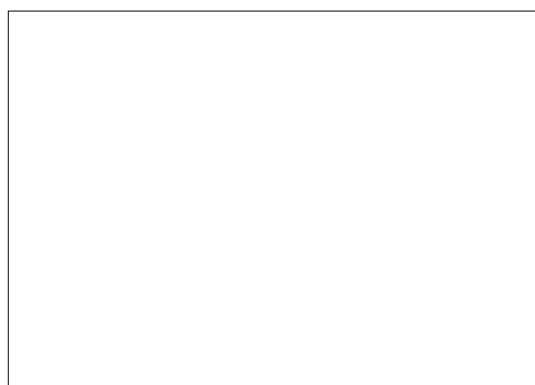
FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

宮崎県医師会医学会役員会

と き 平成27年6月1日(月)

ところ 県医師会館



上田理事より開会，河野学会長の挨拶に続き，報告，協議が行われた。

報 告

平成26年度宮崎県医師会医学会について

平成26年9月6日に「遺伝子診断について」「輸入感染症について」をテーマとし開催した。「遺伝カウンセリングはなぜ必要か」と題し，宮崎大学医学部附属病院産婦人科病院教授の山口昌俊

先生に，「海外旅行者の発熱」と題し，国立国際医療研究センター国際感染症対策室医長の加藤康幸先生にご講演いただき，出席者は92名であった。

協 議

平成27年度宮崎県医師会医学会の開催について

9月5日(土)に県医師会館で開催する医学会について，テーマ等の検討を行った。多数の案の中から，医療事故調査制度について，肝炎の新しい治療薬についてテーマを絞り，講師を選定することになった。

出席者一河野学会長，濱田・中山副学会長，
弘野・四元・北村・田尻・出水・坪井・
杜若・蓑田・上田幹事，鯨島理事
(事務局)牧野課長，高山主事

お知らせ

クールビズについて

県医師会では，地球温暖化防止に向け，平成27年5月1日より平成27年10月31日までの間，県医師会館の冷房設定温度を上げ，常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組めます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため，ご理解とご協力をお願いいたします。

第 26 回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

と き 平成 27 年 4 月 28 日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

本年度医師国家試験に合格し、本県で初めて臨床研修を行う医師 62 名(医科 59 名, 歯科 3 名)を対象として保険診療等説明会並びに祝賀会を開催した。

説明会は、立元常任理事の司会により開会し、濱田副会長から「保険診療」、小牧常任理事から「医事紛争」、佐々木常任理事から「県医師会への入会案内」、金丸常任理事から「宮崎県臨床研修運営協議会」、立元常任理事から「医師協同組合賛助会員」について、それぞれ説明を行った。

祝賀会は、県から知事・福祉保健部長、宮崎大学から菅沼学長・丸山医学部長・吉原病院長・教授・医局長・卒後臨床研修センター関係各位及び県内の基幹型・協力型臨床研修病院の関係各位並びに本会役員が出席した。

立元常任理事の司会により開会。河野会長が主催者挨拶を行い、河野知事、菅沼学長、御両名から研修医への激励の言葉を頂戴した。次い

で本年度の新研修医を代表して、田村充先生がお礼の言葉を述べた。続いて菊池県立宮崎病院長が乾杯の発声。宴の席上では、新研修医の自己紹介が行われ盛会の裡に終了した。

なお、本会から各研修医には記念の印鑑を贈呈した。

平成 27 年度新研修医

◆宮崎大学医学部
荒井智子
市成直樹
井手貴一
伊藤歌織
岩崎あや香
植野堯行
大栗伸良
大島尚樹
何誠章
甲斐貴士
川田千紘
川野猛嗣
河野智樹
黒興貴俊

佐藤新財
藤原新財
森屋瀧田
原新財
中井中
口田口
村森高
浦澤武
文実琴愛
明成長子
成子菜穂
長也梨
子太郎
明充予
登太
平美
幹雄

◆泉島由樹夫
鮫井丈仁
福井宮崎
瀬戸口健
樺山寛
久保進
是石咲
上平智
佐土原啓
東慈乃
小村杏
清脇ゆ
竹茂か
下岡太
◆県立延岡
与那嶺真一

大山杉
◆県立日南
伊豆本
伊藤藤
北堀口
谷沼
長野
奥本
塚宮崎
◆木脇
松尾
藤元
永田
藤田
ゆかり
直慎太郎
内本南
佳早
貴史
昂也
竣介
佑智
智大
協病
拓道
裕樹
合病
靖院
貢久
司

日医インターネットニュースから

■准看養成所、平成以降の新設わずか2校 — 自民・議連で危機感も —

自民党の「地域を支える看護職員養成促進議員連盟」（会長＝川崎二郎元厚生労働相）は6月3日、准看護師養成所について議論した。准看養成所の新設は、平成元年の1989年以降は2校にとどまり、20年近く新設がないことが厚生労働省から示された。さらに日本医師会の釜范敏常任理事へのヒアリングを通じて、准看養成の環境が失われていることへの危機感が浮き彫りになった。

厚労省は看護師・准看護師養成所について、1989～2014年の新設・閉校数の資料を提示。それによると、89年以降、准看養成所の新設は2校、その一方で閉校は23校となっている。また准看がキャリアアップするための看護師養成所（2年課程）についても、新設11校に対して閉校29校となっており、減少傾向にあることが示された。

釜范常任理事は、准看養成所の卒業生は県内就業率が9割となっており、多様な人材を受け入れるためにも准看学校が必要になると説明。母子看護をはじめとする実習施設の確保が課題となっているとし、実習施設の拡大と併せ、DVDやシミュレーターを活用する実習の在り方などについて考え方を整理する必要があると指摘した。

質疑では、同党文部科学部会の富岡勉部会長が「予想に反して准看護師を減らし過ぎた」と意見を述べた。富岡氏は、より高度な看護の知識を学ぶ必要性や将来的な医療需要の減少も見据え「准看制度は廃止の方向でよい」との認識を示す一方、「（准看の減少が）急峻過ぎた。ニーズが増えてきたことは無視できない」と述べ、今後は医療需要のピークに向けて外国人を准看養成所で受け入れ、国内の需要ピークが過ぎた後は本国に指導者として戻ってもらうなどの対応も必要になると指摘した。これに対し、川崎会長は「外国人の長期滞在については、さまざまな面を考えないといけない」と述べ、慎重な対応を求める姿勢を示した。一方で「当面、看護職を増やす方策を考えなくてはならない」とも述べ、50～60代の看護師の割合や最近の退職傾向などを考慮して議論を進める必要性を踏まえ、厚労省に統

計データを提出するよう求めた。

（平成27年6月9日）

■かかりつけ医用、認知症マニュアル作成 — 日医 —

鈴木邦彦常任理事は6月3日の定例記者会見で、日常診療において認知症患者と接する機会の多いかかりつけ医に認知症への理解を深めてもらうことを目的に、『かかりつけ医のための認知症マニュアル』を作成したことを報告した。

鈴木常任理事は、「認知症の対応は、早期診断・早期対応が重要であると言われ、かかりつけ医の役割がますます重要になっている。平成26年度の診療報酬改定で新設された地域包括診療料等の施設基準の研修の項目に『認知症』が必須となり、専門医や認知症に対応した介護サービス等との連携を円滑に行うことも求められている」と作成に至った背景を説明するとともに、かかりつけ医にとって分かりやすい内容となっていることを強調。

本冊子は、＜1＞はじめに＜2＞認知症予防＜3＞認知症の診断＜4＞認知症の治療と症状への対応＜5＞認知症の人と家族を支えるケア＜6＞かかりつけ医が知っておくべき医療保険・介護保険＜7＞あとがき—からなり、予防のためのリスク・疾病管理、診察やケアのポイント、専門医療機関に紹介する際の診療情報提供書の具体的記載方法などが紹介されている。

鈴木常任理事は、「これからのわが国では、認知症と診断されても、これまで通りの日常の暮らしを大切に、できるだけ社会にも関わり続けながら、住み慣れた地域で穏やかに過ごせる、認知症にやさしいまちづくりに取り組むことが求められている」として、かかりつけ医がその中心となるよう期待を寄せた。

なお、本冊子は株式会社社会保険研究所より刊行され、1冊千円（税抜き）で販売予定となっている。

（平成27年6月9日）

■2025年必要病床数 115万～119万床 — 政府調査会 —

政府の「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会」（会長＝永井良三・自治

医科大学長)は6月15日、将来の需要推計に基づく2025年の必要病床数の推計を盛り込んだ第1次報告書をまとめた。

13年の全国の既存病床数134.7万床(一般病床100.6万床、医療療養病床・介護療養病床計34.1万床)に対し、2025年の必要病床数は115万～119万床程度と推計。このうち「高度急性期」の病床数については13.0万床程度と見込んだ。

今回の推計では、厚生労働省が公表した地域医療構想策定ガイドラインで示した算定式を基にし、患者の流出入が現状のまま続くことを想定した「医療機関所在地ベース」と、患者の流出入がなく入院が必要な患者は全て住所地の2次医療圏の医療機関に入院すると仮定した「患者住所地ベース」の2類型で必要病床数を算出した。2025年の必要病床の全国総数は、「医療機関所在地ベース」で114万8,500～119万1,200床、「患者住所地ベース」で114万8,500～119万1,300床で、ほぼ同数となっている。ただ、患者流入の多い大都市部などでは、「医療機関所在地ベース」の推計病床数が多く、流出の多い地域では「患者住所地ベース」の推計病床数が多くなっている。

病床機能4分類の推計病床数の内訳は、2類型ともに「高度急性期」13万床程度、「急性期」40.1万床程度、「回復期」37.5万床程度。「慢性期」は療養病床の入院受療率の地域差の縮小度合いを加味してA～Cの3パターンで推計し、24.2万～28.5万床程度と幅を持たせて推計した。一方、将来、介護施設や高齢者住宅を含めた在宅医療などで、追加的に対応が見込まれる患者は29.7万～33.7万人としている。

●病床不足は6都県、大阪では1万床不足

13年の既存病床数と比較して、全体の病床数が不足すると推計されたのは、埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、沖縄の6都府県。このうち大阪では約6,000～1万床、神奈川では約8,000～9,400床の不足が見込まれるとしている。病床過剰となる道府県のうち、最大で1万床以上が過剰となると推計されたのは、北海道(過剰病床

数約1万300～1万4,900床)、山口(約7,600～1万200床)、福岡(約8,500～1万2,300床)、熊本(約1万600～1万2,500床)、鹿児島(約1万700～1万2,900床)となっている。

今回まとめた病床機能別の必要病床数を、病床機能報告制度で医療機関から報告された14年7月時点の各機能分類別病床数(未報告・未集計などあり、総数は123.4万床)と比較すると、「高度急性期」は約6.1万床、「急性期」は約18.0万床、「慢性期」は約6.7万～11.0万床が過剰となると推計。一方、「回復期」は約26.5万床の不足になるとした。(平成27年6月19日)

■受診定額負担導入に重ねて反対

— 横倉会長 —

横倉義武会長は6月18日の日本病院学会で講演し、財政制度審議会などで提言されている受診時定額負担の導入について「さらなる定額負担は高齢者、低所得者に対する受診抑制による重症化につながり、医療費の高騰を招く可能性があるため強く反対している。ただ、財務当局が最もやりたがっているのが現状だ」との認識を示した。

また、薬価改定財源については「薬価差益は過去の経緯の中で医療の技術料とされてきた。医薬分業とも密接に関係することも踏まえつつ、財源の厳しい中で、薬価財源などを活用して技術を充実させることで医療の安全・安心を図ることが必要と考えている」とした。病床機能分化や、医療費の地域格差の解消を進めるには「地域の実態把握が最優先」などと説明した。

日医としての医療政策判断基準については「(1つ目に)国民の安全な医療に資する政策か、2つ目は公的医療保険による国民皆保険は堅持できる政策かの2点が軸」と述べ、今月末に閣議決定される骨太方針などにも、こうした考え方に基づいて対応する考えを示した。

(平成27年6月23日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズルーム>日医インターネットニュースメンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID:会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード:生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)

薬事情報センターだより (338)

新薬紹介(その78)

今回は5月に薬価収載された抗ウイルス剤ソバルディ錠400mg(一般名:ソホスブビル)と抗悪性腫瘍剤レンビマカプセル4mg・10mg(一般名:レンバチニブメシル酸塩)について紹介いたします。

ソバルディ錠400mg(一般名:ソホスブビル)

ソホスブビルは、米国 Pharm asset, Inc. 社により見出し、米国 Gilead Sciences, Inc. 社が開発した核酸型C型肝炎ウイルス(HCV)非構造タンパク質5b(NS5b)RNA依存性RNAポリメラーゼ阻害薬です。肝細胞内で活性代謝物であるウリジン三リン酸型に変換されるヌクレオチドプロドラッグです。HCVのRNA複製において、活性代謝物がNS5bRNA依存性RNAポリメラーゼによってヌクレオチドの代わりにRNAに取り込まれ、HCV RNA鎖の伸長反応を停止させるチェーンターミネーターとして作用します。

未治療および治療経験のあるジェノタイプ2のC型慢性肝炎患者又はC型代償性肝硬変患者140例(未治療患者83例、前治療のある患者57例)を対象にソホスブビルとリバビリンを併用(12週間投与)した国内第3相臨床試験において、SVR12率(投与終了から12週間後のHCV RNA量が定量下限値未満の割合)は96.4%(135/140例)であり、未治療の患者のSVR12率は97.6%(81/83例)、前治療のある患者のSVR12率は94.7%(54/57例)でした。

本剤は、「セログループ2(ジェノタイプ2)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善」を効能・効果として、2015年3月に製造販売承認され、5月にギリアド・サイエンシズ株式会社から発売されました。なお、2014年12月現在、C型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変の治療薬として米国及び欧州を始めとする世界38か国で承認されています。

ジェノタイプ2のC型慢性肝炎患者又はC型代償性肝硬変を対象にソホスブビルとリバビリンを併用した国内第3相臨床試験において、140例中61例(43.6%)に副作用(臨床検査値異常を含む)が認められました。主な副作用は、貧血又はヘモグロビン減少2例(15.0%)、頭痛7例(5.0%)等でした。なお、重大な副作用として貧血(11.4%)が報告されています(承認時)。

レンビマカプセル4mg・10mg(一般名:レンバチニブメシル酸塩)

レンバチニブメシル酸塩は、エーザイ筑波研究所において合成されたキナーゼ阻害剤です。主に血管内皮増殖因子(VEGF)の受容体VEGFR1~3、及び線維芽細胞増殖因子(FGF)の受容体FGFR1~4を阻害することにより、腫瘍の増殖・転移等に重要な血管新生を阻害し、抗腫瘍効果を発揮することが期待されます。また、がんの悪性化に関与することが報告されている血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)α、幹細胞因子受容体(KIT)、Rearranged During Transfectionがん原遺伝子(RET)も阻害することが確認されています。

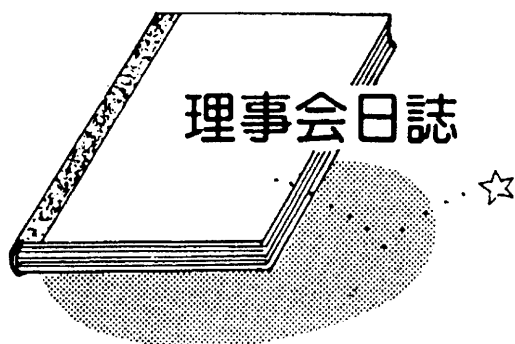
本剤は、「根治切除不能な甲状腺癌」を効能・効果として、2015年3月に製造販売承認され、5月にエーザイ株式会社から発売されました。なお、2015年2月に米国で販売が開始されており、2015年3月に欧州医薬品庁の医薬品委員会より承認勧告が行われています。また、本剤に関しては、肝細胞がんを対象としたグローバル臨床第Ⅲ相試験や腎細胞がん、非小細胞肺癌など複数のがんを対象にした臨床第Ⅱ相試験が進行中です。

放射性ヨウ素治療抵抗性・難治性の分化型甲状腺癌患者を対象にした国際共同第Ⅲ相試験(無作為化期)において本剤が投与された26例(日本人30例を含む)において、副作用が25例(97.3%)に認められました。主な副作用は、高血圧17例(67.8%)、下痢15例(60.9%)等でした。(承認時)また、重大な副作用は、高血圧、出血、動脈血栓塞栓症、静脈血栓塞栓症、肝障害、腎障害、消化管穿孔、瘻孔形成、可逆性後白質脳症症候群、心障害、手足症候群、感染症、骨髓抑制、低カルシウム血症、創傷治癒遅延が報告されています。

〈参考資料〉

ソバルディ錠400mg、レンビマカプセル4mg・10mg各添付文書・インタビューフォーム
(宮崎県薬剤師会薬事情報センター)

永井 克史)



平成 27 年 5 月 19 日(火)第 5 回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 6/11(木)(JA-AM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会について

4 医療機関を対象に行われる個別指導で、上田理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 業務委託について

①平成 27 年度 HTLV -1 (ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型)母子感染対策事業に係る業務の委託契約について

→HTLV -1 キャリアや発病者に対する適切な診療と相談支援体制の整備を図り、県民へ正しい知識と理解を推進していくことを目的に実施される事業で、契約を締結することが承認された。

②平成 27 年度家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業に係る業務の委託契約について

→望まない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に、実態調査やパンフレットの配布を行う事業で、契約を締結することが承認された。

③平成 27 年度妊婦及び乳幼児健康診査に係る委託契約について

→妊婦健診については 14 回計 108,050 円、全額公費負担と一部公費負担の 2 つの契約形式とし、乳児については 1 回当たり 5,720 円の委託料とする。また市町村によっては、子宮頸がん検査 3,400 円、退院 1 週間母子相談 2,000 円を加え契約を締結することが承認された。

④平成 27 年度妊婦及び乳幼児健康診査に係る審査事務費の委託契約について

→昨年同様、1 件あたりの審査事務委託料を 50 円とすることが承認された。

⑤平成 27 年度医師養成・確保支援事業に関する業務委託契約について

→医師のキャリア形成と一体的に医師確保を支援するために、県外医師との交流会、臨床研修指導医養成、臨床研修病院説明会等を行う事業で、引き続き委託契約を締結することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科外部評価委員会の委員の委嘱について

→我が国で初めて医学と獣医学を融合した科として、平成 27 年 4 月に設置された研究科で、河野会長が外部評価委員会委員として就任することを承認した。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①第 185 回全国禁煙アドバイザー育成講習会 in 宮崎の後援について

→「広げよう禁煙支援の輪—ほんの少しは 0 じゃない—」をスローガンに開催される講習会で、名義後援を行うことが承認された。

②「第 5 回食を支援する口腔ケア元気塾 in 日南市」へのご後援のお願いについて

→「摂食嚥下を支援する口腔ケアの意義と多職種との連携」をシンポジウムのテーマに開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

5. 5/26(火)(宮観ホテル)各都市医師会長協議会について

スケジュール等の最終確認が行われ、都道府県医師会長協議会の報告の他、地域医療介護総合確保基金の内示状況、地域医療構想の策定スケジュール、臨床研修医の会費無料化等を議題として提出することが承認された。

6. 臨床研修医の会費無料化(県医師会会費賦課徴収規程一部変更案)について

日本医師会の要請に応じ、本会会費賦課徴収規程に「その他特別に事由」を追加することによって、臨床研修医の会費無料に対応することが承認された。今後、規程変更に向け理事会及び代議員会に上程していくと共に、各都市医師会長協議会を通じて、同様の対応を都市医師会に要請することとなった。

7. 県医師会永年勤続職員表彰被表彰者について

基準を「勤続年数が満30年に達した職員」としていることから、勤続対象施設の確認が行われ、「医療法に定める医療提供施設」を原則とし、その具体例については、引き続き検討することとなった。

8. 6/4(木)(富山)平成27年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第1回)の開催について

今回は「搬送・受入問題の解消に向けて」をテーマに開催される連絡会で、米澤理事が出席することが承認された。

9. 平成27年度「ピンクリボン活動みやざき」に係る協賛・賛同について

県民に「乳がんの早期発見・早期治療」のメッセージを発し、行動に繋がる啓発活動への協力依頼で、協力を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 5/14(木)(宮崎市民プラザ)宮崎市要保護児童対策地域協議会について

3. 5/18(月)(県立看護大)県立看護大学参与会について

4. 5/15(金)(県庁)地方公務員災害補償基金県支部審査会について

5. 5/14(木)(県医)広報委員会について

6. 平成27年度地域医療介護総合確保基金の内示状況について

7. 4/30(木)(県医)県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

8. 5/7(木)(県医)県糖尿病対策推進会議小幹事会について

9. 5/13(水)(日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5/28(木)(宮観ホテル)平成27年度清山知憲後援会交流会の開催について

清山知憲資金管理団体の総会に合わせて開催される交流会で、県医師連盟として参加、協力することが承認された。

平成27年5月26日(火)第2回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. ロコモ予防市民公開講座への共催依頼について

要介護・要支援になる大きな原因の一つ「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」を予防するために開催される市民公開講座で、趣旨に鑑み本会の健康教育事業として共催することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

① 9/5(土)(石川県)第7回全国医師会事務局連絡会研修会の後援について

→医師会職員の知識・スキルの向上を図り、事務局業務の効率化等を推し進めることを

- 目的に開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。
- ② 10/3(土)(市民文化ホール)「第 6 回いのちの講演会」名義後援の申請について
→ 5 /19の常任理事協議会で一部確認のため保留になっていた申請で、学生からの参加料徴収に関して要望を行った上で、名義後援を行うことが承認された。
- ③ 10/25日(大分)第 6 回九州在宅医療推進フォーラムの開催のお知らせとご後援のお願いについて
→「医療と介護の連携～在宅開始から看取りまで～」をテーマに、毎年、九州各県持ち回りで開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。
3. 本会外の役員等の推薦について
- ①宮崎県地方創生推進懇話会委員への就任について
→知事の私的諮問機関として、人口減少を克服し地方創生を推進するために設置される懇話会で、河野会長が委員として就任することを承認した。
4. 7 /1(木)(日医)平成 27年度都道府県医師会税制担当理事連絡協議会の開催について
消費税率 10%引き上げ時への対応及び医業税制を取り巻く諸問題を共有すべく開催される連絡協議会で、立元常任理事が出席することが承認された。
5. 本会各種委員会委員について
- ①広報委員会委員の変更について
→委員の辞任申し出により、県立宮崎病院の中村豪先生を後任の委員とすることが承認された。
- ②公衆衛生・感染症委員会委員の変更について
→異動等により、県福祉保健部健康増進課長の木内哲平先生、県保健所長会長の和田陽市先生を後任の委員とすることが承認された。
- ③予防接種委員会委員の追加について
→新たに県小児科医会の三宅和昭先生を委員として追加することが承認された。
- ④医学会誌編集委員会委員の変更について
→異動等により、県立宮崎病院の黒岩顕太郎先生、宮大医学部産婦人科の大西淳仁先生を後任の委員とすることが承認された。
6. 6 /2(土)(県医)県医師会定例代議員会等の開催について
本会の定例代議員会と関連する諸行事の確認及び関係会議の通知時期等を含むスケジュールの確認が行われた。
7. 女性医師支援センター事業ブロック別会議の開催について
毎年、全国 8 ブロック毎に開催される会議で、日医及び日医女性医師支援センターの依頼により、平成 27年度、宮崎県担当で開催されることが承認された。
8. 7 /2(木)(日医)都道府県医師会「地域医療構想策定研修」の開催について
地域医療構想策定に関する手法を習得するために、厚労省が実施した研修を再編した研修会で、担当理事の派遣を含め出席者を検討していくことが承認された。
9. 平成 27年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦について
医療秘書学院を設置する都道府県医師会をもって組織される協議会で、常任委員に富田副会長、運営委員に牛谷常任理事を推薦することが承認された。
- 10 6・7月の行事予定について
6月の追加行事と7月の行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 5/19(火)(日医)都道府県医師会長協議会について
 2. 5/20(水)(日医)日医地域医療対策委員会について
 3. 5/20(水)(県庁)県移植推進財団理事会について
 4. 5/23(土)(県医)死体検案研修会について
 5. 5/23(土)(日医)日医医療IT委員会について
 6. 5/25(月)(県医)広報委員会について
 7. 5/25(月)(東京)地域医療介護総合確保基金(医療分)厚労省ヒアリングについて
 8. 5/23(土)(県医)在宅医療研修会に関する合同協議会について
 9. 5/18(月)(県医)勤務医部会理事会について
 10. 5/26(火)(宮大医学部)県ドクターヘリ運航調整委員会について
 11. 5/23(土)(延岡)県北女医会懇談会について
- 医師協同組合理事・運営委員合同協議会

(報告事項)

報 告

1. 5/26(火)(県医)医協理事・運営委員合同協議会について

平成27年6月2日(火)第6回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 7/23(火)(県医)医療事故調査制度に関する勉強会について

医療法改正に伴い本年10月1日に施行される医療事故調査制度について、福岡県医師会の上野道雄副会長を講師にお招きし、本会及び各郡市医師会の役員を中心とした勉強会を開催することが承認された。また、今後、研修会等を通じて、会員に対し積極的に情報提供を行うことを確認した。

2. 本会外の役員等の推薦について

①日本医師会の委員会委員の委嘱について
→日本医師会医療情報システム協議会の運営委員に、富田副会長を委嘱したいとの依頼があり、本会として承認することとなった。

②宮崎県高齢者虐待防止連絡会議における委員の推薦について
→高齢者の虐待防止策を総合的に推進することを目的に設置されている委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き金丸常任理事を推薦することが承認された。

3. 平成27年度救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について

救急医療対策の推進等救急医療の確保に貢献した団体及び個人に対し行われる表彰で、各郡市医師会に照会した結果、4名の先生方を推薦することが承認された。

4. 平成27年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した団体及び個人に対し行われる表彰で、1名を推薦することが承認された。

5. 後援・共催名義等使用許可について

①6/27(土)(ニューウェルシティ宮崎)「宮崎県の医療事例と将来像！」セミナー開催に係る後援依頼について
→医療経営に関する講演会であることから、本会では名義後援を見送り、県医師協同組合の名義後援を中心に検討することが承認された。

6. 医師年金普及推進活動に関するご協力をお願い

新規加入実績及び推進活動内容等に基づく加算方式の助成を導入するとの案内があり、本会として、それらを活用し積極的に医師年

金普及推進を行うことが承認された。

7. 8 / 2(土)・23(日)(別府市)『第 46 回中四九地区
医師会看護学校協議会』への担当理事派遣に
ついて

中国・四国・九州地区の医師会立看護学校
36 校が加盟し、各学校持ち回りで開催されて
いる協議会で、立元常任理事が出席すること
が承認された。

8. 業務委託について

①平成 27 年度肝炎ウイルス検査事業に係る業
務委託について

→ 20 歳以上の県民(宮崎市を除く)で過去に
肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を
対象に行われる事業で、契約を締結するこ
とが承認された。

9. 7 / 12(日)(日医)「平成 27 年度地域包括診療加
算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修
会」の開催について

平成 26 年診療報酬改定で新設された「地域
包括診療加算」、「地域包括診療料」の施設基
準における“慢性疾患の指導に係る適切な研
修”に該当する研修会で、本会でテレビ会議
による動画配信を受け、全会員に案内すると
共に各郡市医師会に情報提供することが承認
された。

- 10 8 / 1(土)・2(日)(長崎)第 59 回九州ブロック学
校保健・学校医大会並びに平成 27 年度九州学
校検診協議会の開催について

「子どものいのちを守り すこやかに育む
環境づくりのために」をメインテーマに開催
される協議会で、本会から河野会長、富田副
会長、高村常任理事、高木純一先生、宮田純
一先生・澤田浩武先生の出席が承認された。
また県眼科医会、県耳鼻咽喉科医会、県整形
外科医会へ案内を行うこととなった。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 5 月末日現在の会員数について

3. 5 / 3(土)(大分)九医連常任委員会について
4. 6 / 2(火)(県医)県学校保健会理事・評議員会
について
5. 6 / 2(火)(県医)学校保健・学校安全に係る表
彰審査会について
6. 5 / 29(金)(日医)日医医療秘書認定試験委員会
について
7. 5 / 28(木)(国保連合会)県保険者協議会に
ついて
8. 5 / 29(金)(日医)都道府県医師会医療事故調査
制度担当理事連絡協議会について
9. 5 / 3(土)(大分)九州ブロック日医代議員連絡
会議について
10 5 / 29(金)(県医)学術生涯教育委員会について
11 6 / 2(火)(県医)治験審査委員会について
医師連盟関係
(報告事項)
1. 5 / 28(木)(宮観ホテル)清山知憲後援会交流会
について

平成 27 年 6 月 9 日(火)第 3 回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 元気みやざき「心とからだ」健康教育推進事業
「性に関する相談事業」の委託契約について
10 代の人工妊娠中絶、性感染症、性の逸脱
行動等、性に関する諸問題を解決する為に、
児童生徒、教職員及び保護者に対して専門医
による相談等を行う事業で、引き続き契約を
締結することが承認された。
2. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の
推薦について
多年にわたり産科医療に従事し、地域の産
科医療の確保・推進に貢献してきた医師を表
彰するもので、1 名を推薦することが承認さ
れた。

3. 後援・共催名義等使用許可について

① 9/12(土)(宮崎市民プラザ)「第7回宮崎循環器市民講座」の名義後援について

→今回は「心臓病にならないための健康づくり」をテーマに、循環器疾患の予防と治療方法の啓発を目的に開催される市民講座で、名義後援を行うことが承認された。

② 10/23(金)(新富町)第5回宮崎県精神保健福祉大会の後援について

→県民の心身の健康・保持増進に努めると共に地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

③ 11/14(土)・15(日)(宮大)第11回清花祭清武キャンパス医学展名義後援ご許可のお願いについて

→宮大医学部学生が医学・医療に関する展示発表を行う医学展で、名義後援を行うことが承認された。

4. 本会外の役員等の推薦について

① (公財)宮崎県健康づくり協会理事の就任について

→県民の疾病予防、健康保持増進に寄与するために活動を行っている公益財団法人で、任期満了に伴う理事の就任依頼があり、引き続き富田副会長が就任することを承認した。

② 宮崎県精度管理専門委員の推薦について

→県衛生検査所における検査精度の質的向上を図るために委嘱される委員で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き富田副会長を推薦することが承認された。

5. 7/11(土)(長崎)九州医師会連合会第34回常任委員会の開催について

九医連担当が7月に長崎県に替わり、初めて開催される常任委員会で、河野会長が出席することが承認された。また提出議題等につ

いては、河野会長に一任することとなった。

6. 第16回宮崎県医師会定例代議員会の開催について

先の理事会で6/20(土)に県医師会館で開催することが承認されている定例代議員会について、進行スケジュール並びに提出議案等の確認が行われた。

7. 7/23(火)(日医)平成27年度都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会開催について

日医で推進しているORCAプロジェクトや日医認証局の現状、また、医療等ITに関する諸問題を協議するために開催される協議会で、吉田常任理事が出席することが承認された。

8. 県医師会役員等報酬支給について

県医師会役員等の報酬等規程に基づき支給することが承認された。

9. 職員の夏季手当支給について

県人事委員勧告及び諸状況等を参考に、県医師会職員給与規程に基づき期末・勤勉手当を支給することが承認された。

10. 7/29(木)(日医及び宮崎県他)平成27年度「南海トラフ大地震を想定した衛星利用実証実験(防災訓練)」について

宇宙航空研究開発機構(JAXA)と日医が締結した「超高速インターネット衛星『きずな』を用いた災害医療支援活動における利用実証実験に関する協定」に基づき開催される防災訓練で、本県での実施に協力することが承認された。

11. 「医療従事者のための多文化講座(宮崎市)」の開催について

外国人患者に対応できる医療体制の充実に目的に、県内の医療機関に勤務する医療従事者を対象に開催される語学力向上のための講座で、共催することが承認された。

12. 小児科専門研修医症例研究事業に関する業務の委託契約について

小児科専門研修医の更なる資質向上及び小児医療の充実を図ることを目的に、県内の小児医療機関と大学が共同で症例研究会等を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

13 長期運転資金の貸付に係る意見について

5 医療機関について照会があり、本会会費の納入状況を踏まえ、意見を付けて回答することが承認された。

(報告事項)

1. 6 /5 (金) (県庁) 県移植推進財団評議員会について
2. 6 /9 (火) (県庁) 県医療介護推進協議会について
3. 6 /9 (火) (県庁) 県医療審議会について
4. 5 /2 (木) (日医) 日医公衆衛生委員会について
5. 6 /4 (木) (県医) 県医監事監査について
6. 6 /5 (金) (ガーデンテラス宮崎) 病院部会・医療法人部会定時総会について
7. 6 /4 (木) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
8. 6 /8 (月) (県医) 公衆衛生・感染症委員会について
9. 6 /1 (月) (県医) 県医師会医学役員会について
10. 6 /6 (土) (県医) 勤務医部会総会・前期講演会について
11. 5 /2 (木) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
12. 6 /4 (木) (富山) 全国メディカルコントロール協議会連絡会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会

(報告事項)

1. 6 /9 (火) (県医) 医協理事・運営委員合同協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 7 /1 (土) (長崎) 九州医連連絡会第 24 回常任執行委員会の開催について

九州医連の担当県が長崎県に替わり、初めて開催される常任執行委員会で、河野委員長が出席することが承認された。また提出議題等については、河野委員長に一任することとなった。

2. 8 /1 (土) (宮観ホテル) 衆議院議員たけい俊輔国政報告会のご案内について

農林水産委員会や平和安全特別委員会等を含めた国政活動の現状を報告する会で、協力することが承認された。

3. 平成 28 年度国・県に対する要望について

昨年度提出した項目(医療税制、医師不足対策、有床診療所存続、予防接種体制の整備強化、医師会立看護師・准看護師養成校への財政支援、国民皆保険の堅持)を中心に確認を行い、追加修正を加えた上で、次回改めて協議することとなった。

(報告事項)

1. 6 /6 (土) (MRT m ic) 厚生労働大臣塩崎恭久先生を囲んでの昼食会について
2. 6 /6 (土) (MRT m ic) 参議院議員長峯誠政経セミナーについて

平成 27 年 6 月 16 日 (火) 第 7 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員(保険医代表)の推薦について

現職委員の辞任に伴う推薦依頼で、後任の選出を推薦元の県外科医会に依頼することが承認された。

2. 7/24(日)(福岡)「九州ブロック医療事故調査制度に関するシンポジウム」の開催について
九医連主催で、厚労省及び日医の担当者を講師に招き開催されるシンポジウムで、各郡市医師会に参加者を募ることが承認された。
また、8月と9月に本会会員を対象とした説明会を開催することが提案され、実施に向け計画を進めることとなった。

3. 本会外の役員等の推薦について

- ①県自殺対策推進協議会の委員等の推薦について

→関係団体が連携し総合的な自殺対策を推進することを目的として設置される協議会で、委員に吉田常任理事、実務者会議の議員に金丸常任理事と上田理事を推薦することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

- ①「第23回都城緩和ケア研究会」後援のお願いについて

→「緩和ケアにおける医療・介護・福祉の連携～手をつなごうチーム都城・小林」をテーマに開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

5. 6/24(土)(県医)第16回宮崎県医師会定例代議員会並びに第72回総会について

代議員の事前質問の確認が行われた上で、各項目の担当と提出議題及びスケジュールの最終確認が行われた。

6. 業務委託について

- ①平成27年度女性医師等就労支援事業に関する業務の委託契約について

→今までの女性医師キャリア支援相談窓口運営事業に加え、今年度から代替職員に対する人件費等を補助する就労環境支援を追加した事業で、契約を締結することが承認された。

- ②平成27年度へき地出張診療所医療業務の委託契約について

→市町村が設置する県内7つのへき地出張診療所に医師を派遣する事業で、契約を締結することが承認された。

7. 宮崎県医師会新型インフルエンザ等対策業務計画(案)について

新型インフルエンザ等対策特別措置法により、指定地方公共機関が策定しなければならない計画で、原案を本会の業務計画として了承し、県に提出することが承認された。

8. 平成27年度県立学校医等に係る報酬基準額について

県立高等学校、特別支援学校等への学校医報酬で、基本額及び内科管理指導費等の加算額が示され、昨年と同様の金額であることから基準額として認めることが承認された。

(報告事項)

1. 6/10(水)(支払基金)支払基金幹事会について
2. 6/10(水)(総合保健センター)県健康づくり協会理事会について
3. 6/12(金)(宮大医学部)宮崎大学医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院合同説明会について
4. 6/12(金)(魚安)日州医事「温故知新」取材について
5. 6/13(月)(県医)広報委員会について
6. 6/14(火)(県医)県糖尿病対策推進会議幹事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 6/24(土)(県医)宮崎県医師連盟執行委員会について

県医師会の定例代議員会に先立ち開催される執行委員会で、提出議題及び発言者の最終確認が行われた。

県 医 の 動 き

(6 月)

1	県医師会医学会役員会(会長他)	15	県有床診療所協議会役員会(濱田副会長他) 広報委員会(富田副会長他)
2	県学校保健会理事・評議員会(会長他) 学校保健・学校安全に係る表彰審査会(会長) 治験審査委員会(富田副会長他) 医協打合せ会(立元副理事長) 第 6 回常任理事協議会(会長他)	16	第 7 回常任理事協議会(会長他) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・ 講習会記録集編集委員会(牛谷常任理事他)
3	日産婦学会専門医制度委員会宮崎地方会 (濱田副会長他)	17	県産婦人科医会医療対策委員会医療安全部会 (濱田副会長)
4	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会(金丸常任理事) 県アイバンク協会監査 (富山)全国メディカルコントロール協議会連絡 会(米澤理事) 県医監事監査(会長他)	18	地域リハビリテーション広域支援センター連絡 会議(金丸常任理事) 県アイバンク協会評議員会等(会長) 学校医部会理事会(会長他) 医家芸術展世話人会(濱田副会長他)
5	県移植推進財団評議員会(会長) 病院部会・医療法人部会定時総会 県内科医会評議員会(小牧常任理事)	19	県内科医会会誌編集委員会(小牧常任理事他)
6	厚生労働大臣塩崎恭久先生を囲んでの昼食会 (河野委員長) 参議院議員長峯誠政経セミナー(河野委員長) 勤務医部会総会・前期講演会(富田副会長他)	20	県医連執行委員会(河野委員長他) 県医定例代議員会(会長他) 高木兼寛先生胸像除幕式(会長他) 県医総会記念講演(会長他) 県医総会(会長他)
8	公衆衛生・感染症委員会(会長他)	21	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 (県立延岡病院) 医療メディエーター養成研修会導入編 (富田理事長他)
9	県医療介護推進協議会(会長他) 県医療審議会(会長他) 医協理事会(富田理事長他) 第 1 回理事会(会長他) 第 3 回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会(会長他)	22	医師国保組合定例事務監査(秦理事長他) 宮崎市郡医師会予防接種勉強会(TV 会議:都城・ 延岡・日向・児湯・南那珂・西諸) (西都)西都市西児湯医師会定時総会
10	県健康づくり協会理事会(富田副会長) 支払基金幹事会(会長)	23	医師協同組合通常総代会(富田理事長他)
11	社会保険医療担当者(医科)の個別指導(上田理事) (大阪)全国国保組合協会通常総会(秦理事長) 県糖尿病対策推進会議幹事会(会長他) 県産婦人科医会学術委員会 県産婦人科医会常任理事会(鮫島理事)	24	労災診療指導委員会(川野理事) 広報委員会(荒木常任理事他) 地域医療ビジョン委員会(会長他)
12	宮崎大学医学部附属病院マッチング説明会&県 内基幹型臨床研修病院合同説明会 日州医事「温故知新」取材(荒木常任理事)	25	宮崎少年鑑別所視察委員会(小牧常任理事) (児湯)児湯医師会総会 県内科医会医療保険委員会(小牧常任理事) (延岡)延岡市医師会定時総会
13	(茨城)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (金丸常任理事) 県外科医会理事・評議員会(岩村理事) 県整形外科医会理事・評議員会(川野理事) (日向)日向市東臼杵郡医師会定時総会 県外科医会総会(岩村理事) 県整形外科医会総会(川野理事) 県内科医会総会・学術講演会(小牧常任理事) 労災部会総会 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同 学会	26	(大分)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各 県医師会長合同会議(会長) (西諸医師会館)西諸医師会定時総会 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (濱田副会長) 医師国保組合理事会(秦理事長他)
14	(茨城)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (金丸常任理事)	27	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会(金丸常任理事) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・ 全体研修会(金丸常任理事) (東京)九州ブロック日医代議員連絡会議懇親会 (会長他)
		28	(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議(会長他) (日医)日医定例代議員会(会長他)
		29	宮大経営協議会(会長)
		30	治験審査委員会(富田副会長他) 第 8 回常任理事協議会(会長他)

追悼のことば

都城市北諸県郡医師会

政^ま所^{どころ}修^{しゅう}治^じ 先生

(昭和2年5月9日生 89歳)

弔 辞

本日ここに、故 政所修治先生のご葬儀が執り行なわれるにあたり、先生のご霊前に都城市北諸県郡医師会を代表いたしまして、心より謹んで、お別れの言葉を申し上げます。

先生は、これまで非常にお元気でおられ、地域医療一筋にご活躍をされてこられました。

先生は、5年程前に外来診療から退き、ご自宅にてご静養されているとお聞きいたしておりましたが、去る5月28日の午後10時30分に先生がご逝去されたとの突然の訃報を受け、にわかには信じられず、ただただ、驚く他ありませんでした。

先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、ご遺族の皆様方のお悲しみは、察するに余りあり、お慰めの言葉もありません。私ども医師会会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和2年5月9日、5人兄弟の四男として、地元高城町にてお生まれになられました。長じて医学の道を志し、昭和28年に九州大学医学部をご卒業、同校医学部第二外科学教室に入局され、実地修練を積み、医師としてのスタートをきられました。その後、昭和33年に福岡赤十字病院に勤務、外科副部長兼血液銀行部長を拝命され研鑽を積みられました。この間、

昭和33年には医学博士の学位も取得されておられます。

昭和39年2月には地域医療に貢献されるべく、都城市小松原町に「マドコロ外科医院」を開業され、以来、医師として今日まで、54年もの永きにわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上に貢献をされてこられました。

先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、都城市北諸県郡医師会理事を昭和5年から6年間、救急医療担当として都城地域の救急医療の充実に取り組まれ、今春、太郎坊地区に新築移転しました都城市郡医師会病院、都城夜間急病センターの前身である旧都城市郡医師会病院、都城救急医療センターを大岩田町に設立、現在の救急医療体制の基礎を作られました。この間、宮崎県医師会の救急医療小委員会の委員も4年間務められ、県内の救急医療の充実、発展にも寄与されておられます。これらのご功績に対し、救急医療事業功労として、昭和63年に宮崎県知事表彰、平成1年には厚生大臣表彰を受賞されておられます。

先生は、昭和63年3月をもって当医師会の理事を勇退されたものの、周囲の会員からの強い要望もあり、平成4年4月から都城市北諸県郡医師会監事を10年間にわたり歴任されました。

また、昭和39年から平成1年までの41年間の永きにわたり、宮崎県立都城西高等学校の学校医を務め、生徒の健康管理、保健衛生に精力的に取り組まれました。これらのご功績に対し、平成9年に宮崎県教育長表彰を受賞されておられます。

一方、診療を離れると先生はゴルフがお好きで、若い頃は、よく会員の先生方と行かれたとお聞きいたしております。

先生は、お子様がお二人おられますが、ご長

男の節夫先生が医師としてすでにご活躍中であり、先生の後継者として立派にご意志を継いで地域医療に取り組まれておられますので、先生もさぞかしご安心のことと思います。

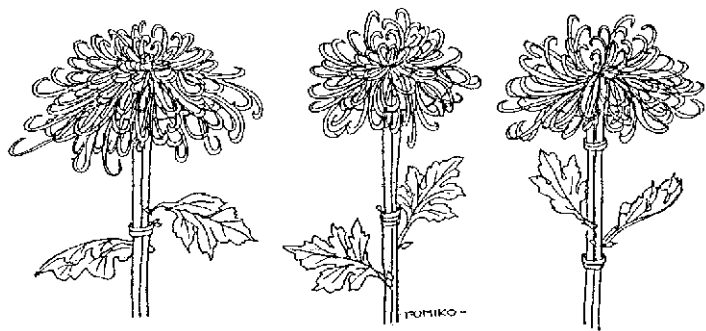
先生、これからは、遥か彼方より、ご子息のご活躍とご家族の安泰、ご繁栄、医師会の発展を末永く見守りください。

最後に、先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

平成 27 年 5 月 30 日

一般社団法人都市北諸県郡医師会

会長 飯 田 正 幸

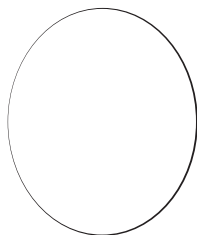


ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介しますコーナーです。

小林市
よしむら循環器内科クリニック

よし むら ゆう き
吉 村 雄 樹



住 所 小林市
専門科目 循環器内科・内科・
放射線科

趣 味 野球

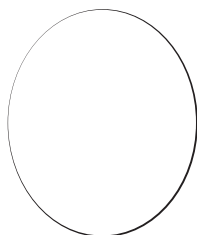
略歴と自己紹介 小林市で生まれ育ち小林高校卒業後、川崎医科大学に進学し平成 14 年に附属病院で内科研修を開始し心エコー図で有名な循環器内科に入局しました。その後、津山第一病院循環器科勤務後に平成 20 年に宮崎大学第一内科に入局し同年から県立宮崎

病院循環器内科に 7 年間勤務しました。このたび約 20 年ぶりに小林の地に帰ってまいりました。

実家は昔から記念品店を営んでおり地域の方に支えられ約 130 年営業しております。その土地で新規開業するにあたっては小林の中心市街地に明かりを灯し続けたいという特別な思いがありました。これからは生まれ故郷の地域医療に貢献できるよう頑張りたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

小林市
整形外科押領司病院

てら たに たけし
寺 谷 威



住 所 小林市
専門科目 整形外科，肩関節外科
略 歴

平成 14 年 福岡大学医学部卒業。福岡大学医学部整形外科入局
平成 22 年 博士号取得(病態機能系)
平成 22 年 船橋整形外科病院勤務

趣 味 野球，ビーチバレー

自己紹介 平成 2 年 5 月より整形外科押領司病院，整形外科フレンドクリニックに赴任する事になりました。

野球やバレーボールの経験があったため，周囲には肩関節の障害のため，スポーツ競技を断念する選手を多く見えました。私は，学童期，レクレーションレベルからスポーツ選手まで幅広く，肩関節に障害を持つ患者さんを，患者さんと共に治療していきたいと思っております。小林市を中心に，宮崎県の方々の役に立てるよう，日々精進したいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

保険管理表

6月のベストセラー（宮崎県）

集計：2015年6月1日～6月25日

1	一〇三歳になってわかったこと	篠田桃紅	幻冬舎
2	絶歌	元少年A	太田出版
3	火花	又吉直樹	文藝春秋
4	ラプラスの魔女	東野圭吾	KADOKAWA
5	聞くだけで自律神経が整うCDブック	小林弘幸	アスコム
6	イラストでときめく片づけの魔法	近藤麻理恵	サンマーク出版
7	禁断の魔術	東野圭吾	文藝春秋
8	ブルーマーダー	誉田哲也	光文社
9	感情的にならない本	和田秀樹	新講社
10	家族という病	下重暁子	幻冬舎

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎（0985）56-0868

お知らせ

平成27年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 （宮崎市）	宮崎医療管理専門学校 （宮崎市）	都城コアカレッジ （都城市）
就職希望者23名 （女23名）	就職希望者24名 （男4名、女20名）	就職希望者6名 （女6名）
連絡先：TEL 0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙 1415 担当：佐土原 敦 武村 順子	連絡先：TEL 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当：福元 進 鬼束 咲子	連絡先：TEL 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当：吉原真由美 中山さおり

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 27 年 6 月 15 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 3 人

1) 男性医師求職登録数 3 人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	2	1	1
外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0 人

2. 斡旋成立件数 50 人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 27 年 度	1	0	1
平成 16 年度から累計	36	14	50

3. 求人登録 8 件 324 人 (人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	106	79	27
外 科	28	24	4
整 形 外 科	25	22	3
精 神 科	19	17	2
循 環 器 科	8	7	1
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	12	10	2
麻 酔 科	12	9	3
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	10	9	1
小 児 科	2	1	1
呼 吸 器 内 科	10	9	1
リハビリテーション科	6	5	1
総合診療科・内科	7	6	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	7	7	—
健 診	3	1	2
産 婦 人 科	1	1	—
泌 尿 器 科	1	—	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	—
在 宅 担 当 医	1	1	—
そ の 他	30	26	4
合 計	324	262	62

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外, 整, 放, 麻, 内	10	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピアなんば病院	宮 崎 市	乳外, 内, 麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精, 内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼, 神内, 眼, 総診, 呼外, 臨病, 乳外, 整外, 麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内, 内分泌内, 呼, リウマチ, 神経内, 健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内, 放, 在宅医療	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内, 神内, 整, 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	内(緩和ケア), 消内, 呼内, 総診	8	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内, 外, 整	8	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化, 麻, 循, リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整, 麻	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内, 整, リハビリ	7	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内, 精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内, 外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外, 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	総内, 呼吸内, 消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内, 神内, 外, 整外, 脳外, リハ, 麻酔, 救急, 緩和ケア	10	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外, 形成外, 外, 麻酔	8	常勤・非常勤
230161	医)建心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮 崎 市	健診	1	非常勤
230171	医)いなほ会 日高医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都 城 市	泌	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内, 消内, 整, 神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内, 救急, 放射, 脳外, 外, 眼, 透内, 皮膚	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内, 外, 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内, 内, 呼内, 総合内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内, 呼	6	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精, 内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外, 内, 整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内, リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤
230157	医)一誠会 都城新生病院	都 城 市	精, 内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内, 透, 循内, 救急, 放射, 病理, 呼吸内, 精	16	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	4	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外, 整, 放, 内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外, 内, 緩ケア	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦, 内, 小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内, 消外, 内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内, 小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内, 外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外, 内, 整, 神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内, 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	東 郷 町	内, 整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内, 放, 外	3	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整, 内, 総合診療, 麻, 眼, 健診, 循, 脳	10	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内, 外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精, 内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内, 外, 整, リハビリ, 在宅診療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内, 外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
230166	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内, 皮膚	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急, 総合診療, 放	5	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外, 循内, 整, 脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精, 内	3	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整, 内	4	常勤・非常勤
230155	医)三和会 池田病院	小 林 市	脳外, 内, 放射, 外, リハビリ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230173	医)高千穂会 大森内科	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内, 透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内, 整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 27年 6 月 15日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263番, 263番 土地のみ：593.5坪(2022.17m ²)	＜所有者：児湯医師会員 (医)松雲会 林クリニック＞
---------	---	-------------------------------

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakimedor.jp

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	d	a ,d	e	e	c ,e	a ,b ,d	e	e	e

社会保険診療報酬支払基金宮崎支部審査委員名簿（医科）

（任期 平成 27 年 6 月 1 日～ 29 年 5 月 31 日）

（○印は新任）

科 名	氏 名	科 名	氏 名
内 科	石 川 正	外 科	岩 村 威 志
〃	上 田 章	〃	呉 屋 朝 和
〃	大 岐 照 彦	〃	○ 下 藺 孝 司
〃	大 西 雄 二	〃	白 尾 一 定
〃	岡 留 敏 秀	〃	○ 坪 内 斉 志
〃（放射）	杜 若 陽 祐	〃	福 元 廣 次
〃	栗 林 忠 信	〃	元 村 祐 三
〃	○ 作 直 彦	〃	吉 松 正 明
〃	澤 野 文 俊	整 形 外 科	川 野 啓 一 郎
〃	塩 見 一 剛	〃	川 越 正 一
〃	中津留 邦 展	〃	濱 中 秀 昭
〃	名 越 敏 郎	皮 膚 科	天 野 正 宏
〃	○ 南 寛 之	〃	田 尻 明 彦
〃	比 嘉 利 信	泌 尿 器 科	福 田 聡 一 郎
〃	松 岡 均	〃	南 口 尚 紀
〃	村 田 光 宏	産 婦 人 科	神 尊 敏 彦
〃	山 口 哲 朗	〃	嶋 本 富 博
〃（東洋）	済 陽 英 道	〃	○ 肥 後 貴 史
精 神 科	鮫 島 哲 郎	眼 科	出 水 誠 二
〃	谷 口 浩	〃	森 山 重 人
小 児 科	先 成 英 一	耳 鼻 咽 喉 科	高 木 誠 治
〃	高 木 純 一	〃	外 山 勝 浩

（ 50 音 順 ）

団体所得補償保険

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 27 年 6 月 30 日現在

7			月						
1	水		14	火	19: 00 第9回常任理事協議会				
2	木	10: 00 都道府県医師会地域医療構想策定研修 (日医TV会議参加)	15	水	14: 00 新人看護職員研修推進協議会 14: 00 県自殺対策推進協議会 19: 30 県産婦人科医会女性保健委員会				
		19: 00 医療現場のワークライフバランス セミナー 19: 00 県内科医会理事会			16	木	14: 00 (日医)都道府県医師会税制担当理事 連絡協議会 15: 00 (日医)日医医療情報システム協議会 運営委員会		
		12: 00 7/29南海トラフ大地震を想定した衛星 利用実証実験(防災訓練)事前説明会 19: 00 救急医療委員会(TV会議) 19: 00 日本運動器科学会懇談会	17	金					
4	土	九医連監査 産業医研修会 14: 15 日本運動器科学会市民公開講座 14: 30 産業医研修会(実地)	18	土	14: 00 ロコモ予防市民公開講座 18: 30 宮崎県ゆかりの首都圏医師との交流会				
			19	日	10: 00 レジナビフェア				
			20	月	(海の日)				
5	日	10: 00 レジナビフェア	21	火	16: 00 (日医)日医連執行委員会 18: 00 医協打合せ会 18: 30 第5回全理事協議会 19: 00 医療事故調査制度に関する勉強会				
6	月				22	水	14: 00 (日医)日医生命倫理懇談会 15: 00 労災診療指導委員会 19: 30 県産婦人科医会と県との妊婦健診 公費負担に関する協議会		
7	火	13: 20 「喫煙, 飲酒, 薬物乱用防止に関する指 導参考資料」研修会開会式 13: 30 県後期高齢者広域連合運営懇話会 14: 00 県立宮崎病院改築に係る基本設計業務 プロポーザル選定委員会 18: 30 第4回全理事協議会 19: 00 県福祉保健部・病院局との意見交換会 19: 30 県福祉保健部・病院局との懇談会					23	木	14: 00 (日医)都道府県医師会情報シス テム担当理事連絡協議会 16: 00 (日医)日医医療IT委員会 19: 00 県外科医会全理事会
		8	水	16: 00 支払基金幹事会	24	金			13: 00 九州各県アイバンク連絡協議会・ 全国アイバンク連絡協議会 19: 00 医師国保組合通常組合同会 19: 00 エコチル調査運営協議会
		9	木	15: 00 (日医)日医地域医療対策委員会 15: 00 (日医)日医予防接種・感染症危機管理 対策委員会 19: 30 県産婦人科医会常任理事会			25	土	12: 30 男女共同参画フォーラム 13: 30 産業医研修会 13: 30 アイバンクワークショップセミナー 14: 00 全国有床診療所連絡協議会 14: 00 在宅医療研修会企画会議
10	金			14: 00 (日医)日医勤務医委員会 14: 30 県ジェネリック医薬品安心使用促進 協議会 19: 00 園医部会理事会 19: 00 医師国保組合打合せ会					26
				11	土	9: 00 医療メディエーター養成研修会基礎編 13: 00 九州地区医師会立共同利用施設連絡 協議会 17: 00 九医連常任委員会 17: 45 九州医連連絡会常任執行委員会			
		12	日			8: 30 九医連常任委員会視察 9: 00 九州地区医師会立共同利用施設連絡 協議会 9: 00 医療メディエーター養成研修会基礎編 10: 00 地域包括診療加算・地域包括診療料に係る かかりつけ医研修会(日医TV会議参加)	28	火	
13	月					19: 00 県予防接種広域化意見交換会 19: 00 医師国保組合ロコモ啓発推進委員会 19: 30 広報委員会			29
				30	木	19: 00 労災部会自賠委員会 19: 45 損害保険医療協議会	31	金	自民党県連国・県に対する要望ヒア リング 14: 00 在宅医療研修会企画会議

※都合により, 変更になることがあります。
行事予定はホームページからご覧になれます。

※都合により, 変更になることがあります。
行事予定はホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成27年6月30日現在

8			月			
1	土	13: 00 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会	15	土	医 家 術 展 ↓	
		13: 30 産業医研修会	16	日		
		15: 00 九州学校検診協議会専門委員会	17	月		
		16: 00 九医連常任委員会	18	火		19: 00 第 13回常任理事協議会
		17: 00 九州学校検診協議会幹事会	19	水		
		18: 00 九州各県医師会学校保健担 当理 事者会				
2	日	9 : 00 九州学校検診協議会	20	木	国 社 保 審 査 ↓ ↑	
		11: 30 九医連学校医会評議員会	21	金		
		13: 00 九州ブロック学校保健・学校医大会				
		16: 00 医療事故調査制度に関する研修会				
3	月	19: 00 広報委員会	22	土		12: 00 中四九地区医師会看護学校 協議会
4	火	18: 00 治験審査委員会				16: 00 九医連常任委員会
		19: 00 第 1回常任理事協議会				17: 00 九医連定例委員総会
5	水	18: 30 産業医研修会				18: 10 九州医連連絡会執行委員会
6	木	19: 00 地域医療構想に関する研修会	23	日		11: 50 中四九地区医師会看護学校 協議会
		19: 30 県産婦人科医会全理事会				12: 00 日本プライマリ・ケア九州 支部長会
7	金	18: 30 県外科医会夏期講演会	24	月		19: 00 広報委員会
		19: 00 損保ジャパン日本興亜との懇親会				
8	土	九州地区医師国保組合連合会全体 協議会	25	火		19: 00 第 6 回全理事協議会
		13: 30 産業医研修会	26	水		15: 00 労災診療指導委員会
		13: 30 県プライマリ・ケア研究会世話人会	27	木		14: 00 (日医)日医公衆衛生委員会
		14: 00 県プライマリ・ケア研究会総会・ 講習会				15: 00 (日医)日医医療情報システム 協議会運営委員会
		14: 30 産業医研修会(前期)				
9	日		28	金	18: 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会	
10	月	19: 00 医師国保組合理事会				
11	火	19: 00 第 12回常任理事協議会	29	土	全国国民健康保険組合協会九州支部 総会	
12	水	16: 00 支払基金幹事会			13: 00 在宅医療協議会役員会	
13	木				14: 00 在宅医療協議会総会・研修会	
14	金				30	日
			31	月		

※都合により、変更になることがあります。
行事予定はホームページからもご覧になれます。

※都合により、変更になることがあります。
行事予定はホームページからもお覧になれます。

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E -M a i l : g e n k o @ m i y a z a k i m e d . o r . j p

F A X : 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

T E L : 0 9 8 5 - 2 2 - 5 1 1 8

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAX の際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985 -27 -6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
南那珂医師会生涯 教育医学会 7月1日(水) 19:00～20:45 南那珂医師会館	一般講演：当院におけるトルバプタンの使用経験 県立日南病院内科・循環器内科 医長 久保 恵是 特別講演：心不全の診断と治療について 宮崎大学医学部内科学講座 循環体液制御学分野助教 鬼塚 久充	◇共催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 大塚製薬(株)	1	75
医療現場のワーク ライフバランス セミナー 7月2日(木) 19:00～20:30 県医師会館	医師の働き方と女性の支援 東京女子医科大学衛生学公衆衛生学(一)教室 講師 野原 理子 基礎研修の後期研修会，生涯研修の専門研修会： 1.5単位	◇共催 ※宮崎県医師会 (地域医療課) ☎0985-22-5118 地域医療現場における働 きやすい環境を考える会 日本医師会	1.5	1 2 10
都城市北諸県郡医 師会外科医会学術 講演会 7月2日(木) 19:05～20:35 都城ロイヤル ホテル	肝腫瘍の術中局在診断と肝切除の工夫 宮崎大学医学部外科学講座 肝胆膵外科学分野教授 七島 篤志	◇共催 都城市北諸県郡医師会外科医会 第一三共(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711	1.5	1 27 51

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
延岡医学会学術講演会 7月3日(金) 19:00~20:15 ホテルメリージュ 延岡	SGLT2阻害剤 フォシーガ錠の実臨床での効果 ー1年間の長期使用症例をふまえてー 大分県立病院内分泌・代謝内科部長 瀬口 正志	◇共催 延岡医学会 アストラゼネカ(株) ※小野薬品工業(株) ☎0985-61-8123	1	76 82
第27回日本運動器 科学会 7月4日(土) 宮崎観光ホテル 参加費: 10,000円	運動療法とマイオカイン(12:45~13:45) 広島大学病院リハビリテーション科 教授 木村 浩彰	◇共催 第27回日本運動器科学会 日本臓器製薬(株)	1	11 13
	骨粗鬆症に対する運動療法(12:45~13:45) 日高整形外科病院院長 日高 滋紀	◇共催 第27回日本運動器科学会 M SD (株)	1	60 77
	関節リウマチのトータルマネジメント(12:45~ 13:45) 埼玉医科大学医学部整形外科学教室 主任教授 織田 弘美	◇共催 第27回日本運動器科学会 エーザイ(株)	1	10 61
	ロコモ対策は脊椎・脊髄病疾患の治療と予防が大事 です(14:30~15:30) 福島県立医科大学会津医療センター 教授 白土 修	◇主催 第27回日本運動器科学会	1	59 62
	運動器疾患の未来(15:30~16:30) 田辺整形外科医院院長 田辺 秀樹	◇主催 第27回日本運動器科学会 (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎0985-85-0986	1	7 14

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
産業医研修会 7月4日(土) 14:30～16:30 県医師会館	(6)作業環境管理・作業管理 「保護具」の使用法ー健康を衛る最後の砦ー 宮崎産業保健推進センター相談員 宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 教授 黒田 嘉紀 基礎研修・生涯研修の实地研修会：2単位	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 9 11 84
延岡医学会学術講演会 7月7日(火) 19:00～20:30 ホテルメリージュ 延岡	当院での“女性のミカタ”のアンケート結果 みぞくち医院長 溝口 直樹 女性の健康寿命を伸ばすための、開業医の役割 ー骨粗鬆症の話題を中心にー 宮崎大学医学部附属病院産科婦人科 病院教授 山口 昌俊	◇共催 延岡医学会 ※ファイザー(株) ☎ 092-281-7031	1	65 77
都城地区整形外科 医会学術講演会 7月7日(火) 19:00～20:30 ホテル中山荘	骨粗鬆症に対する薬剤選択法ー骨吸収マーカーをターゲットにしてー 小牧病院長 小牧 亘 骨粗鬆症診療に関する最新の話題 近畿大学医学部奈良病院 整形外科・リウマチ科教授 宗圓 聰 参加費：1,000円	◇共催 都城地区整形外科医会 第一三共(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711	1.5	11 59 77
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 7月7日(火) 19:30～21:00 ホテルベルフォー ト日向	薬剤師からみた糖尿病治療のUnmet Medical Needs 有限会社メディフェニックス代表取締役 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会副会長 萩田 均司 糖尿病治療における新たな治療オプション 那珂記念クリニック院長 遅野井 健	※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 武田薬品工業(株)	1.5	11 73 76

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎小児感染症 研究会 7月9日(木) 19:00~21:00 MRT-micc	日常で診る原発性免疫不全症のトピックス 北海道大学大学院医学研究科小児科学分野 教授 有賀 正	◇共催 宮崎小児感染症研究会 宮崎県小児科医会 宮崎県耳鼻咽喉科医会 宮崎県臨床衛生検査技師会 ※MeijiSeikaファルマ(株) ☎0985-25-6215	1.5	15 28 46
第96回江南医療 連携の会・症例 検討会 7月9日(木) 19:00~20:30 宮崎江南病院	距骨外側突起骨折の1例 宮崎江南病院整形外科部長 益山 松三 母指指示指切断に対する母指再建の一例 宮崎江南病院形成外科 小山田 基子 他	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎0985-52-4004	1.5	57
生活習慣病フォー ラム 7月9日(木) 19:15~20:50 ホテルJALシティ 宮崎	薬剤師からみた糖尿病治療のアンメットニーズとその 対策 有限会社メディフェニックス代表取締役 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会副会長 萩田 均司 高齢糖尿病患者における新しい治療戦略 九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点 教授 井口 登興志	◇共催 宮崎県内科医会 宮崎市郡内科医会 ※武田薬品工業(株) ☎0985-24-6763	1.5	10 76 82
平成27年度心臓検 診二次検討会(後期) 7月10日(金) 19:00~21:00 日向市東臼杵郡 医師会館	症例検討会	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222	2	11 33 43 44

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
延岡医学会学術講演会 7 月 10 日(金) 19: 00~ 21: 00 ホテルメリージュ 延岡	機能的消化管障害：便秘症への対応ーアミティーザ の臨床使用経験も踏まえてー 福岡市医師会成人病センター院長 壁村 哲平	◇共催 延岡医学会 ※アボットジャパン(株) ☎ 080-2194-6156 ◇後援 延岡内科医会	1	53 54
第 11 回宮崎消化器 内科セミナー 7 月 10 日(金) 19: 00~ 21: 00 ホテルJALシティ 宮崎	GERD の病態と治療の新展開 日本医科大学消化器内科学教授 岩切 勝彦 Multimodality fusion imaging for HCC To- ward Improved Treatment Decisions 近畿大学医学部放射線医学教室 放射線診断学部門主任教授 村上 卓道 参加費： 500 円	◇共催 宮崎消化器内科セミナー ※武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763	2	27 51 52 73
第 26 回宮崎リウマ チ医の会 7 月 11 日(土) 15: 00~ 18: 10 MRT micc	膠原病の診断と治療 聖路加国際病院 Immunology Center センター長 岡田 正人 シェーグレン症候群 vs IgG 4 関連疾患 筑波大学医学医療系内科(膠原病・リウマチ・ アレルギー)教授 住田 孝之 上肢の関節リウマチに対する人工関節置換術 東邦大学医学部整形外科科学講座(大橋)教授 池上 博泰	◇共催 宮崎リウマチ医の会 旭化成ファーマ(株) ☎ 0985-28-2736	3	2 5 8 19 28 61
第 20 回宮崎県呼吸 ケア研究会 7 月 11 日(土) 15: 00~ 18: 00 シーガイアコンベン ションセンター	呼吸ケアと呼吸リハビリテーションー最新のトピッ クスをふまえてー 結核予防会複十字病院 呼吸ケアリハビリセンター付 部長 千住 秀明 参加費： 500 円	◇共催 宮崎県呼吸ケア研究会 ※帝人住宅医療(株) ☎ 0985-25-6613 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県臨床工学技士会	3	10 45 73 80

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位	CC・ がん 検診
第1回地域連携で 心不全を考える会 7月13日(月) 19:00～20:15 宮崎観光ホテル	トルバプタンの可能性を探る 公立陶生病院循環器内科副院長 味岡 正純	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 大塚製薬(株)	1	9 13
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 7月14日(火) 19:00～20:30 都城ロイヤル ホテル	薬剤師からみた糖尿病治療のUnmet Medical Needsとその対策ー在宅薬剤師の立場からー 有限会社メディフェニックスコーポレーション 薬局つばめファーマシー代表取締役 萩田 均司 糖尿病診断アクセス革命の取組み 筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科 准教授 矢作 直也	◇共催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711 武田薬品工業(株)	1.5	10 76 80
宮崎市郡医師会7 月例会並びに特別 講演会 7月15日(水) 19:00～19:45 宮崎観光ホテル	医療制度改革・各種政策の先を読むーこれからの病 院経営戦略ー 日本経営グループ代表取締役社長 平井 昌俊	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	0.5	7
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 7月15日(水) 19:15～21:00 ホテルベルフォー ト日向	CKD診療における尿酸管理の意義 宮崎大学医学部医学科 血液・血管先端医療学講座教授 藤元 昭一	◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 (株)三和科学研究所	1.5	8 15 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
延岡医学会学術講演会 7月17日(金) 19:00～20:30 ホテルメリージュ 延岡	病態理解に基づいた喘息治療・管理の新展開 京都大学医学部附属病院呼吸器内科講師 松本 久子	◇共催 延岡医学会 延岡内科医会 ※アストラゼネカ(株) ☎ 070-2283-9148 アステラス製薬(株)	1	45 79
第3回日本光医学・ 光生物学会(2日間) 7月17日(金) 9:00～18:00 シーガイアコンベン ションセンター	特別講演: 光反応によってDNAの構造と機能を制御 するケミカルバイオロジー 京都大学理学部 杉山 弘 他一般演題多数 参加費: 8,000円	◇共催 日本光医学・光生物学会 ※宮崎大学医学部眼科 ☎ 0985-85-2806 宮崎大学工学部環境応用化学科	8	36 73 84
みやざきホスピス・ 緩和ケアネットワー ク第8回学術集合 7月18日(土) 15:00～17:00 JA A ZM ホール	一般演題1: 緩和ケア領域における落とし穴 精神 障害とみなされた身体疾患 宮崎大学医学部臨床神経学講座 精神医学分野助教 船橋 秀樹 一般演題2: 宮崎大学医学部附属病院緩和ケアチー ムの活動と薬剤師の役割 宮崎市立田野病院薬局 河野 亜衣 特別講演: 痛みのアセスメントとがん疼痛症候群の 理解 西田病院麻酔科・緩和ケア医長 富安 志郎	◇共催 みやざきホスピス・緩 和ケアネットワーク ※大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855	1.5	5 10 81
第76回宮崎大学眼 科研究会 7月18日(土) 17:00～19:00 シーガイアコンベン ションセンター	糖尿病網膜症の最近の話題 島根大学医学部眼科教授 大平 明弘 網膜硝子体疾患の最近の話題について 鹿児島大学医学部眼科教授 坂本 泰二 参加費: 2,000円	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎ 0985-85-2806	2	36

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位	CC・ がん 検診
第46回ひむか運動器セミナー 7月21日(火) 18:50~20:30 宮崎観光ホテル	動作解析から見た膝前十字靭帯損傷の治療 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門保健学専攻運動器機能医科学 教授 出家 正隆 参加費: 500円	◇共催 ひむか運動器セミナー ※昭和薬品化工(株) ☎ 0120-56-4089	1	57 61
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 7月21日(火) 19:00~20:30 ホテル中山荘	今、2型糖尿病をどう捉えていますか? 順天堂大学大学院医学研究科 スポーツロジセンター長 河盛 隆造	◇共催 都城市北諸県郡医師会内科医会 大正富山薬品(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711	1.5	23 76 82
佐土原医師会学術講演会 7月22日(水) 19:00~20:30 シーガイアコンベンションセンター	糖尿病治療の最近の話題 古賀総合病院名誉院長 栗林 忠信	◇共催 佐土原医師会 ※アステラス製薬(株) ☎ 0985-61-1537 M SD (株)	1.5	1 23 76
延岡心臓病カンファレンス 7月22日(水) 19:00~20:30 県立延岡病院	当院で経験した三心房の1症例 県立延岡病院臨床検査技師 丸元 香奈 リレーマラソンでAEDにより蘇生された症例 県立延岡病院循環器内科医長 黒木 一公 QT延長による多形性心室頻拍に頻拍ペーシングが有効であった1例 県立延岡病院循環器内科医師 山下 享芳 DCM+NSVTにCRTD植え込みを行った症例 県立延岡病院循環器内科部長 山本 展誉	◇共催 延岡心臓病カンファレンス 興和創薬(株) フクダ電子(株) ※グッドウィル(株) ☎ 0982-21-8105 ◇後援 延岡医師会	1.5	11 24 73

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 5 回宮崎インター ベンション研究会 7 月 23 日(木) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル	新時代を迎えた急性脳動脈再開通療法 神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科部長 坂井 信幸	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 田辺三菱製薬(株)	1.5	8 9 15
西臼杵郡医師会学 術講演会 7 月 23 日(木) 19:00～20:30 ホテル高千穂	腸・時空医療ー持続性選択的 DPP 阻害剤ザファテッ ク錠に対する期待ー 慶応義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科 教授 伊藤 裕	◇共催 ※西臼杵郡医師会 ☎ 0982-73-2010 延岡市・西臼杵郡薬剤師会 ◇後援 武田薬品工業(株)	1	52 76
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 7 月 23 日(木) 19:00～21:00 ガーデンベルズ 小林	循環器疾患の管理について(仮) 都城市郡医師会病院循環器科医長 岩切 弘直 脳神経外科の血管内治療と血圧管理について 都城市郡医師会病院脳神経外科 主任医長 大田 元	◇共催 ※西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 武田薬品工業(株)	2	15 31 63 78
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 7 月 23 日(木) 19:00～20:15 ホテルベルフォー ト日向	かかりつけ医による認知症診療ー由布物忘れネット ワークの取組みー 大分大学医学部附属病院 総合内科・総合診療科 診療教授 吉岩 あおい	◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 第一三共(株)	1	14 19

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第8回宮崎県小児 フォーラム 7月23日(木) 19:00～20:30 ガーデンテラス 宮崎	新興再興感染症 大阪労災病院小児科部長 川村 尚久 他一般演題 参加費: 500円	◇共催 宮崎県小児フォーラム 宮崎市郡小児科医会 ※杏林製薬(株) ☎ 0985-27-3301	1.5	2 8 11
第19回宮崎甲状腺 疾患研究会 7月24日(金) 19:00～21:00 宮崎観光ホテル	甲状腺疾患の放射性ヨウ素治療のためのヨウ素制限 食一食事指導の意義とポイントー何をどのようにに伝 えるのか? カレスサッポロ北光記念病院栄養科 係長 田村 美香 ターニングポイントを迎えた甲状腺癌の放射性ヨウ 素治療ー歴史的治療をとりまく最近の情勢ー カレスサッポロ北光記念病院診療部 科長 中駄 邦博 参加費: 1,000円	◇共催 宮崎甲状腺疾患研究会 ※あすか製薬(株) ☎ 092-781-6551	2	2 9 10 73
延岡医学会学術 講演会 7月24日(金) 19:00～20:15 県立延岡病院	糖尿病治療における最新の話題(仮) 光川内科医院長 光川 知宏	◇共催 延岡医学会 ※小野薬品工業(株) ☎ 0985-61-8123 ◇後援 延岡内科医会	1	8 76
平成27年度学童心 臓検診第三次検討 会及び講演会 7月25日(土) 15:00～18:00 日向市中央公民館	致死性不整脈を知ろう(仮) たかぎ小児科・心臓小児科院長 高木 純一	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	3	11 33 43 44

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
日向市東臼杵郡 医師会スポーツ 講演会 7月23日(土) 17:00～19:00 ホテルベルフォー ト日向	バスケットボールにおけるアスレティックリハビリ テーションについて 青山学院大学バスケットボール部 S & C アスレティックトレーナー 吉本 完明 スポーツドクターの活動についてーバスケットボー ルのメディカルサポートを中心にー 順天堂大学医学部附属練馬病院整形外科・ スポーツ診療科選任准教授 金 勝乾	◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 久光製薬(株)	2	13 61 62 72
宮崎県医師会産業 医研修会 7月26日(日) 10:00～12:00 宮崎市保健所	(5)健康保持増進 職場で役立つ禁煙支援のエビデンス のだ小児科医院長 野田 隆 (5)健康保持増進 職場で役立つ禁煙支援の考え方 禁煙マラソン事務局長 三浦 秀史 生涯研修の専門研修会：2単位	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎産業保健総合支援センター	2	5 11 12 82
アレルギー・ワク チンフォーラム 2015 7月27日(月) 19:00～20:40 ホテルJALシティ 宮崎	23価肺炎球菌ワクチンの現状と有用性について 国立病院機構長崎川棚医療センター 呼吸器内科統括診療部長 川上 健司 気管支喘息の病型と新規治療戦略 千葉大学大学院医学研究院アレルギー・ 臨床免疫学教授 中島 裕史	◇共催 宮崎県内科医会 ※ MSD (株) ☎ 080-1511-5016	1.5	11 13 28
第18回宮崎心エコー 研究会 7月27日(月) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル	心カテーテル弁膜症治療における心エコーの役割に ついて：米国の現状 カリフォルニア大学ロサンゼルス校臨床教授 シーダーズサイナイ病院循環器内科 教授 塩田 隆弘	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 第一三共(株)	1.5	2 9 15

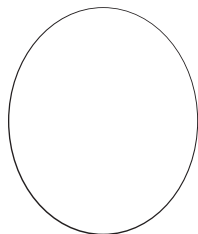
名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC・ がん 検診
高齢者医療を考 える会 7月29日(水) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	医薬品の中枢移行性—高齢者の薬物動態学的特徴— 滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部 教授 寺田 智祐 男性ホルモンと老年医学 東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座 教授 秋下 雅弘	◇共催 宮崎県精神科医会 宮崎県内科医会 宮崎県泌尿器科医会 ※ファイザー(株) ☎092-281-7031	1.5	10 29 65
宮崎「脳卒中と高血 圧」フォーラム 7月31日(金) 19:30～21:00 宮崎観光ホテル	脳神経外科の血管内治療と血圧管理について 都城市郡医師会病院脳神経外科 主任医長 大田 元 脳卒中治療の基本から応用まで 久留米大学医学部脳神経外科学講座 主任教授 森岡 基浩	◇共催 宮崎県内科医会 ※武田薬品工業(株) ☎0985-24-6763	1.5	74 78 82
第1回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会(2日間) 8月1日(土) 9:00～18:20 県立宮崎病院	がんのリハビリテーションの問題点 日南市立中部病院 鈴木 幹次郎 他多数	◇主催 宮崎がんのリハビリテー ション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 宮崎県 (連絡先) 日南市立中部病院 ☎0987-27-1111	10	5 10 15 18 19 21 22 24 45 47 49 60 61 62 63 69 73 80 81 83
第40回消化器疾患 宮崎セミナー 宮崎木曜会夏季 セミナー 8月1日(土) 14:45～19:00 MRT micc	胃のNB 拡大内視鏡診断 新潟県立吉田病院内科部長 八木 一芳 ピロリ菌感染を考慮したこれからの胃がん検診 JCHO 滋賀病院総合診療科部長 中島 滋美 ひとりで学ぶ大腸内視鏡挿入法 身近な素材で練習 できる、スコープ挿入上達のポイント 福岡徳州会病院消化器内科部長 仲道 孝次 参加費:5,000円	◇共催 ※宮崎木曜会 ☎0985-63-1123 エーザイ(株)	3	21 50 51 53 54 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 46 回 宮崎救急 医学会 8 月 1 日(土) 13: 00~ 18: 20 千代田病院	地域包括ケアシステムと救急医療 昭和大学病院長 有賀 徹 参加費: 500 円	◇主催 宮崎救急医学会 (連絡先) 千代田病院 ☎ 0982-52-7111	5	10 13 57
第 139 回 日本皮膚科 学会宮崎地方会教 育セミナー 8 月 1 日(土) 19: 00~ 20: 15 宮崎観光ホテル	糖尿病と感染症 佐賀大学医学部内科学講座 肝臓・糖尿病・内分泌内科教授 安西 慶三	◇共催 日本皮膚科学会宮崎地方会 ※鳥居薬品(株) ☎ 0985-29-2286	1	11 76
西臼杵地区学術 講演会 8 月 6 日(木) 19: 00~ 20: 00 ホテル高千穂	新しい選択肢を手に入れた日本の認知症治療 香川大学医学部精神神経医学講座 教授 中村 祐	◇共催 ※西臼杵郡医師会 ☎ 0982-73-2010 延岡市西臼杵郡薬剤師会 ◇後援 第一三共(株)	1	29 80
第 15 回 九州・沖縄 小児救急医学研 究会 8 月 8 日(土) 13: 00~ 18: 30 宮崎観光ホテル	小児の遺伝性不整脈 埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科教授 住友 直方 参加費: 1,000 円	◇共催 九州・沖縄小児救急医学研究会 ※杏林製薬(株) ☎ 0985-27-3301	5	2 8 10 13 16 35 43 44 45 53

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第98回宮崎市郡 医師会心臓病研 究会 8月24日(月) 18:50~20:20 宮崎観光ホテル	心血管イベント発症抑制を見据えた糖尿病治療戦略 福岡山王病院循環器センター長 国際医療福祉大学教授 横井 宏佳	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119 武田薬品工業(株)	1.5	2 9 15
第23回都城緩和 ケア研究会 9月5日(土) 13:15~16:40 都城市北諸県郡 医師会館	緩和ケアにおける医療・介護・福祉の連携一手をつ なごうチーム都城・小林一 都城市郡医師会病院 温谷 恭幸, 鶴島 みゆき, 山田 千晶 小林市立病院 伊地知 希 藤元総合病院 東 小夜里 三州病院 瀬戸口 礼佳 (株)ソートフル 廣瀬 美奈子 参加費: 500円	◇共催 都城緩和ケア研究会 塩野義製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県看護協会 宮崎県栄養士会 宮崎県薬剤師会 宮崎県介護支援専門員協会 都城市北諸県郡医師会 (連絡先) 三州病院 ☎0986-22-0230	3	80 81
成人肺炎球菌ワク チン講演会 9月16日(水) 19:00~20:20 宮崎観光ホテル	ストップ肺炎! 一超高齢化社会での予防の重要性一 川崎医科大学附属川崎病院 内科准教授 宮下 修行	◇共催 宮崎県内科医会 ※ファイザー(株) ☎092-281-7031	1	11 45
第18回宮崎神経眼 科セミナー 9月26日(土) 18:00~21:00 KITEN	核間麻痺の不思議 愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座 教授 柏井 聡 参加費: 2,000円	◇共催 宮崎神経眼科ネットワーク 参天製薬(株) (連絡先) 尾崎眼科 ☎0982-52-5600	2.5	1 2 13 36

医師年金ご加入のおすすめ

診療メモ

宮崎県立宮崎病院ドクターカー
平成26年度活動報告宮崎県立宮崎病院救命救急科 なが長 みね嶺 やす育 ひろ弘

はじめに

平成24年4月に宮崎県ドクターヘリが導入され、宮崎県全体において病院前救急診療が開始されました。さらに、2年後の平成26年4月より、宮崎大学附属病院および県立宮崎病院にドクターカーが導入されました。宮崎大学病院ドクターカーは、夜間及び悪天候時などヘリ運行不可時に出勤するヘリ補完の目的がありますが、県立宮崎病院ドクターカーは、平日日勤帯の宮崎市中心部へのより早い医療介入を目的に導入されました。

県立宮崎病院ドクターカーの平成26年度の活動を中心にご報告いたします。

ドクターヘリ・ドクターカーの特徴

ドクターカーとは、「医師と看護師を乗せ、救急車とのドッキングポイントや救急現場へ向かう専用車」のことです。平成20年の道路交通法施行令の改正に伴い、普通乗用車も緊急車両の指定が可能となり、全国各地に導入されており、各地でドクターカーの有効性も報告されつつあります。

ドクターヘリ、ドクターカーにて、病院の外にでて現場および現場近くから診療を開始することを、病院前救急診療といいます。病院前救急診療の目的は、①早期医療介入、②根治的治療時間までの短縮です。

①早期医療介入を行うためには、可能な限り早く、患者および傷病者の側に辿りつくことが求められます。病院から遠距離の場合は、移動速度の速いドクターヘリが有効であることは、想像しやすいかと思われます。また、治療後の搬送に関しても、県内には3次救命救急センター

が宮崎市に2か所(宮崎大学附属病院、県立宮崎病院)、延岡市に1か所(県立延岡病院)の合計3か所と限られており、ドクターヘリでの搬送時間の短縮が②根治的治療時間までの短縮に直結し、ドクターヘリが有効となります。

しかし、病院から近距離の場合、特に宮崎市中心部においては状況が異なります。宮崎市中心部は、ヘリが着陸する場所が限られており、また着陸場所から現場への移動に関しても、さらに消防車両で移動するため、実際に患者と接触するまでに時間を要します。平成24～25年度の宮崎市消防本部が要請を行ったドクターヘリ事案では、ヘリが要請されてから接触するまでに約13分要しました。一方、ドクターカーであれば、消防機関の支援を必要とせずに現場まで到達可能であり宮崎市中心部において非常に効果的なのです。

運行実績

平成26年4月14日より宮崎市消防局管内(宮崎市、綾町、国富町)を対象として平日日勤帯(8時30分～17時15分)の運行を開始しました。ドライバーの救急救命士(宮崎市消防局より出向)1名、医師1名、看護師1名の計3名で出動しました。この1年間で、要請305件、診療件数283件、診療人数305人でした。年齢は幅広く0～9歳、要請内容としては、交通事故などの外傷症例が最も多く4割を占めましたが、心血管疾患、脳卒中、アナフィラキシー、心肺停止症例などの要請にも出動しました。

要請から接触までは平均9分46秒であり、ドクターヘリより早い医療介入を実現しています。

明らかにドクターカーの効果があったと思わ

れる症例は約 2 割の 5 件でした。特徴としては要請の多い外傷症例よりも、むしろ内因性に効果を発揮しています。心肺停止 42 症例のうち自己心拍再開後の当院への搬送が 1 例あり、心肺停止症例にも一定の効果があると考えます。その中でも、2 例は脳低温療法導入後に社会復帰を得たことから、早期医療介入の効果は、救命のみでなく後遺症の軽減にも繋がると考えます。治療後の搬送は、8 割近くが自施設である県立宮崎病院に搬送しています。重症外傷、重症熱傷など 1 割弱は大学病院へ搬送しています。(表 1)

今後の課題

早期医療介入に最も重要なことが、消防機関が 119 番通報(覚知)を受けてからドクターカーが要請されるまでの時間(1)と病院出発から患者接触までの時間(2)になります。平均時間は、(1) 6 分 30 秒、(2) 7 分 40 秒です(表 1)。(2)に関して時間短縮は困難ではあるものの、(1)に関しては改善の余地があります。

現在、宮崎市消防局の指令室が 119 番通報を覚知してからドクターカーが要請されるまでの時間は覚知同時要請(指令室が要請)と、救急隊が患者に接触してからドクターカーの要請を判断する現場要請(救急隊が要請)の大きく 2 つに分かれます。当然のことではありますが覚知同時要請の割合が増えれば、要請までの時間が短縮されます。実際に、要請までの時間は今年度の記録でも覚知同時要請が早いことがわかります(覚知同時要請 3 分 06 秒、現場要請 8 分 38 秒表 1)。

ただし、現在のドクターヘリに準じた要請基準(平成 26 年 4 月号 № 77 p 19)では、情報の少ない覚知時にどのような症例でドクターカーを呼べば良いか、要請する消防側に戸惑いがあります。そのため、誰でも判断可能な要請基準が必要となります。他の地域では Key word 方式と呼ばれる判断基準の簡略化を行っている地域もあります。ただし、このような要請基準に関しては、地域の医療事情によって大きく運用が異なるため、直接この要請方法を県立宮崎病院ドクターカーに導入するのではなく、今後の数年間の記録をまとめて、要請する消防側に適した要請方法を検討したいと考えております。

また、病院前救急診療を充実させるには、病院前だけでなく院内体制の強化も必要です。運行時間に関しても、24 時間 365 日の運行が理想ではあるものの、時間外診療の多くを他科の先生に協力頂いている現状では、県立宮崎病院ドクターカーの早急な時間枠の拡大は困難です。今後、その充実を図っていくことも課題として挙げられます。

謝 辞

県立宮崎病院ドクターカーは、宮崎県医師会の先生方をはじめ、院内他科の先生方、コメディカルスタッフ、宮崎市消防局の方々など多くの方のご協力の上で運行が成り立っており、この場を借りて感謝申し上げます。今後ともこのドクターカーが、市民、県民の命と笑顔を守り続けることができますように、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

表 1 平成 26 年度出動記録

●出動状況(件)		●治療効果良好症例(件)		●病院前診療で行った処置(件)	
全要請	305	根本治療	13	挿管	54
診療件数	283	アナフィラキシー	8	外科的気道確保	1
途中キャンセル	22	痙攣	4	骨髄針	42
●搬送先医療機関(件)		低血糖	1	薬剤使用	139
県立宮崎病院	209	症状改善・安定化	38	胸腔ドレーン	2
宮崎大学附属病院	23	大動脈解離	6	心嚢穿刺	1
その他	51	心筋梗塞	6	血糖測定	98
●時間経過(平均)		呼吸不全	12	除細動	3
覚知～要請	6分 30秒	喘息重責発作	1	エコー	165
指令室要請	3分 06秒	閉じ込め外傷	1	骨盤固定器具	2
救急隊要請	8分 38秒	重症外傷	1	微量持続点滴	7
要請～出発	2分 06秒	心肺停止(心拍再開症例)	11	12誘導心電図	37
出発～現場着	7分 40秒				

宮大医学部学生のページ

初期研修先病院決定までの医学生の動き
～イベントを活用した初期研修先病院選び～宮崎大学 医学部医学科5年 牧^{まき}原^{はら}佑^{ゆう}子^こ

新臨床研修制度が導入される平成16年4月以前は、医師免許取得後そのまま母校の大学病院の医局に所属する傾向がありましたが、この制度が導入されてからは研修医が臨床研修指定病院の中から、希望の病院を選んで受験することが可能となりました。「自分に合った研修病院はどこなのか」と頭を悩ませる医学生達ですが、多くの臨床研修指定病院の中からどのようにして研修先を選んでいるのでしょうか。今回は、そんな初期研修先病院決定までの最近の医学生の動きについてご紹介させていただきます。

○医学生はどのような研修病院を選択する傾向があるのか

研修病院を選ぶ基準として、アンケートで最も多かった項目は「指導体制」でした。それに続いて、「研修プログラム」や「研修環境(職場の雰囲気を含む)」、「指導医」、「症例数」といったものが並びました。また、希望する研修エリアとしては「出身地」を挙げる人が最も多く全体の6割を占め、次いで「環境・風土に興味がある土地」、「出身大学」、「意中の研修病院がある場所」、という意見が挙がりました(レジナビフェア2015in福岡 来場者アンケートより)。

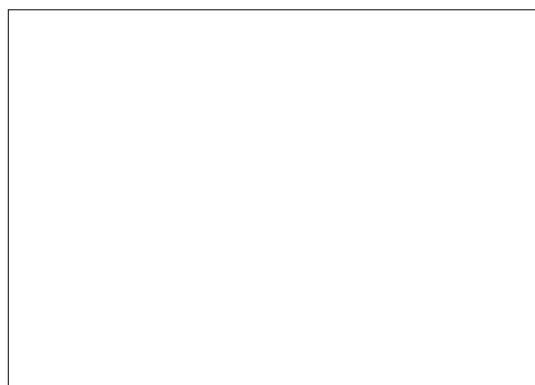
○イベントを活用して研修病院の情報を手に入れる!

それでは、自分の志向に合った研修病院を、医学生はどのようにして見つけ出すのでしょうか?実は、初期研修先選びをするためのイベン

トが複数の企業によって年に数回開催されています。これは医学生・研修医が自分の理想に合った研修病院に出会い、より良い研修生活を送れることを目的として、研修医採用を行っている病院が一堂に会し、医学生が様々な病院で活躍されている医師や研修医から実際の研修内容や生活の様子を聞いたり、今後のキャリアについて相談したりできるイベントとなっています。

病院の出展ブースでは、face to faceで病院の雰囲気を感じたり、研修医の生の声を聞いたりすることができます。また、コンシェルジュサービスを導入しているイベントでは、様々な病院の豊富な情報をもったコンシェルジュの方々が、医学生の希望を聞いて、その人におすすめの研修先病院を提案し、ブースへと案内して下さいます。「イベントへの参加が初めてで、限られた時間のなかでどの病院をどのように回ったらよいか分からない」という学生でも、安心して相談することができる心強い存在です。また、スカ

ウトサービスというものを提供している企業もあります。これは、自己 PR を WEB 上で登録するとそれを見た病院側から医学生へオファーがくるというもので、まだ知らない病院から声がかかり、医学生が自分の理想に合う病院と出会うきっかけとなります。また、病院側も自己 PR 文を見て、自分たちの理念に合う医学生に声をかけることができます。このように、研修病院合同説明会のイベントは医学生、研修先病院双方のマッチングに大いに役立っています。



○まだまだあります、イベントの魅力！

九州エリアの研修病院合同説明会のイベントは、主に福岡で開催されますが、福岡までの交通手段の心配はいりません。なんと、宮崎大学と会場とを結ぶ、専用の貸し切りバスが準備されています。また昼食や夕食のお弁当までいただけることもあり、交通費や食事を気にすることなく、イベントに臨むことができます。他にも、面接・マナー講座で、病院見学や採用試験に役立つマナーをプロの講師から教わることができたり、特別講演として各方面で活躍するドクターから初期研修に役立つお話や実技指導をしていただいたり、化粧品メーカーによるメイクアップコーナー & レッスンで素敵な身だしなみを教えていただいたり、実際に見て聞いて

学ぶことができます。さらには、病院ブースを巡るスタンプラリーも準備されていて、気になる病院を回りながらスタンプを貯め、素敵な景品と交換することができます。抽選で高価なテキストが当たったり、事前参加登録をして当日来場すると商品券がもらえたりと、魅力的な特典も満載です。この他、ブースを回ったときに病院側からいただけるグッズを楽しみにしている学生もいます。

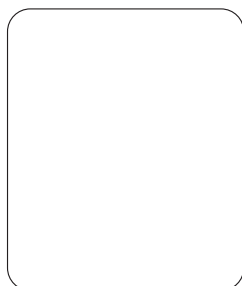
○参加者の声は

ここで、参加者の声をいくつか挙げてみますと、「次にどのブースへ行こうか迷っているときに、すぐコンシェルジュの方々が、声をかけて自分の希望に合った病院先を紹介して下さったので、効率よく、また自分の考えていなかったような病院まで訪問することができました」「色々な病院を比較できる良い機会でした」「限られた時間の中でも多くの病院のことを知れたのでよかったです」「色々な病院のリアルな部分が聞けて良かったです」といったように、効率よく自分に合った病院に出会えることが大きなメリットとなっているようです。

○4年生から5年生にかけての2年間で勝負！

医学生の7割は4年生になってから初期研修先の病院について考え始め、5年生が終わる時点では9割の学生が気になる病院へ一度は見学に行っていることがわかっています。この2年間に、研修病院説明会のイベントをフル活用して自分の理想に合った病院を見つけ、実際に見学して病院の雰囲気などを確認しているようです。今後、後期研修医制度も変わるとされていますが、これから先、医学生や研修医の研修病院選びがどのように変わっていくかにも注目してみたいと思っています。

私 の 本



日南市 東病院
みや じ しげ かず
宮 路 重 和

ノロに見舞われて

発行所 株式会社 講談社エディトリアル
定 価 本体1,700円(税別)

平成2年12月に、私共の東病院で、高齢者6名が亡くなるというノロウイルス集団感染が起こりました。感染対策に追われる中開いた記者会見の翌日、新聞各紙が東病院に非があるとして一斉に非難しました。

人の命を守る立場の病院として、ひたすらおわびすべき事態ではありましたが、正直、私は非常に腹がたちました。このまま黙って引っ込んではいけない。せめて「一矢報いなければいけない」と思い、講談社エディトリアルから本を出す事になりました。

新聞、カルテ、各種資料を積み上げ、ほぼ毎日出勤前と深夜、それに土日と机に向かい、少しずつ書き進めました。

記者会見から始め、感染の経過、新聞と役所への反論、日本の医療の抱える問題、終息宣言と賠償金問題等を論じました。怒りに始まった文章でしたが、書き進むうちに書くことが楽しくなり、「一誌報いる」気持ちに変化して行きました。書くことが心を昇華する作業になったのかなと思います。

始めは第四章で終るはずでしたが、なんとチャプ台返しが出て来てしまい、第五章を加えることになりました。最後に当法人の最新の感染症対策を付記しました。

計2年3か月位で本ができあがりました。

医療・介護関係者の参考として、一般の人には変り種のシャーロックホームズとして読んでいただけたらと思います。この本が役に立って「一志報いる」ことになれば望外の喜びです。

お知らせ

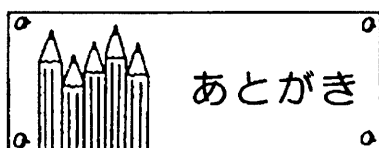
医師資格証をもっていますか？

お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）までご連絡ください。

送付日	文 書 名
5月19日	・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行等について」等について ・エボラ出血熱への感染があり得る患者の発生について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行等について（施行通知） ・「宮崎県感染症発生動向調査事業実施要綱」の一部改正について ・「エボラ出血熱の国内発生を想定した医療機関における基本的な対応について（依頼）」の一部改正について ・診療放射線技師法及び臨床検査技師等に関する法律の一部改正の施行等について（通知） ・リベリアにおけるエボラ出血熱流行の終息宣言を踏まえた検疫及び国内における対応について ・療養機能強化型介護療養型医療施設に関する通知の一部改正およびQ & A について ・平成27年度認知症ケア研修会～認知症短期集中リハビリテーション研修（医師対象）～【東日本会場】のご案内（情報提供） ・長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業の実施について ・精神科救急医療体制整備事業の実施について
5月21日	・地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部の施行（医療事故調査制度）について（通知）
5月22日	・「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」等の施行について
5月26日	・エボラ出血熱への感染があり得るとされた患者の検査結果（陰性）について ・ストレスチェック制度に係る関係省令、告示及び指針の制定について ・研修医会費減免（無料化）に伴う減免申請手続きについて ・厚生労働省、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター共催平成27年度「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」の開催について ・「新型インフルエンザ等発生時における住民接種体制構築に関する手引き（暫定版）」の厚生労働省ホームページ掲載について ・難病の患者に対する医療等に関する法律に基づき厚生労働大臣が指定する指定難病及び厚生労働大臣が定める病状の程度の一部改正について ・「難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく特定医療の給付に係る公費負担者番号及び受給者番号の設定について」の一部改正について ・日本医師会ACLS（二次救命処置）研修について
5月27日	・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№102」の提供について（通知） ・医療機器の保険適用等について

送付日	文 書 名
5 月 29 日	・ N B C R 対策推進機構平成 27 年度「C B R N E 災害と現場の対応」担当者養成講習会および「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」の開催について ・ 肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて
6 月 2 日	・ 看護師等の人材確保に関する事項の施行について ・ 使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について ・ 韓国における中東呼吸器症候群(M E R S)の発生について
6 月 3 日	・ 「デング熱・チクングニア熱の診療ガイドライン」について
6 月 4 日	・ 韓国における中東呼吸器症候群(M E R S)の発生について ・ 看護師の特定行為研修に関する説明会の開催について ・ 韓国における中東呼吸器症候群(M E R S)への対応について
6 月 8 日	・ 平成 27 年の職場における熱中症予防対策の重点的な実施について ・ 労働安全衛生法の一部を改正する法律に基づく職場の受動喫煙防止対策の実施について ・ 労働安全衛生法の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令等の施行について(外国登録製造時等検査機関等, 受動喫煙の防止及び特別安全衛生改善計関係) ・ 「病原微生物検出情報」の送付について ・ 韓国における中東呼吸器症候群(M E R S)への対応について ・ 宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構設立と宮崎地域糖尿病療養指導士誕生についてのご報告
6 月 9 日	・ 韓国における中東呼吸器症候群(M E R S)への対応に関する具体的な運用について
6 月 11 日	・ 指定難病に係る診断基準・重症度分類等及び臨床調査個人票について ・ 平成 27 年度介護報酬改定に関する Q & A (vol.3) (平成 27 年 6 月 1 日)および通知等の正誤の送付について ・ 第 42 回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の開催について(通知) ・ 医療機器不具合用語集の公表及び活用について(通知)
6 月 12 日	・ 労働基準法における法定労働時間の特例措置に関する議論及び「職場意識改善助成金」について ・ 梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について ・ 平成 27 年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者」に関する講習会の開催案内及び周知の協力依頼について ・ 国立長寿医療研究センター・東京大学高齢社会総合研究機構「在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会」のご案内について ・ 平成 27 年度小児慢性特定疾病指定医に係る研修について ・ 「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」に基づく都道府県計画及び地域医療介護総合確保基金に関する平成 27 年度の取扱い等について ・ 「平成 26 年度介護報酬改定検証・研究調査の結果(最終版)について(情報提供)」の送付について ・ 改正介護保険制度広報ポスターの掲示等への協力依頼について



FB(フェイスブック)ノススメ

FBを始めて3年たちました。東京にいる趣味のグループ同士の連絡に使うのではじめなさいと言われたのがきっかけでした。始めてみるとこれが結構面白い。グループ間の連絡はもちろん、学生時代の友人や先生方、こんな方までと思う人とも連絡が取れるようになり、リアルタイムで話ができるようになりました。また自分のページを公にしたら患者さんなどからも連絡が入るようになりました。この年になると新しい友人はなかなか増えないものですが、友人の紹介で初めての知人がかかり増えました。そしてその方たちの世界を垣間見ることもできます。その一つを紹介します。大学の後輩の紹介で知り合った京都にお住いの70代の方から、戦前～戦後に造られたいわゆるクラシックカー達が福岡～大分～雲仙～福岡の約600kmを3日間で走破するゼロ・ディ・カルデラッソというイベントがあるので見に来ませんかとの誘いがあり先日日帰りで行ってきました。2日目のゴールである老舗の格式高い雲仙観光ホテルの玄関前で待っていると、初めて見る年代物の、しかし大変美しい2台のクルマ達が快音とともに次々と入ってきます。それらをうっとり眺めつつ、知人とも会え、その方のご紹介でまた知り合いができ、こういうディープな趣味の世界もあるのだなと感慨深いものがありました。写真は知人の1928年製A 15aR om eo 6C 1500 Sport。いちど助手席に乗せていただきました。

もちろんFBは自分のデータを公にするので公表してよいデータのみを入力が鉄則です(今は顔写真のみから名前、住所、その他の情報が漏れ出る時代です)。あと信頼できる友人からの紹介のみ“友達”になること。そこを守れば大変楽しいツールと思います。(金付)

開いた口がふさがりません。読者の中にも中国とは軍事的に対抗すべきだとか、日本人も西アジアで血を流すべきだという意見はあるでしょう。しかし、圧倒的な憲法学者の違憲表明や、大多数の沖縄県人が基地強化を望んでいないという事実を報道したら、「懲らしめる」とは何様のつもりでしょうか。件の百田尚樹氏。「どこか島をとられれば目を覚ます」と言い放ったようです。住民の4人に1人が米日軍に殺され、2年も主権を奪われて、それでも沖縄県民は眠っているとお考えなのでしょうか。(上野)

近年珍しい長雨で、梅雨らしい鬱陶しい日が続く。外に出られない時の楽しみは、読書かTVであるが、韓ドラの「輝いてスングム」にはまっている。朝鮮動乱のときに、母親と離れ離れになった葉売りの娘スングムと、離散家族となったウチャン、戦争孤児ジョンスを軸に、伝えられない親子の絆や隠していた秘密が絡みあっていく。ホームドラマであるが奥は深い。睡眠時間をつぶしてでも見ているのでうつつでは無いようだ。ただ全16話と知って少し憂鬱になった。まだ半分にもなっていないので、一度ご視聴を、心が晴れること間違いなしです。(篠原)

6月から広報委員を務めさせていただくことになりました中村です。県立宮崎病院に外科兼地域医療科として勤務しています。数年前、本誌のエコーリレーにジョギングを始めたことを載せてもらいました。その後少しずつ走力もつき、フルマラソンを何とか完走できるようになったのですが、体重は減らず身長173cmに対して80kg前後を推移しています。原因が走った後のビールにあることは分かっているのですが…、広報委員は慣れない仕事ですが頑張りますので宜しくお願いします。(中村)

この頃、医師を主人公とした医療漫画をよく読んでいます。病棟実習で実際に見た疾患や処置が出てくると面白く、また、教科書からは想像のつきづらかったことも絵で示されているとわかりやすく、勉強になります。舞台となる診療科や出てくる医師は様々で、将来自分はどのような医師になるのだろうかと思像することもあります。天才でもカリスマでもなくても、自分にできることを誠実にし続けられる医師になりたいと感じています。(上條)

大学で新しく部活を始めようと思い、袴と刀の格好よさに惹かれて居合道部に入部してはや3年がたちました。昔から身体が固く、技を覚えるのも遅いため、当初は常にいつ辞めようかと考えていたのですが、毎週1回しか稽古がないこともあってか、未だに部活を続けています。雨が多い時期の適度な運動になるほか、ボディバランスを意識的に考えるといった点で、意外と日常生活のなかで活かしている部分が多いため、居合の上手な下級生には先輩面をしながら図々しく、今後も自分のペースで居合を続けていけたらいいなと思っています。(押川)

アメリカの大学に通う息子が、先日初めて現地の医療機関を受診しました。森の中に入って何かにまけたらしく、眼が充血して痛みが出たとのこと。まずは近日中に予約できるクリニックを探すところから始まり、受診時には保険の加入など確認され、ようやく診察。息子が驚いたのは、診察代190ドルと薬代(点眼薬1本)170ドル、日本円にして約44,000円の請求。カードで支払ったとのことでした。スカイプでその話を聞き、思わず日本の国民皆保険制度の素晴らしさを力説してしまいました。(荒木)

今月のトピックス

はまゆう随筆

恒例のはまゆう随筆は今月号から掲載開始です。今年は世情を反映してか、社会派の投稿も目を引きます。70年前、終戦してもなお命の危険があったこと、覚えとどめておきたいと思います。一方、身近な疑問に対する「研究調査報告」もあります。楽しく読ませていただきました。

7 ページ

都道府県医師会地域医療構想(ビジョン)担当理事連絡協議会

2025年時点で望ましい宮崎県のベッド数は、今より5,400床、32.7%の削減が必要とした政府の発表(6/15)は、医療関係者のみならず、多くの県民を驚かせました。今月号の連絡協議会の報告は3月19日のものですが、日本医師会は「将来の医療提供体制は全国画一的な方向を目指すのではなく、住民が安心して医療を受けられるよう、地域の実情に応じて構築されるべき」としています。一人ひとりがよく学習して、地域医療構想策定に係わる必要があります。

26 ページ

診療メモ 宮崎県立宮崎病院ドクターカー 平成 26 年度活動報告

全県を対象に活躍する宮崎県ドクターヘリに対し、宮崎市中心部においてより機動的に対応しているのが県立宮崎病院ドクターカーです。平成 26 年度から運行を開始し、1 年間に 305 件の出動要請があったそうです。挿管 54 例、心肺停止から心拍再開症例 1 例など目覚ましい活躍です。119 番通報から出動要請、現場着までの時間短縮が重要で、今後の課題でもあるようです。長嶺育弘医師からの報告です。

86 ページ

日 州 医 事 第 79 号 (平成 27 年 7 月号) (毎月 1 回 10 日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail office@iyazakimedor.jp

代表者 河 野 雅 行

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、中村 豪、上條 苑子、押川 隆

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、枝元 真人、佐井 佳世

担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗、佐々木 究

事務局 学術広報課 瀬戸山千春、牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350 円 (但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)